

コミュニケーションを図る基礎となる 資質・能力の育成を目指す 小学校外国語科指導の在り方に関する研究

－「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の例とWE-CANシートの活用を通して－

【2年次／2年研究】

《補助資料目次》

【資料1・2】盛岡市立見前南小学校5学年 実践1・2 [We Can! 1 Unit3・Unit5]	p. 1/p. 4
【資料3・4】花巻市立太田小学校 5学年 実践3・4 [We Can! 1 Unit3・Unit7]	p. 7/p. 10
【資料5・6】金ヶ崎町立西小学校 5学年 実践5・6 [We Can! 1 Unit4・Unit6]	p. 13/p. 16
【資料7・8】一関市立萩荘小学校 5学年 実践7・8 [We Can! 1 Unit2・Unit6]	p. 20/p. 23
【資料9・10】盛岡市立見前南小学校6学年 実践9・10 [We Can! 2 Unit3・Unit5]	p. 26/p. 29
【資料11】 花巻市立太田小学校 6学年 実践11 [Hi, friends! 2 単元4]	p. 32
【資料12・13】金ヶ崎町立西小学校 6学年 実践12・13 [We Can! 2 Unit3・Unit5]	p. 35/p. 38
【資料14・15】一関市立萩荘小学校 6学年 実践14・15 [We Can! 2 Unit2・Unit7]	p. 41/p. 44
【資料16】単元目標例（文部科学省 新学習指導要領対応 小学校外国語教材 We Can! 1・2）	p. 47
【資料17】言語活動例（文部科学省 新学習指導要領対応 小学校外国語教材 We Can! 1・2）	p. 50
【資料18】学びの過程例（文部科学省 新学習指導要領対応 小学校外国語教材 We Can! 1・2）	p. 59
【資料19】児童アンケート集計結果	p. 70
【資料20】学習指導案（実践 花巻市立太田小学校6学年）	p. 84
Unit6 What do you want to watch? (We Can! 2)	
【資料21】「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の例 [第5・6学年一体版：A3]	p. 89
【資料22】「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の例（一部抜粋） [コンパクト版：A4]	p. 90
【資料23】「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の例に準じたルーブリックの例（一部抜粋）	p. 91

令和2年3月

岩手県立総合教育センター

教科領域教育担当

中野 誉 史

五十嵐 忠 義

正木 啓 一

佐藤 真

細川 潤

資料1 実践1 盛岡市立見前南小学校 5学年（令和元年6～7月実施）について

1 単元名 Unit 3 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業（We Can!1）

2 題材

学校生活を題材に学習を進め、世界の子供たちがどのような学校生活を送っているのか、どのような科目を学習しているのかなどを知るとともに、自分たちの夢の時間割を考えて発表する。また、学習していることや経験したことが将来の自分の進路を決める際に影響があることを実感するために、ある職業に就くためにはどのようなことを学習しているとよいかという視点から、オリジナル時間割を作成し、クイズ形式で紹介し合う。

3 主な言語活動及び新言語材料

児童はこれまで4年生の外国語活動で、曜日の言い方や簡単な教科名については慣れ親しんできた。また、haveについても、実際に何かを持っている（物的所有・所持）場合に限定して、Do you have～?の表現にも慣れ親しんできた。しかし、本単元では、具体物や実際に何かを（手に）持つわけではないhaveについて学習する。教科名についても、新出を含めて学習する。これまでに慣れ親しんできたものとは違う用法に出会うことで、児童が混乱しないよう配慮が必要である。また、文字についてはUnit 2での大文字に加え、小文字についての学習を進める。本単元では、小文字についてはその名称読みを聞いて文字が分かることを目指す。Unit 1, 2で学んだ大文字の知識に加えて、大文字と小文字のマッチングなどをし、児童が楽しみながら読み書きを進めていけるようにしている。

4 指導者 専科教員

5 対象学級 第5学年 27名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Unit 3 What do you have on Monday?		Class (5 -) No. ()	Name ()
目標 ・教科や曜日について思いを語り合おう。 ・夢の時間割やオリジナル時間割を作って紹介しよう。 ・時間割やそれについての自分の考えを伝え合おう。	ゴール We Can! オリジナルの時間割を作って、紹介しよう。 オリジナル時間割を作って、発表することができる。	今日のWe Can!		振り返り	今日の感想
		WE CAN ① 時間割の言い方や世界の学校生活について知ろう。(p.18,19)	English [教科...]	①読んで活動 ②学び合い ③かんぱりボイン ④各時間のWe Can	
		WE CAN ② 時間割をたずねたり答えたりしよう。(p.20)	science [教科...]	①読んで活動 ②学び合い ③かんぱりボイン ④各時間のWe Can	
		WE CAN ③ 世界の子供たちの時間割について聞き取ろう。(p.21)	Friday [曜日]	①読んで活動 ②学び合い ③かんぱりボイン ④各時間のWe Can	
		WE CAN ④ 夢の時間割を考え、先生や友だちと紹介しよう。(p.22)	What do you (have)?	①読んで活動 ②学び合い ③かんぱりボイン ④各時間のWe Can	
		WE CAN ⑤ 将来就きたい職業と、それを実現させる時間割について、聞き取ろう。(p.23)	[(have) P.E. on Monday.	①読んで活動 ②学び合い ③かんぱりボイン ④各時間のWe Can	
		ゴールWE CAN 自分のオリジナル時間割を作ろう。(p.24)	I (have) P.E. on (Monday).	①読んで活動 ②学び合い ③かんぱりボイン ④各時間のWe Can	
		ゴールWE CAN 作成したオリジナル時間割を見せながら発表しよう。(p.24)		①読んで活動 ②学び合い ③かんぱりボイン ④各時間のWe Can	

知識及び技能

7 単元の「目標」

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や曜日について聞いたり言ったりしよう。 ・夢の時間割やオリジナル時間割を作って紹介しよう。 ・時間割やそれについての自分の考えを伝え合おうとしよう。
	<p>思考力、判断力、表現力等</p>

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	<p>オリジナルの時間割を作って、紹介しよう。</p>
	<p>オリジナル時間割を作って、発表することができる。</p>
	<p>オリジナル時間割を作って、自分の考えを入れて、発表することができる。</p>

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can !	
1	WE CAN① 時間割の言い方や世界の学校生活について知ろう。(p. 18, 19)	
2	WE CAN② 時間割をたずねたり答えたりしよう。(p. 20)	
3	WE CAN③ 世界の子どもたちの時間割について聞き取ろう。(p. 21)	
4	WE CAN④ 夢の時間割を考え、先生や友だちと紹介し合おう。(p. 22)	
5	WE CAN⑤ 将来就きたい職業と、それを実現させる時間割について、聞き取ろう。(p. 23)	
6	ゴールWE CAN 自分のオリジナル時間割を作ろう。(p. 24)	
7	ゴールWE CAN 作成したオリジナル時間割を見せながら発表しよう。(p. 24)	

対応する教材のページ数を記述

ゴールWE CANを6・7時間目で実施

10 選択式による「振り返り」の観点

振 り 返 り	
	活動 単元 時間
①進んで活動	
②学び合い	
③ <u>がんばりポイント</u>	
④各時間のWe Can	

本実践においては、この単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

この中の「③がんばりポイント」については、見前南小学校の独自の取組である。授業の導入段階において、その授業のねらいを発表すると同時に、その時間の「がんばりポイント」を「各時間のWe Can!」のマークで示した。そして、振り返りの時間において、そのポイントについて振り返りを行わせていた。

11 児童が記入した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート
Unit 3 What do you have on Monday? Class (5-) No. () Name ()

オリジナルの時間割を作って、紹介しよう。

英語を読ませるときは絵などの視覚的情報と共に与えている

各時間の WE CAN!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① 時間割の言い方や世界の学校生活について知ろう。(p.18,19)	English 4B [教科...英語]	今日は、教科について英語で話してみました。すかしの教科も英語で話せるようにするための漢字を良くして書いています。
WE CAN ② 時間割をたずねたり答えたりしよう。(p.20)	science [教科...理科]	今日は、友達にクイズをたずねたり答えたりしました。漢字を良くして書いています。
WE CAN ③ 世界の子どもの時間割について聞き取ろう。(p.21)	Friday [金曜日]	今日は、外国の子どもの時間割について聞き取りました。すかしの漢字も聞き取る事ができました。
WE CAN ④ 夢の時間割を考え、先生や友だちと紹介しよう。(p.22)	What do you (have) ?	今日は、自分オリジナルの時間割を作りました。友達と受けて、教科を言ったり聞いてもらって、教科をたずねました。
WE CAN ⑤ 将来就きたい職業と、それを実現させる時間割について、聞き取ろう。(p.23)	I (have) P.E. on Monday.	今日は、教科書に出てきた人たちの言っている英語の文を聞き取る事ができたので、これからがんばりたいです。
ゴール WE CAN 自分のオリジナル時間割を作ろう。(p.24)	I (have) P.E. on (Monday).	今日は、オリジナル時間割を作りました。自分のしつらいの事に向けて時間割を作った。この時間割があたらしいと思いをしました。
ゴール WE CAN 作成したオリジナル時間割を見せながら発表しよう。(p.24)	I have P.E. on Monday.	今日は、友達と時間割発表をしました。みんなおもしろい時間割を作ったので、いいなと思えました。

WE-CAN! シート
Unit 3 What do you have on Monday? Class (5-) No. () Name ()

オリジナルの時間割を作って、紹介しよう。

ゴール We Can!

今日の We Can!

各時間の WE CAN!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① 時間割の言い方や世界の学校生活について知ろう。(p.18,19)	English 4B [教科...英語]	今日は、3つ聞き取ることができた。教科もわかることのできた。漢字もよくしつらいとわかるように書いています。
WE CAN ② 時間割をたずねたり答えたりしよう。(p.20)	science [教科...理科]	今日は、教科書の内容を全部おぼえることのできた。最後の数で、おぼえることができて、おぼえて、おぼえることができました。
WE CAN ③ 世界の子どもの時間割について聞き取ろう。(p.21)	Friday [金曜日]	今日は、外国の時間割を聞き取ることができた。おぼえることのできた。おぼえることのできた。
WE CAN ④ 夢の時間割を考え、先生や友だちと紹介しよう。(p.22)	What do you (have) ?	今日は、夢の時間割を考えた。おぼえることのできた。おぼえることのできた。
WE CAN ⑤ 将来就きたい職業と、それを実現させる時間割について、聞き取ろう。(p.23)	I (have) P.E. on Monday.	今日は、夢の時間割を考えた。おぼえることのできた。おぼえることのできた。
ゴール WE CAN 自分のオリジナル時間割を作ろう。(p.24)	I (have) P.E. on (Monday).	今日は、自分の時間割を作った。おぼえることのできた。おぼえることのできた。
ゴール WE CAN 作成したオリジナル時間割を見せながら発表しよう。(p.24)	I have P.E. on Monday.	今日は、発表することのできた。おぼえることのできた。おぼえることのできた。

資料2 実践2 盛岡市立見前南小学校 5学年（令和元年9～10月実施）について

1 単元名 Unit5 She can run fast. He can jump high. できること（We Can!1）

2 題材

好きなスポーツや趣味などを話題としながら、「できること・できないこと」をやり取りしていく。はじめは、自分と相手の「できること・できないこと」を中心にやり取りをするが、徐々に第三者の「できること・できないこと」をやり取りしていく。そして最終的には、インタビュー結果をもとに、先生ができることやできないことを紹介することに取り組んでいく。





3 主な言語活動及び新言語材料

本単元では、児童は三人称に初めて出会う。また、それと併せて、can を使ってできることを紹介し合ったり、相手ができることを認め合ったりする活動を通して、学級が学習集団へと高まることが期待される。また、この単元では、文字には名称のほかにも音があることに気付かせ、それに慣れ親しむことをねらいとしている。それぞれの文字で始まる単語の初頭音に意識を向けさせ、文字の音への気付きを促すことを目指す。

4 指導者 専科教員

5 対象学級 第5学年 27名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Unit 5 She can run fast. He can jump high.		Class (5 -) No.() Name()
目標	自分や自分以外の人について、できることやできないことを聞いたり言ったりしよう。	ゴール We Can!	先生や自分のできること・できないことを紹介しよう!	
	自分や自分以外の人のできることやできないことを伝え合おう。		先生や自分のできること・できないことを紹介することができる。	
各時間の WE CAN!	目標	今日の We Can!		振り返り
1	WE CAN ① イト 動きを表す語や「できる」「できない」という表現を知ろう。(p.34,35)	✓	できる⇒ できない⇒	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can
2	WE CAN ② イト 動きを表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしよう。(p.34,35)	✓	I () swim. 	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can
3	WE CAN ③ イト できることやできないことを聞き取ろう。(p.36)	✓	I () swim. 	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can
4	WE CAN ④ イト 友だちに、できるかどうかをたずねたり答えたりしよう。(p.37)	✓	() you swim?	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can
5	WE CAN ⑤ イト 「彼」や「彼女」のできることやできないことを聞き取ろう。(p.38)	✓	 ⇒  ⇒	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can
6	WE CAN ⑥ イト 担任の先生の「実は○○!」(できることやできないこと)を予想して、インタビューしよう。(p.39)	✓	Mr./Ms. ()	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can
7	WE CAN ⑦ イト 先生や自分の「実は○○!」(できることやできないこと)を紹介するための準備や練習をしよう。(p.40)	✓	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can
8	ゴール WE CAN 先生や自分の「実は○○!」(できることやできないこと)をみんなの前で紹介しよう。(p.40)	✓	①進んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント! ④各時間の We Can



知識及び技能

7 単元の「目標」
















目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や自分以外の人について、できることやできないことを聞いたり言ったりしよう。 ・自分や自分以外の人のできることやできないことを伝え合おう。思考力、判断力、表現力等 ・聞いている人に伝わるように、自分や自分以外の人のできることやできないことを紹介し合おう。
----------------	--

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	<p>先生や自分のできること・できないことを紹介しよう!</p>
	 <p>先生や自分のできることとできないことを紹介することができる。</p>
	 <p>先生や自分のできることとできないことを、考えや気持ちを言いながら、紹介することができる。</p>

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can !	
1	WE CAN① 動きを表す語や「できる」「できない」という表現を知ろう。(p. 34, 35)	 
2	WE CAN② 動きを表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしよう。(p. 34, 35)	 
3	WE CAN③ できることやできないことを聞き取ろう。(p. 36)	
4	WE CAN④ 友だちに、できるかどうかをたずねたり答えたりしよう。(p. 37)	
5	WE CAN⑤ 「彼」や「彼女」のできることやできないことを聞き取ろう。(p. 38)	
6	WE CAN⑥ 担任の先生の「実は〇〇! (できることやできないこと)」を予想して、インタビューしよう。(p. 39)	 
7	WE CAN⑦ 先生や自分の「実は〇〇!」(できることやできないこと)を紹介するための準備や練習をしよう。(p. 40)	  
8	ゴールWE CAN 先生と自分の「実は〇〇!」(できることやできないこと)をみんなの前で紹介しよう。(p. 40)	  

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、実践1と同じように単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

この中の「③がんばりポイント」については、授業の導入段階において、その授業のねらいを発表すると同時に、その時間の「がんばりポイント」を「各時間のWe Can!」のマークで示した。

振 り 返 り		進 展	学 習	活 動
①進んで活動				
②学び合い				
③がんばりポイント				
④各時間のWe Can				

WE-CAN! シート
 Unit 5 She can run fast. He can jump high. Class (5-) No. () Name ()

目標 自分や自分の人について、できること・できないことを紹介しよう!
ゴール 先生や自分のできること・できないことを紹介しよう!

各時間の WE CAN!

各時間の WE CAN!	書き取り	今日の感想
WE CAN ① 動詞「できる」を表す語や「できない」という表現を知ろう。(p.34,35)	できる⇒ can できない⇒ can't	先生のかけこみから英語のしりとりで、カバが英語で言てみたいよ。
WE CAN ② 動詞「泳ぐ」を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしよう。(p.34,35)	I can swim. <i>good</i>	動物も泳ぐよ、いろいろな英語をおぼえたいよ。
WE CAN ③ できることやできないことを聞き取りよう。(p.36)	I can't swim.	英語で有名な人のできること、おぼえておぼえたいよ。
WE CAN ④ 友達に、できるかどうかをたずねたり答えたりしよう。(p.37)	(Can) you swim?	英語で友だちのできることが聞いたり言えたりよかったです。
WE CAN ⑤ 「彼」や「彼女」のできることやできないことを聞き取りよう。(p.38)	He → She	レスリー先生のしりとりで、アメリカのいろいろなことがおぼえよかったです。
WE CAN ⑥ 担任の先生の「実は○○」を予想して、インタビューしよう。(p.39)	Mr./Ms. (Kobayashi)	担任先生のできること、できないことも聞いて、おぼえたいよ。先生に質問することがおぼえよかったです。
WE CAN ⑦ 先生や自分の「実は○○」をみんなの前で紹介しよう。(p.40)	He can swim. <i>good</i>	自分のできごとがみんなの前で発表することがおぼえよかったです。
ゴール WE CAN 先生と自分の「実は○○」をみんなの前で紹介しよう。(p.40)	He can cook. <i>good</i>	大きな声で発表することがおぼえよかったです。

アルファベットの書く位置の指導

前向きな言葉がけ、励まし

WE-CAN! シート
 Unit 5 She can run fast. He can jump high. Class (5-) No. () Name ()

目標 自分や自分の人について、できること・できないことを紹介しよう!
ゴール We Can!

今日の We Can!

各時間の WE CAN!	書き取り	今日の感想
WE CAN ① 動詞「できる」を表す語や「できない」という表現を知ろう。(p.34,35)	できる⇒ can できない⇒ can't	今日は、できる、できないという表現を知りました。おぼえたいよ。
WE CAN ② 動詞「泳ぐ」を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしよう。(p.34,35)	I can swim. <i>good</i>	今日は、できる、できないについて覚えました。おぼえたいよ。
WE CAN ③ できることやできないことを聞き取りよう。(p.36)	I can't swim.	今日は、テレビを見て、おぼえたいよ。
WE CAN ④ 友達に、できるかどうかをたずねたり答えたりしよう。(p.37)	(Can) you swim?	今日は、テレビを見て、おぼえたいよ。
WE CAN ⑤ 「彼」や「彼女」のできることやできないことを聞き取りよう。(p.38)	He → She	今日は、レスリー先生と英語を話した。おぼえたいよ。
WE CAN ⑥ 担任の先生の「実は○○」を予想して、インタビューしよう。(p.39)	Mr./Ms. ()	休み
WE CAN ⑦ 先生や自分の「実は○○」をみんなの前で紹介しよう。(p.40)	He can swim. <i>good</i>	今日は、小林先生のしりとりを覚えました。おぼえたいよ。
ゴール WE CAN 先生と自分の「実は○○」をみんなの前で紹介しよう。(p.40)	He can cook. <i>good</i>	今日は、おぼえたいよ。

資料3 実践3 花巻市立太田小学校 5学年（令和元年6～7月実施）について

- 1 単元名 Unit3 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業（We Can!1）
- 2 題材（本資料 資料1 p.1 参照）
- 3 主な言語活動及び新言語材料（本資料 資料1 p.1 参照）
- 4 指導者 学級担任
- 5 対象学級 第5学年 20名
- 6 本実践において作成した「WE-CANシート」

Unit (3) (what do you have on Monday ?)		Class () No.() Name()
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日、教科について聞いたり、言ったりしよう。 ・学校生活についての話を聞いておおよその内容をとらえたり、時間割を伝え合ったりしよう。 ・自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。 	<p>ゴール We Can!</p> <p>自分の考えたオリジナル時間割を紹介しよう。</p> <p>自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。</p> <p>時間割を考えた理由を付け加えながら、紹介しよう。</p>
各時間の WE CAN!	"今日の We Can!"	振り返り
1 WE CAN① 教科を表わす語と「学習する」という表現を知ろう。	I _____ English.	①聞いて活動 ②はっきりした声 ③各時間のWeCan
2 WE CAN② 曜日を表わす語を知り、時間割の表現を聞いたり言ったりしよう。	I _____ P.E on Monday.	①聞いて活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan
3 WE CAN③ 話の中から、時間割のことを聞き取ろう。	_____ do you study on Monday ?	①聞いて活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan
4 WE CAN④ 時間割をたずねる表現を知り、聞いたり言ったりしよう。	I _____ English _____ P.E .	①聞いて活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan
5 WE CAN⑤ 時間割をたずねたり、こたえたりしよう。	I _____ English , P.E _____ music.	①聞いて活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan
6 ゴール WE CAN! 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。	_____ do you _____ on Monday ?	①聞いて活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan
		今日の感想

7 単元の「目標」

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日、教科について聞いたり、言ったりしよう。 ・学校生活についての話を聞いておおよその内容をとらえたり、時間割を伝え合ったりしよう。 ・自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。
	<p>知識及び技能</p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>

学びに向かう力、人間性等



8 単元のゴールとなる言語活動「ゴール We Can!」



ゴール	自分の考えたオリジナル時間割を紹介しよう。
We Can!	<p>自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。</p> <p>時間割を考えた理由を付け加えながら、紹介しよう。</p>



9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can！」

時	各 時 間 の We Can !	
1	WE CAN① 教科を表わす語と「学習する」という表現を知ろう。 	
2	WE CAN② 曜日を表わす語を知り，時間割の表現を聞いたり言ったりしよう。  	
3	WE CAN③ 話の中から，時間割のことを聞き取ろう。 	
4	WE CAN④ 時間割をたずねる表現を知り，聞いたり言ったりしよう。  	
5	WE CAN⑤ 時間割をたずねたり，こたえたりしよう。 	
6	ゴールWE CAN 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。 	




10 選択式による「振り返り」の観点




①進んで活動   




②はっきりした声   




③各時間のWeCan   

第1時「振り返り」

①進んで活動   

②はっきりした声   

③聞きやすい速さ   


④各時間のWeCan   

第2, 4~6時「振り返り」

①進んで活動   

②はっきりした声   

③アイコンタクト   

④各時間のWeCan   

第3時「振り返り」

本実践においては、単位時間ごとの重点となる活動に合わせて、振り返りの視点を設定している。

11 児童が記入した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート

Unit (3) (what do you have on Monday ?) Class () No () Name ()

目標	ゴール We Can!	自分の考えたオリジナル時間割を紹介しよう。	自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。	相手に伝えるよ	時間割を考えた理由を付け加えながら、紹介しよう。
各時間の WE CAN!	今日の We Can !	振り返り	今日の感想		
WE CAN① 教科を表わす語と「学習する」という表現を知ろう。	I study English.	①進んで活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan	今日の教科(教科)を知り かいた。音が自分の舌で なまじくはなした。たけ		
WE CAN② 曜日を表わす語を知り，時間割の表現を聞いたり言ったりしよう。	I study P.E on Monday.	①進んで活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan	たけいんがの教科(教科)を しる。たけいんがの教科(教科) たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を		
WE CAN③ 話の中から，時間割のことを聞き取ろう。	What do you study on Monday?	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan	たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を		
WE CAN④ 時間割をたずねる表現を知り，聞いたり言ったりしよう。	I love English and P.E.	①進んで活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan	他の国の教科(教科)を見ても たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を		
WE CAN⑤ 時間割をたずねたり，こたえたりしよう。	I study English, P.E and music.	①進んで活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan	全部の教科(教科)がたけいんが たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を		
ゴールWE CAN 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。	What do you study on Monday?	①進んで活動 ②はっきりした声 ③聞きやすい速さ ④各時間のWeCan	たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を たけいんがの教科(教科)を		

WE-CAN! シート

Unit (3) (what do you have on Monday?)		Class () No. () Name ()
目標	<ul style="list-style-type: none"> 曜日、教科について聞いたり、言ったりしよう。 学校生活についての話を聞いて自分自身の内容を伝えたり、時間割を伝えたりしよう。 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。 	ゴール We Can! <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。 時間割を考えた理由を付け加えながら、紹介しよう。
各時間の WE CAN!	今日の We Can!	
WE CAN ① 教科を表わす語と「学習する」という表現を知ろう。	I study English.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ② 曜日を表わす語を知り、時間割の表現を聞いたり言ったりしよう。	I study P.E on Monday.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ③ 話の中から、時間割のことを聞き取ろう。	What do you study on Monday?	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ④ 時間割をたずねる表現を知り、聞いたり言ったりしよう。	I have English and P.E.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ⑤ 時間割をたずねたり、こたえたりしよう。	I study English, P.E. and music.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
ゴール WE CAN! 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。	What do you study on Monday?	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can

WE-CAN! シート

Unit (3) (what do you have on Monday?)		Class () No. () Name ()
目標	<ul style="list-style-type: none"> 曜日、教科について聞いたり、言ったりしよう。 学校生活についての話を聞いて自分自身の内容を伝えたり、時間割を伝えたりしよう。 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。 	ゴール We Can! <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。 時間割を考えた理由を付け加えながら、紹介しよう。
各時間の WE CAN!	今日の We Can!	
WE CAN ① 教科を表わす語と「学習する」という表現を知ろう。	I study English.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ② 曜日を表わす語を知り、時間割の表現を聞いたり言ったりしよう。	I study P.E on Monday.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ③ 話の中から、時間割のことを聞き取ろう。	What do you study on Monday?	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ④ 時間割をたずねる表現を知り、聞いたり言ったりしよう。	I have English and P.E.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
WE CAN ⑤ 時間割をたずねたり、こたえたりしよう。	I study English, P.E. and music.	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can
ゴール WE CAN! 自分の考えた時間割を相手に伝えるように紹介しよう。	What do you study on Monday?	① 読んで英語 ② しゃべり英語 ③ 各時間の We Can

資料4 実践4 花巻市立太田小学校 5学年（令和元年11～12月実施）について

1 単元名 Unit 7 Where is the hospital?

2 題材

本単元では、道案内に使う表現（Go straight. Turn right. など）だけでなく、位置関係を示す前置詞（on / in / under / by）についても理解を深め、限られた場面ではあるが、道案内ができるようになることを目標としている。

3 主な言語活動及び新言語材料

○Where is the treasure? Go straight (for three blocks). Turn [right / left] (at the third corner). You can see it on your [right / left]. It's [on / in / under / by] (the desk).

○身の回りの物（cup, basket, bat など）、施設・建物（fire station, gas station, police station, post office, hospital など）

4 指導者 学級担任

5 対象学級 第5学年 20名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート			
Unit (7) (Where is the hospital ?)		Class () No () Name ()	
目 標	・方向を指示する表現をつかって、街の中を移動しよう。	ゴール We Can!	「夢の街★太田」の道案内をしよう。
	・場所をたずねたり、道案内をしたりしよう。		自分たちの考えた形で相手に伝えるように道案内しよう。 その場所の紹介を加えながら、道案内しよう。
時 間	各時間の WE CAN!	今日の We Can!	
1	WE CAN ① 建物を表わす語を知ろう。	I _____ to go to the station.	振り返り 今日の感想
2	WE CAN ② 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いたり言ったりしよう。	_____ is the hospital?	
3	WE CAN ③ 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。	_____ straight.	
4	WE CAN ④ 目的地までの道案内をしよう。	_____ left./right.	
5	WE CAN ⑤ 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。	_____ is the library.	
6	ゴール WE CAN 「夢の街★太田」の道案内をしよう。	_____ you.	



知識及び技能

7 単元の「目標」

目 標	・方向を指示する表現をつかって、街の中を移動しよう。
	・場所をたずねたり、道案内をしたりしよう。

思考力、判断力、表現力等










8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール	「夢の街★太田」の道案内をしよう。
We Can!	 自分たちの考えた街で相手に伝わるように道案内しよう。  その場所の紹介を加えながら、道案内しよう。










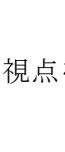
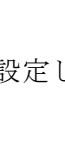
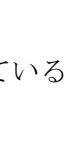
9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can !	
1	WE CAN① 建物を表わす語を知ろう。	
2	WE CAN② 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いたり言ったりしよう。	 
3	WE CAN③ 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。	
4	WE CAN④ 目的地までの道案内をしよう。	 
5	WE CAN⑤ 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。	
6	ゴールWE CAN 「夢の街★太田」の道案内をしよう。	

10 選択式による「振り返り」の観点

①進んで活動			
②はっきりした声			
③各時間のWeCar			

第1時「振り返り」

①進んで活動			
②はっきりした声			
③聞きやすい速さ			
④各時間のWeCan			

第2～6時「振り返り」

本実践においては、単位時間ごとの重点となる活動に合わせて、振り返りの視点を設定している。

11 児童が記入した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート

Unit (7) (Where is the hospital?) Class () No. () Name ()

「夢の街★太田」の道案内をしよう。

目標 方向を指示する表現をつかって、街の中を移動しよう。
場所をたずねたり、道案内をしたりしよう。

ゴール We Can! 自分たちの考えた街で相手に伝わるように道案内しよう。その場所の紹介を加えながら、道案内しよう。

各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① 1 建物を表わす語を知ろう。	I want to go to the station.	① 建物を表わす語を知ろう。 ② 建物を表わす語を知ろう。 ③ 建物を表わす語を知ろう。	いろいろな店名とを知ることができました。まだ、1人でいえないので、お母さんといっしょに書いてみました。
WE CAN ② 2 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。	Where is the hospital?	① 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。 ② 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。 ③ 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。	全部おぼえてスラスラいえるようになった。たずねかたも、おぼえていける。
WE CAN ③ 3 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。	Go straight.	① 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。 ② 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。 ③ 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。	行く方向を知ることができました。家で、お母さんといっしょに練習しました。
WE CAN ④ 4 目的地までの道案内をしよう。	turn left./right.	① 目的地までの道案内をしよう。 ② 目的地までの道案内をしよう。 ③ 目的地までの道案内をしよう。	今日、自分でまちをつくらせてもらって、おもしろい。おもしろい。
WE CAN ⑤ 5 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。	Here is the library.	① 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。 ② 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。 ③ 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。	前に来たときは、人にしか聞けなかった。今日、自分たちでたずねたり、こたえたりすることができました。
ゴール WE CAN 6 「夢の街★太田」の道案内をしよう。	Thank you.	① 道案内をしよう。 ② 道案内をしよう。 ③ 道案内をしよう。	実際に、自分たちで道案内をしてもらって、おもしろい。おもしろい。おもしろい。

WE-CAN! シート

Unit (7) (Where is the hospital?) Class () No. () Name ()

「夢の街★太田」の道案内をしよう。

目標 方向を指示する表現をつかって、街の中を移動しよう。
場所をたずねたり、道案内をしたりしよう。

ゴール We Can! 自分たちの考えた街で相手に伝わるように道案内しよう。その場所の紹介を加えながら、道案内しよう。

各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① 1 建物を表わす語を知ろう。	I want to go to the station.	① 建物を表わす語を知ろう。 ② 建物を表わす語を知ろう。 ③ 建物を表わす語を知ろう。	いろいろな店名とを知ることができました。まだ、1人でいえないので、お母さんといっしょに書いてみました。
WE CAN ② 2 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。	Where is the hospital?	① 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。 ② 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。 ③ 目的地のたずねかたを知り、その表現を聞いた言ったりしよう。	全部おぼえてスラスラいえるようになった。たずねかたも、おぼえていける。
WE CAN ③ 3 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。	Go straight.	① 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。 ② 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。 ③ 道案内をするときに使う表現を知り、聞き取ろう。	行く方向を知ることができました。家で、お母さんといっしょに練習しました。
WE CAN ④ 4 目的地までの道案内をしよう。	turn left./right.	① 目的地までの道案内をしよう。 ② 目的地までの道案内をしよう。 ③ 目的地までの道案内をしよう。	今日、自分でまちをつくらせてもらって、おもしろい。おもしろい。
WE CAN ⑤ 5 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。	Here is the library.	① 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。 ② 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。 ③ 道案内で、場所をたずねたり、こたえたりしよう。	前に来たときは、人にしか聞けなかった。今日、自分たちでたずねたり、こたえたりすることができました。
ゴール WE CAN 6 「夢の街★太田」の道案内をしよう。	Thank you.	① 道案内をしよう。 ② 道案内をしよう。 ③ 道案内をしよう。	実際に、自分たちで道案内をしてもらって、おもしろい。おもしろい。おもしろい。

資料5 実践5 金ヶ崎町立西小学校 5学年（令和元年8～9月実施）について

1 単元名 Unit 4 What time do you get up? 一日の生活 (We Can! 1)

2 題材

家庭科では「家庭生活と分担仕事」や「生活時間の有効な使い方」などが、道徳においては「生活習慣の大切さを知る」や「家族みんなで協力し合い、進んで役に立つことをする」ことなどが扱われている。これらと関連付け、本単元では、日課や家庭での手伝いを取り上げ、自分たちの生活を見直すきっかけとしても扱うことができる。

単元最後では、家での役割などを、頻度を含め話す活動を設定している。児童それぞれに異なる日課があり、家での役割があるということに気付きながら、その情報をしっかり受け止めて聞く姿も、本単元で目指すものである。そうやって得た友達の家での役割についての情報を、自分の生活改善につなげたい。

3 主な言語活動及び新言語材料

本単元では、always, usually などの頻度を表す語を学ぶ。家での役割を伝え合う場合、「いつもお手伝いしているわけではないけれど、週末になるとときどきはしている」という状況はよくある。頻度を表す語を用いて、できるだけ本当の状況を英語で伝え合わせるようにしたい。

4 指導者 学級担任

5 対象学級 第5学年 12名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Unit 4 What time do you get up?		Class (5 -) No. ()	Name ()
目標	1日の生活について言ったり聞いたりしよう。小文字を書こう。	ゴール We Can!	自分の1日の生活をくわしく伝えよう!		
	1日のくらしについての英語の話の大体を聞き取ったり、伝え合ったりしよう。 他者に配慮しながら、自分の生活について見つめよう。		自分の1日の生活をくわしく伝えよう。 自分の好きな、みんなにスピーチで伝えよう。 好きな絵を描いて、正しくアルファベットを書こう。		
各時間の WE CAN!	今日の We Can!		振り返り	今日の感想	
WE CAN 1 ①今日の目標 ②書くこと	(その日のゴールを英語で)				
WE CAN 2 ①自分の生活スタイルを伝える。 ②自分のアルファベットを正しく書く。	()				
WE CAN 3 ①1日の生活の様子を、友達に英語で話そう。 ②話を聴いてアルファベット(アルファベット)を書こう。	What time do you ()?				
WE CAN 4 ①いつも行っているか分かるように、自分の1日の生活スタイルを伝えよう。 ②覚えたアルファベット(a, o, u, e)を書こう。	I always () at ()				
ゴール WE CAN 1 ①自分の生活スタイルを伝える。 ②自分の1日の生活スタイルをみんなにスピーチしよう。 ③友達の言葉から聞き取って、アルファベットを書こう。	I () at ()				

7 単元の「目標」

知識及び技能



思考力、判断力、表現力等

目標








- ・ 1日の生活について言ったり聞いたりしよう。小文字を書こう。
- ・ 1日のくらしについての英語の話の大体を聞き取ったり、伝え合ったりしよう。
- ・ 他者に配慮しながら、自分の生活について見つめよう。

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール	自分の1日の生活をくわしく伝えよう!
We Can!	 (どのくらい)という表現を使いながら、自分の1日の生活の様子を、みんなにスピーチで伝えることができる。  線を意識して、正しくアルファベットを書けることができる。













9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can!
1	WE CAN① ①帰る・食べる・起きるなど、動作を表す言葉を覚えよう。   ②c, o, sのアルファベットを正しく書こう。
2	WE CAN② ①一日の生活の様子を、友だちに英語で聞こう。  ②4線を意識してアルファベット(v, w, x, z)を書こう。
3	WE CAN③ ①いつも・時々・全然しない、など、どのくらいしているのかを表す言葉を覚えよう。  ②4線を意識してアルファベット(a, e, u)を書こう。
4	WE CAN④ ①どのくらいしているかが分かるように、自分の1日の生活スタイルを伝えよう。  ②聞き取ったアルファベット(b, d, p, q)を書けるようになろう。
5	ゴールWE CAN ①どのくらいしているかが分かるように、自分の1日の生活スタイルをみんなにスピーチしよう。   ②友達の言葉から聞き取って、アルファベットを書こう。

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

観点は、「自分から」「交流して」「分かった」「できた」という4つを設定した。

振 り 返 り			
①自分から			
②交流して			
③分かった			
④できた			

11 児童が記入した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート

Unit 4 What time do you get up?

Class (5) No. () Name ()

目標	今日のWe Can!	振り返り	今日の感想
<p>① 1日の生活について書いたり読んだりしよう。小文字を書こう。</p> <p>② 1日の生活についての英語の語の大文字を書いたり、書き合ったりしよう。</p> <p>③ 相手に理解しながら、自分の生活について見つめよう。</p>	<p>今日のWe Can!</p> <p>(copy) I always usually sometimes</p>		
<p>WE CAN</p> <p>① 今日の目標</p> <p>② 書くことの意味</p> <p style="text-align: center;">ふんば</p>	<p>(copy) I always usually sometimes</p>		
<p>WE CAN ①</p> <p>① 書く・食べる・遊ぶなど、動作を書きまわす先えよう。</p> <p>② copyのアルファベットを正しく書こう。</p>	<p>O C S W Y A</p>		<p>① 他に種々作業を交わす 業を矢の先に ② ていねいにがんばる</p>
<p>WE CAN ②</p> <p>① 1日の生活の様子を、友達に説明しよう。</p> <p>② 4種を覚悟してアルファベット(what)を書こう。</p>	<p>What time do you (get up)?</p>		<p>always usually sometimes</p> <p>① always usually sometimes ② always usually sometimes</p>
<p>WE CAN ③</p> <p>① いつか・時々・全然しない、など、どのくらいしているかを数を書きまわす先えよう。</p> <p>② 4種を覚悟してアルファベット(sometimes)を書こう。</p>	<p>always usually sometimes</p>		<p>① always usually sometimes ② always usually sometimes</p>
<p>WE CAN ④</p> <p>① どのくらいしているかが分かるように、自分の1日の生活スタイルを書こう。</p> <p>② 4種を覚悟してアルファベット(I, a, m, go)を書こう。</p>	<p>I always go to bed at 10:30.</p>		<p>① 1日の生活スタイルをまわす ② always usually sometimes ③ always usually sometimes</p>
<p>ゴール WE CAN</p> <p>① どのくらいしているかが分かるように、自分の1日の生活スタイルをみんなにスピーチしよう。</p> <p>② 友達の言葉から聞き取って、アルファベットを書こう。</p>	<p>I (sometimes) eat dinner at (7:00).</p>		<p>① always usually sometimes ② always usually sometimes</p>

WE-CAN! シート

Unit 4 What time do you get up?

Class (5 -) No. () Name ()

目標	今日のWe Can!	振り返り	今日の感想
<p>① 1日の生活について書いたり読んだりしよう。小文字を書こう。</p> <p>② 1日の生活についての英語の語の大文字を書いたり、書き合ったりしよう。</p> <p>③ 相手に理解しながら、自分の生活について見つめよう。</p>	<p>今日のWe Can!</p> <p>(copy) I always usually sometimes</p>		
<p>WE CAN</p> <p>① 今日の目標</p> <p>② 書くことの意味</p> <p style="text-align: center;">ふんば</p>	<p>(copy) I always usually sometimes</p>		
<p>WE CAN ①</p> <p>① 書く・食べる・遊ぶなど、動作を書きまわす先えよう。</p> <p>② copyのアルファベットを正しく書こう。</p>	<p>O C S W Y A</p>		<p>OCSの書きかたはか たてて書くこと かたてて書くこと かたてて書くこと</p>
<p>WE CAN ②</p> <p>① 1日の生活の様子を、友達に説明しよう。</p> <p>② 4種を覚悟してアルファベット(what)を書こう。</p>	<p>What time do you (get up)?</p>		<p>いへまかたてて 英語とよばれた たてて書くこと よばれたこと</p>
<p>WE CAN ③</p> <p>① いつか・時々・全然しない、など、どのくらいしているかを数を書きまわす先えよう。</p> <p>② 4種を覚悟してアルファベット(sometimes)を書こう。</p>	<p>always usually sometimes</p>		<p>always usually sometimes 友達と交流して かたてて書くこと</p>
<p>WE CAN ④</p> <p>① どのくらいしているかが分かるように、自分の1日の生活スタイルを書こう。</p> <p>② 4種を覚悟してアルファベット(I, a, m, go)を書こう。</p>	<p>I always (go to bed) at (10).</p>		<p>友達と交流して自分の生活を かたてて書くこと かたてて書くこと</p>
<p>ゴール WE CAN</p> <p>① どのくらいしているかが分かるように、自分の1日の生活スタイルをみんなにスピーチしよう。</p> <p>② 友達の言葉から聞き取って、アルファベットを書こう。</p>	<p>I (never) go to school at (7:00).</p>		<p>自分の前でスピーチが できたこと 英語を教えること</p>

資料6 実践6 金ヶ崎町立西小学校 5学年（令和元年11～12月実施）について

1 単元名 Unit6 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 (We Can!1)

2 題材

この単元までは児童の身近な生活体験に近いことを題材として扱ってきたが、本単元においては広く世界に目を向けさせる。そして、「どこの国であるか」を考えながら聞き取りをしたり、「おすすめ国」を他者に伝えたり、あるいは自分が得た情報から本当に行きたい国はどこかをその理由とともに伝えられることを目指している。ここまでの学習の中で触れてきた情報を通して児童が感じてきたことを生かしながら、さらに世界遺産、食習慣などの情報を伝え、国旗、世界地図などを使って児童の世界の国々への興味・関心を深めたい。

3 主な言語活動及び新言語材料

want to ～（～がしたい）という思いを伝える表現を学ぶ。また、読み書きの活動に関して本単元では、国名に興味をもたせ、国旗の視覚情報とともに十分音声で慣れ親しんだものを書き写す、あるいは、自分の意見を発表するために情報を整理し、語順を意識しながら書き写すといった活動に取り組む。

4 指導者 学級担任

5 対象学級 第5学年 12名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」 ※本実践は両面刷りで作成

WE-CAN! シート

Unit6 I want to go to Italy. Class (5-) No. () Name ()

目標

- 行ってみたい国や地域について聞き取りをしたり、書き写したりしよう。
- 行ってみたい理由も伝え合おう。
- 行ってみたい国、地名について調べ、伝え合おう。

ゴール We Can!

おすすめ国はどこ？

おすすめ国や地域について調べ、理由をつけて伝え合おうこと/できよう。

行ってみたい国の国旗や名前を調べ、書き写そう。

各時間の WE CAN!	今日の We Can!	知りおき	今日の感想
WE CAN 1 1. 今日の目標 2. 行ってみたい理由 WE CAN 1 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	(その日のゴールを英語で)	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
WE CAN 2 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
WE CAN 3 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
WE CAN 4 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
WE CAN 5 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	

(表)

各時間の WE CAN!	今日の We Can!	知りおき	今日の感想
WE CAN 1 1. 今日の目標 2. 行ってみたい理由 WE CAN 1 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	(その日のゴールを英語で)	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
WE CAN 2 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
WE CAN 3 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
ゴール WE CAN 4 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	
WE CAN 5 1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！	()	1. 行ってみたい国や地域を調べよう！ 2. 調べた国や地域の国旗や名前を書こう！ 3. 行ってみたい理由を伝え合おう！	

(裏)

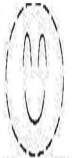

知識及び技能

7 単元の「目標」

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行きたい国や場所について言ったり聞いたり，書き写したりしよう。 ・ 行きたい理由も伝え合おう。 ・ 行きたい国，場所について調べ，伝え合おう。
----------------	---












思考力，判断力，表現力等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can！」

ゴール We Can!	おすすめの国はどこ？
	 おすすめの国や場所について調べ、理由もつけながら伝え合うことができる。
	 行きたい国や場所などを書き写すことができる。













9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can！」

※ ①「今日の目標」 ②「書くことの目標」として設定

時	各 時 間 の We Can!	
1	WE CAN① 	①おすすめ情報を聞き取るぞ！ ②4線に国の名前を正しく書こう。
2	WE CAN② 	①行きたい国を伝えよう ②4線に行きたい国の名前を正しく書こう
3	WE CAN③  	①おすすめのポイントを考えよう ②紹介したい国の名前を書こう
4	WE CAN④ 	①おすすめのポイントを，理由を付けて伝えよう ②文を書き写そう
5	WE CAN⑤ 	①紹介の言い方に慣れよう ②ポスターから知っている言葉を探そう
6	WE CAN⑥  	①おすすめスピーチを聞き取るぞ！ ②英語で紹介文を書こう
7	WE CAN⑦ 	①行きたい国を工夫して伝え合おう
8	ゴールWE CAN  	①納得したおすすめのことを，聞き取ろう ②聞き取ったおすすめのことを書き写そう

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては，単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。観点は，「自分から」「交流して」「分かった」「できた」という4つを設定した。

振 り 返 り			
	自分から	交流して	分かった
①自分から			
②交流して			
③分かった			
④できた			

11 児童が記入した「WE-CANシート」

(表)

Unit6 I want to go to Italy.		Class (5 -) No. () Name ()	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国や場所について書いたり聞いたり、書き写したりしよう。 ・行きたい理由も伝え合おう。 ・行きたい国、場所について調べ、伝え合おう。 	ゴール We Can!	
		おやすめの国はどこ?	
		おやすめの国や場所について調べ、理由もつづきながら伝え合うことができる。	
		行きたい国や場所などを書き写すことができる。	
各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① ①今日の目標 ②書くことの日			
WE CAN ② ①おやすめの国や場所を閉まるまで！ ②4国に好きな国を書き写すこと	(Brazil Canada)		おやすめの国や場所をしっかりと書き取り、好きな国を閉まるまで書き写すこと。自分のバランスが保たれて良かった。
WE CAN ③ ①行きたい国を伝えよう ②4国に行きたい理由を書き写すこと	(I want go to Egypt.)		行きたい国を英語と英語のついでに書いて伝えることができて、自分の名前も入れて書くことができて良かったです。
WE CAN ④ ①おやすめのポイントを書き写す ②紹介したい国の名前を書こう	(I want to see pyramids)		何を見たいかもしっかり書き取り、ピラミッドの絵も書いて、しっかりと書き写すことができました。
WE CAN ⑤ ①おやすめのポイント、理由を付けて伝えよう ②文字を書き写すこと	(You can ride Camel.)		自分のおやすめの国や場所をしっかりと書き写すことができ、しっかりと書き写すことができました。
WE CAN ⑥ ①紹介の仕方について調べよう ②クイズから知っている言葉を書こう	(Do you like coffee?)		まだわからないので、調べようという気持ちで、調べてみることにしました。

(裏)

Unit6 I want to go to Italy.		Class (6 -) No. () Name ()	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国や場所について書いたり聞いたり、書き写したりしよう。 ・行きたい理由も伝え合おう。 ・行きたい国、場所について調べ、伝え合おう。 	ゴール We Can!	
		おやすめの場所はどこ?	
		おやすめの国や場所について調べ、理由もつづきながら伝え合うことができる。	
		行きたい国や場所などを書き写すことができる。	
各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① ①今日の目標 ②書くことの日			
WE CAN ② ①おやすめのスピーチを書き写すこと ②英語で紹介しよう	(I want to eat meat.)		おやすめの国の名前や場所をしっかりと書き取り、自分の好きな食べ物を紹介することができて良かったです。
WE CAN ③ ①行きたい国や場所を伝えて伝えよう ②4国に行きたい理由を書き写すこと	(I want to ride Camels.)		行きたい国や場所をしっかりと書き取り、自分の好きな動物を乗りたい理由も書いて伝えることができて良かったです。
ゴール WE CAN ④ ①紹介したおやすめの国や場所、理由を付けて伝えよう ②おやすめの国や場所を調べよう	(I want to eat meat.)		自分の好きな食べ物をしっかりと書き写すことができ、しっかりと書き写すことができました。

(表)

WE-CAN! シート

Unit 6 I want to go to Italy. Class (5 -) No. () Name ()

目標	ゴール We Can!	おススメの国はどこ？	
<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国や場所についてさったり聞いたり、書き写したりしよう。 行きたい理由も伝え合おう。 行きたい国、場所について調べ、伝え合おう。 	ゴール We Can!	おススメの国や場所について調べ、理由もつけながら伝え合うことができる。	行きたい国や場所などを書き写すことができる。
各時間の WE CAN!	"今日のWe Can!"	振り返り	今日の感想
WE CAN ① ①今日の日記 ②書くことの日付 ③	今日のWe Can! (Turkey Vietnam)	①書き写す ②読む ③書く	
WE CAN ② ①おススメの国を伝えよう！ ②4つの国の名を正しく書く	(I want to go to India)	①書き写す ②読む ③書く	関心をもてる国を 伝えた。その国のこと もかき写すことができた。
WE CAN ③ ①行きたい国を伝えよう！ ②4国にわたる国の名前を正しく書く	(I want to eat chocolate)	①書き写す ②読む ③書く	行きたい国の名前も 伝えよう。
WE CAN ④ ①おススメのポイントや理由を伝えて伝えよう ②文を書き写す	You can eat I want to eat chocolate.	①書き写す ②読む ③書く	おススメの理由も 伝えよう。
WE CAN ⑤ ①おススメの国に書いて書き写す ②ボスターから帰って来る国を書き写す	Do you like coffee?	①書き写す ②読む ③書く	行きたい国を 伝えよう。

(裏)

WE-CAN! シート

Unit 6 I want to go to Italy. Class (5 -) No. () Name ()

目標	ゴール We Can!	おススメの場所はどこ？	
<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国や場所についてさったり聞いたり、書き写したりしよう。 行きたい理由も伝え合おう。 行きたい国、場所について調べ、伝え合おう。 	ゴール We Can!	おススメの国や場所について調べ、理由もつけながら伝え合うことができる。	行きたい国や場所などを書き写すことができる。
各時間の WE CAN!	"今日のWe Can!"	振り返り	今日の感想
WE CAN ① ①今日の日記 ②書くことの日付 ③	今日のWe Can! (I want to eat chocolate)	①書き写す ②読む ③書く	
WE CAN ② ①おススメの国を伝えよう！ ②4国で国名を書こう	I want to eat chocolate.	①書き写す ②読む ③書く	スイスのチョコレート が好きです。
WE CAN ③ ①行きたい国を伝えよう！ ②おススメの理由を伝えよう	I want to buy big water.	①書き写す ②読む ③書く	行きたい国を 伝えよう。
ゴール WE CAN ④ ①おススメの国や場所を、理由もつけて書き写す ②おススメの国や場所を、理由もつけて書き写す	I want to go to Belgium.	①書き写す ②読む ③書く	行きたい国を 伝えよう。

資料7 実践7 一関市立萩荘小学校 5学年（令和元年6～7月実施）について

1 単元名 Unit2 When is your birthday? 行事・誕生日 (We Can!1)

2 題材

児童にとって特別な月日とは、誰にもある誕生日ではないかという思いから、本単元では、自分や友達の誕生日を通して、月日や日付の尋ね方の表現などに出会わせるよう題材を設定している。好きなものやこと、欲しいものなどについて尋ね合って得た情報をもとに、友達へのバースデーカードを作成する。そのカードをきちんと相手に贈り届けるために尋ねたり答えたりする場面を設定することで、誕生日を尋ねたり答えたりする必然性が生まれる。児童には、バースデーカードを贈り合う活動を通して言葉で人と関わる楽しさを感じさせるとともに、世界にはさまざまな行事があり、そこには地域の人々のさまざまな願いや思いが込められていることにも気付かせたい。

3 主な言語活動及び新言語材料

月日や日付の尋ね方の表現を学ぶ。また、外国語活動で大・小文字に慣れ親しんだことを踏まえ、本単元では、大文字の書き方が分かり、書くことができるようになることも目標としている。誕生日カードを作成するという場面設定をし、丁寧に文字を書く活動を通して、書くことの有用性を味わわせたい。

4 指導者 専科教員

5 対象学級 第5学年 30名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」

Unit 2 When is your birthday?		Class () No. () Name ()
活字体の大文字を書こう。 誕生日や好きなもの、ほしいものなどを伝え合おう。 相手のことをよく知るために、バースデーカードを伝え合おう。		ゴール We Can! 相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう！ ★バースデーカードを作って伝え合おう！
時	今日の We Can!	振り返り <small>今日の活動の感想を書きましょう。 会話の楽しさや友だちのよいところ、新しい発見等。</small>
1	We Can① 月の言い方を知ろう。	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan
2	We Can② 月の名前と日付の言い方を知ろう。	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan
3	We Can③ 誕生日や好きなものなどを聞き取ろう。	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan
4	We Can④ 誕生日や好きなもの、ほしいものをたずねたり答えたりしよう。	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan
5	We Can⑤ 活字体の大文字を覚えて書こう。	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan
6	We Can⑥ 誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう。	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan
7	We Can⑦ 相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう。	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan
8		①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④今日のWeCan

知識及び技能

7 単元の「目標」

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・活字体の大文字を書こう。 ・誕生日や好きなもの、ほしいものなどを伝え合おう。 ・相手のことをよく知るために、バースデーカードを伝え合おう。
----------------	--

思考力、判断力、表現力等





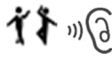


学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	<p>相手のことをよく知るために、 誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう！</p> <p>★バースデーカードを作って伝え合おう！</p>
------------------------	---

「Aの姿」「Bの姿」を示さずに、具体的な活動内容を示している

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can!
1	WE CAN① 月の言い方を知ろう。 
2	WE CAN② 月の名前と日付の言い方を知ろう。 
3	WE CAN③ 誕生日や好きなものなどを聞き取ろう。 
4	WE CAN④ 誕生日や好きなもの、ほしいものをたずねたり答えたりしよう。 
5	WE CAN⑤ 活字体の大文字を覚えて書こう。 
6	WE CAN⑥ 誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう。
7	ゴールWE CAN 相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう。  

10 選択式による「振り返り」の観点
本実践においては、単元のすべての
単位時間において同じ項目で振り返り
を行わせた。

①進んで活動			
②はっきりした声			
③アイコンタクト			
④今日のWeCan			

WE-CAN! シート

Unit 2 When is your birthday? Class () No. ()

活字体の大文字を書こう。
誕生日や好きなもの、ほしいものなどを伝え合おう。
相手のことをよく知るために、バースデーカードを伝え合おう。

ゴール We Can!

相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう!
★バースデーカードを作って伝え合おう!

No.	今日の We Can!	振替	振替	今日の活動の様子を書きましょう。
1	We Can ① 1つ 月の言い方を知ろう。	From	児童名 (ローマ字)	① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
2	We Can ② 1つ 月の名前と日付の言い方を知ろう。	JULY 15th		① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
3	We Can ③ 1つ 誕生日や好きなものなどを聞き取ろう。	To	児童名 (ローマ字)	① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
4	We Can ④ 1つ 誕生日や好きなもの、ほしいものをたずねたり答えたりしよう。	Happy Birthday		① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
5	We Can ⑤ 1つ 大文字を覚えて書こう。			① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
6	We Can ⑥ 1つ 誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう。			① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
7	ゴールの We Can ⑦ バースデーカードを作って伝え合おう。			① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can

WE-CAN! シート

Unit 2 When is your birthday? Class () No. () Name ()

活字体の大文字を書こう。
誕生日や好きなもの、ほしいものなどを伝え合おう。
相手のことをよく知るために、バースデーカードを伝え合おう。

ゴール We Can!

相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう!
★バースデーカードを作って伝え合おう!

No.	今日の We Can!	振替	振替	今日の活動の様子を書きましょう。
1	We Can ① 1つ 月の言い方を知ろう。	From	児童名 (ローマ字)	① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
2	We Can ② 1つ 月の名前と日付の言い方を知ろう。	DECEMBER 29th		① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
3	We Can ③ 1つ 誕生日や好きなものなどを聞き取ろう。	To	児童名 (ローマ字)	① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
4	We Can ④ 1つ 誕生日や好きなもの、ほしいものをたずねたり答えたりしよう。	Happy Birthday		① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
5	We Can ⑤ 1つ 大文字を覚えて書こう。			① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
6	We Can ⑥ 1つ 誕生日や好きなもの、ほしいものを伝え合おう。			① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can
7	ゴールの We Can ⑦ バースデーカードを作って伝え合おう。			① 振替で名前 ② 振替で月名 ③ アイコンタクト ④ 今日のWe Can

資料8 実践8 一関市立萩荘小学校 5学年（令和元年10～11月実施）について

- 1 単元名 Unit6 I want to go to Italy (We Can!1)
- 2 題材 (本資料 資料6 p.16 参照)
- 3 主な言語活動及び新言語材料 (本資料 資料6 p.16 参照)
- 4 指導者 専科教員
- 5 対象学級 第5学年 30名
- 6 本実践において作成した「WE-CANシート」

Unit 6 I want to go to Italy		Class () No.() Name()
目標 国名や行きたい場所などについて、聞いたり言ったりしよう。 国名や行きたい理由などについて、例を参考にして書いてみよう。 相手に伝わるように工夫して、おすすめの国について伝え合おう。		ゴール We Can! 相手に伝わるように工夫しておすすめの国やその理由を伝え合おう ★ツアーガイドになっておすすめツアーを紹介し合おう！
時	今日の We Can!	振り返り
1	We Can① 世界のいろいろな国について知ろう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan
2	We Can② 行きたい国を聞いたり言ったりしよう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan
3	We Can③ どこの国に行きたいかたずねたり答えたりしよう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan
4	We Can④ おすすめの国について伝え合おう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan
5	We Can⑤ 文字の音を推測しながら読もう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan
6	We Can⑥ 文字の音を推測しながら、相手に伝わるように書き写そう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan
7	We Can⑦ おすすめツアーの紹介の準備をしよう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan
8	ゴール We Can 相手に伝わるように工夫しておすすめツアーを紹介し合おう。	①楽しんで読んだ ②ほっこりした声 ③アイコンタクト ④発音練習のWeCan

知識及び技能

7 単元の「目標」

目 標	・国名や行きたい場所などについて、聞いたり言ったりしよう。	思考力、判断力、表現力等
	・国名や行きたい理由などについて、例を参考にして書いてみよう。	
	・相手に伝わるように工夫して、おすすめの国について伝え合おう。	

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	相手に伝わるように工夫しておすすめの国やその理由を伝え合おう
	★ツアーガイドになっておすすめツアーを紹介し合おう！

「Aの姿」「Bの姿」を示さずに、具体的な活動内容を示している

WE-CAN / 1 / 2 / 3 / 4

Unit 6 I want to go to Italy		Class () No. () Name ()
日 国名や行きたい場所などについて、聞いたり言ったりしよう。 国名や行きたい理由などについて、例を参考にして書いてみよう。 相手に伝わるように工夫して、おすすめ为国について伝え合おう。		ゴール We Can! 相手に伝わるように工夫しておすすめ为国やその理由を伝え合おう *ツアーガイドになっておすすめツアーを紹介し合おう!
今日の We Can!	"今日のWe Can!"	振り返り
We Can ① 世界のいろいろな国について知ろう。		今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ② 行きたい国を聞いたり言ったりしよう。	I want to go to <u>America</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ③ どの国に行きたいかたずねたり答えたりしよう。	I want to <u>see</u> <u>スタジオアリアバテ</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ④ おすすめ为国について伝え合おう。	I want to <u>eat</u> <u>ピックハババーガ</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ⑤ 文字の音を推測しながら読もう。		今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ⑥ 文字の音を推測しながら、相手に伝わるように書き写そう。	I want to <u>buy</u> <u>トナリ</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ⑦ おすすめツアーの紹介の準備をしよう。	It's <u>nice</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
ゴール We Can 相手に伝わるように工夫しておすすめツアーを紹介し合おう。		今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)

WE-CAN / 1 / 2 / 3 / 4

Unit 6 I want to go to Italy		Class () No. () Name ()
日 国名や行きたい場所などについて、聞いたり言ったりしよう。 国名や行きたい理由などについて、例を参考にして書いてみよう。 相手に伝わるように工夫して、おすすめ为国について伝え合おう。		ゴール We Can! 相手に伝わるように工夫しておすすめ为国やその理由を伝え合おう *ツアーガイドになっておすすめツアーを紹介し合おう!
今日の We Can!	"今日のWe Can!"	振り返り
We Can ① 世界のいろいろな国について知ろう。		今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ② 行きたい国を聞いたり言ったりしよう。	I want to go to <u>Italy</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ③ どの国に行きたいかたずねたり答えたりしよう。	I want to <u>see</u> <u>ピサのシャトル</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ④ おすすめ为国について伝え合おう。	I want to <u>eat</u> <u>ピザ</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ⑤ 文字の音を推測しながら読もう。		今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ⑥ 文字の音を推測しながら、相手に伝わるように書き写そう。	I want to <u>buy</u> <u>オイル</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
We Can ⑦ おすすめツアーの紹介の準備をしよう。	It's <u>nice</u>	今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)
ゴール We Can 相手に伝わるように工夫しておすすめツアーを紹介し合おう。		今日の活動の感想を書きましょう。(余白の使い方や友だちのよいところ、新しい発見等)

資料9 実践9 盛岡市立見前南小学校 6学年（令和元年6～7月実施）について

1 単元名 Unit3 He is famous. She is great. (We Can!2)

2 主な言語活動及び新言語材料

英語の文構造を理解し、自分たちで言葉を紡ぎ出せれば、児童たちは自分の言いたいことを表現することができる。また、相手の表現していることが、より理解できるようになり、より豊かにコミュニケーションが図れるようになる。たとえこれまでに出会ったことのない場面であっても、自分たちの言いたいことを自分たちの力で表現したり、相手の表現していることを理解したりできるようになるためには、文構造を理解することが欠かせない。まず児童が英語の文の語順に気付き、そのことを意識しながら、自分たちでこれまでに慣れ親しんできた語句や表現を使う体験が必要である。本単元では、これまでに音声で十分に慣れ親しんだ文を取り上げ、どのような語順になっているのかに気付き、それを意識して話したり書いたりできるようになることを目指す。これまでに十分音声で慣れ親しんでいる文を、単語が添えられた絵カードなどで可視化し、児童が語順に気付いたり、その気付きを生かして文を作ったりする活動を設定する。

3 指導者 専科教員

4 対象学級 第6学年 21名

5 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Unit 3 He is famous. She is great.		Class (6 -) No. () Name ()
目標	英語の語順に気づき、自分や友だちについて、聞いたり言ったりしよう。	ゴール We Can!	英語の語順を意識して、自分や友だちについて紹介しよう!	
	単語の語順を意識して、自分や友だちについて聞いたり言ったりしよう。		語順を意識して、ヒントを得ながら英文を書き写すことができる。	語順を意識して、自分で英文を書き写すことができる。
各時間の WE CAN!		今日の We Can !		振り返り
1	WE CAN① 紹介文を聞いて、名前を書き写そう。(p.18,19)			①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
2	WE CAN② 様々な単語を聞いたり言ったりしよう。(p.20,21)	I like ()		①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
3	WE CAN③ 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を作ってみよう。(p.22)	I eat ()		①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
4	ゴール WE CAN 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を書き写そう。(p.23)	I study ()		①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
5	ゴール WE CAN 英語の語順を意識しながら、友だちについての紹介を書こう。(p.23)			①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
6	TRY① だれのことを紹介しているか、聞き取ろう。(p.24)	I can play ()		①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
7	TRY② 人物当てクイズを作ろう。(p.24)			①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
8	TRY③ 人物当てクイズ大会をしよう。(p.24)			①読んで活動 ②学び合い ③がんばりポイント ④各時間の We Can
今日の感想				

知識及び技能



6 単元の「目標」

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の語順に気づき、自分や友だちについて、聞いたり言ったりしよう。 ・ 英語の語順を意識して、自分や友だちについて紹介したり、紹介する文を書いたりしてみよう。 ・ 語順を意識して、友だちについて伝え合おうとしよう。
----------------	---








思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

7 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	<p>英語の語順を意識して、自分や友だちについて紹介しよう!</p>
	 <p>語順を意識して、ヒントを得ながら英文を書き写すことができる。</p>
	 <p>語順を意識して、自力で英文を書き写すことができる。</p>

8 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can!	
1	WE CAN① 紹介文を聞いて、名前を書き写そう。(p. 18, 19)	
2	WE CAN② 様々な単語を聞いたり言ったりしよう。(p. 20, 21)	
3	WE CAN③ 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を作ってみよう。(p. 22)	
4	WE CAN④ 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を書き写そう。(p. 23)	
5	ゴールWE CAN 英語の語順を意識しながら、友だちについての紹介を書こう。(p. 23)	
6	TRY① だれのことを紹介しているか、聞き取ろう。(p. 24)	
7	TRY② 人物当てクイズを作ろう。(p. 24)	
8	TRY③ 人物当てクイズ大会をしよう。(p. 24)	

9 選択式による「振り返り」の観点

振 り 返 り	
①進んで活動	
②学び合い	
③がんばりポイント	
④各時間のWeCan	

本実践においては、この単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

この中の「③がんばりポイント」については、授業の導入段階において、その授業のねらいを発表すると同時に、その時間の「がんばりポイント」を「各時間のWe Can」のマークで示し掲示する。そして、振り返りの時間において、そのポイントについて振り返りを行わせていた。

WE-CAN! シート		Unit 3 He is famous. She is great.		Class (6 -) No. () Name ()	
目標	英語の語順に基づき、自分や友だちについて、正しい書き方をする。 単語の綴りを覚える。自分や友だちについて、紹介する文章を書く。 英語を覚える。友だちについて紹介しよう。	ゴール We Can!	英語の語順を意識して、ヒントを頼りながら英文を書き出すことができる。	振り返り	英語を覚える。自分で英文を書き出すことができる。
各時間の WE CAN!	“今日のWe Can!”		振り返り	今日の感想	
1 WE CAN ① 紹介文を書いて、名前を書き写そう。(p.18,19)	Carrotina		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は動物の名前を書いて、 いたるところで動物と関心 てかきかいたのが、たてで 足も上に書いてみました。	
2 WE CAN ② 様々な単語を聞いたり言ったりしよう。(p.20,21)	I like (P.E.)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は P.E. という単語を も覚えることができた。楽し くかきかいた。	
3 WE CAN ③ 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を作ってみよう。(p.22)	I eat (pizza)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は P.E. という単語を も覚えることができた。楽し くかきかいた。	
4 ゴール WE CAN 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を書き写そう。(p.23)	I study (P.E.)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は書いて覚えることが たてで、楽しかったです。た てで、かきかいた。	
5 ゴール WE CAN 英語の語順を意識しながら、友だちについての紹介を書こう。(p.23)	I study P.E.		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は友達の名前を書き かいた。いろいろな単語を覚 えることができたので、た てでかきかいた。	
6 TRY ① だれのことを紹介しているか、聞き取ろう。(p.24)	I can play (basketball)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は P.E. という単語を も覚えることができた。楽し くかきかいた。	
7 TRY ② 人物当てクイズを作ろう。(p.24)	I like socks		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は P.E. という単語を も覚えることができた。楽し くかきかいた。	
8 TRY ③ 人物当てクイズ大会をしよう。(p.24)	I play basketball		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は P.E. という単語を も覚えることができた。楽し くかきかいた。	

WE-CAN! シート		Unit 3 He is famous. She is great.		Class (6 -) No. () Name ()	
目標	英語の語順に基づき、自分や友だちについて、正しい書き方をする。 単語の綴りを覚える。自分や友だちについて、紹介する文章を書く。 英語を覚える。友だちについて紹介しよう。	ゴール We Can!	英語の語順を意識して、ヒントを頼りながら英文を書き出すことができる。	振り返り	英語を覚える。自分で英文を書き出すことができる。
各時間の WE CAN!	“今日のWe Can!”		振り返り	今日の感想	
1 WE CAN ① 紹介文を書いて、名前を書き写そう。(p.18,19)	Grandt		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	
2 WE CAN ② 様々な単語を聞いたり言ったりしよう。(p.20,21)	I like (cats)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	
3 WE CAN ③ 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を作ってみよう。(p.22)	I eat (cake)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	
4 ゴール WE CAN 英語の語順を意識しながら、自己紹介する文を書き写そう。(p.23)	I study (English)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	
5 ゴール WE CAN 英語の語順を意識しながら、友だちについての紹介を書こう。(p.23)	I like dogs		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	
6 TRY ① だれのことを紹介しているか、聞き取ろう。(p.24)	I can play (badminton)		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	
7 TRY ② 人物当てクイズを作ろう。(p.24)	I like cats		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	
8 TRY ③ 人物当てクイズ大会をしよう。(p.24)	I like cats		日本語で読む 英単語の 読み方のポイント 英語の We Can	今日は、いろいろな名前を かきかいた。たてでかきか いた。たてでかきかいた。	

資料10 実践10 盛岡市立見前南小学校 6学年（令和元年9～10月実施）について

1 単元名 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 (We Can!2)

2 題材

本単元は、夏休み明けに実施することを想定しており、夏休みの思い出を題材とすることは、児童にとって聞いたり話したりする必然性があるとともに、夏休みにしたことという「日常生活に関する身近で簡単な事柄」について聞いたり話したりすることは、学習指導要領の目標にも合致している。本単元では、過去の表現が分かり、夏休みに行った場所や、そこで楽しんだこと、感想などについて伝え合ったりすること、また、それらについて書かれたものを読もうとしたり、話したことを書こうとしたりすることを目標としている。

3 主な言語活動及び新言語材料

本単元では、夏休みの思い出について伝え合う言語活動に取り組むことで、過去形を無理なく自然に活用できるようになると考える。なお、過去形が初出であることから、児童にとって難易度が高くないよう、取り扱う過去に関する言語材料は、went, ate, saw, enjoyed, wasに限定している。また、本単元においても、「聞くこと」「話すこと」の言語活動に取り組み、語句や表現に音声で十分に慣れ親しませたあと、単元後半でそれらを読んだり書いたりする構成としている。

4 指導者 専科教員

5 対象学級 第6学年 21名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Unit 5 My Summer Vacation		Class (6 -) No.() Name()
目標	夏休みの思い出について、聞いたり言ったりしよう。	ゴール We Can!	自分の夏休みの思い出を發表しよう!	
	既習を覚悟して、自分の夏休みの思い出について書いてみよう。		夏休みの思い出について、行った場所や食べたものを伝えることができる。	夏休みの思い出について、感想も付け加えて、行った場所や食べたものを伝えることができる。
各 時 間 の WE CAN!			“今日のWe Can!”	振り返り 今日の感想
1	WE CAN ① 夏休みに行った場所や食べたものを聞いたり言ったりしよう。(p.34,35)			①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can
2	WE CAN ② 夏休みに行った場所やそこでしたこと、感想を聞き取ろう。(p.36)		I went to ()	①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can
3	WE CAN ③ 語順を意識して、夏休みの思い出を聞いたり書いたりしてみよう。(p.37)		I enjoyed ()	①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can
4	WE CAN ④ 夏休みに行った場所についてクイズを出したり答えたりしよう。(p.38)		I ate ()	①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can
5	WE CAN ⑤ ALTの夏休みの過ごし方について聞いてみよう。		It was ()	①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can
6	WE CAN ⑥ ・夏休みの思い出を推測しながら読もう。(p.39) ・自分の夏休みの思い出を友だちと伝え合おう。(p.40)			①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can
7	ゴールWE CAN ① 自分の夏休みの思い出を發表しよう。(p.40)			①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can
8	ゴールWE CAN ② 夏休みの思い出を紹介する文を書いてみよう。(p.40)			①読んで活動 ②オジかい ③がんばりポイント ④各時間のWe Can

知識及び技能



思考力、判断力、表現力等

7 単元の「目標」

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの思い出について、聞いたり言ったりしよう。 ・語順を意識して、自分の夏休みの思い出について書いてみよう。 ・自分の夏休みの思い出について、聞いている人に伝えるように話してみよう。
----------------	---

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	<h2 style="margin: 0;">自分の夏休みの思い出を発表しよう!</h2>
	夏休みの思い出について、行った場所や食べたものを伝えることができる。
	夏休みの思い出について、感想も付け加えて、行った場所や食べたものを伝えることができる。

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can !
1	WE CAN① 夏休みに行った場所や食べたものを聞いたり言ったりしよう。(p. 34, 35) 
2	WE CAN② 夏休みに行った場所やそこでしたこと、感想を聞き取ろう。(p. 36) 
3	WE CAN③ 語順を意識して、夏休みの思い出を聞いたり書いたりしてみよう。(p. 37) 
4	WE CAN④ 夏休みに行った場所についてクイズを出したり答えたりしよう。(p. 38) 
5	WE CAN⑤ ALTの夏休みの過ごし方について聞いてみよう。 
6	WE CAN⑥ ・夏休みの思い出を推測しながら読もう。(p. 39)  ・自分の夏休みの思い出を友だちと伝え合おう。(p. 40) 
7	ゴールWE CAN① 自分の夏休みの思い出を発表しよう。(p. 40)  
8	ゴールWE CAN② 夏休みの思い出を紹介する文を書いてみよう。(p. 40) 

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、この単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

この中の「③がんばりポイント」については、その授業のねらいを発表すると同時に、その時間の「がんばりポイント」を「各時間のWe Can」のマークで示し掲示する。

振 り 返 り	知識 技能	思考 判断 表現 力 等
①進んで活動	(口)	(人)
②学び合い	(口)	(人)
③がんばりポイント	(口)	(人)
④各時間のWe Can	(口)	(人)

11 児童が記入した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Unit 5 My Summer Vacation	Class (6) No. () Name ()
目標	夏休みの思い出について、書いてみよう。	ゴール We Can!	自分の夏休みの思い出アルバムを作ろう!
	語彙を覚悟して、自分の夏休みの思い出について書いてみよう。		夏休みの思い出について、思った場所や食べたものを聞いたり言ったりしよう。
各時間の WE CAN!	今日の We Can!		振り返り
1	WE CAN ① 夏休みに行った場所や食べたものを聞いたり言ったりしよう。(p.34,35)	Watermelon sea	夏、暑い季節を覚、1人でおぼえていきたいです。単語でもつか、ていきたいです。
2	WE CAN ② 夏休みに行った場所やそこでしたこと、感想を聞き取ろう。(p.36)	I went to (sea)	お休みの間、おじいちゃんの家で勉強が楽しかったのだから、覚えておきたいです。
3	WE CAN ③ 語彙を覚悟して、夏休みの思い出を聞いたり書いたりしてみよう。(p.37)	I enjoyed (shopping)	今日は夏休みの前、お土産を買った。買ったものを覚悟して、書くことができたのだから、いいです。
4	WE CAN ④ 夏休みに行った場所についてクイズを出したり答えたりしよう。(p.38)	Late (watermelon)	聞き取りで、1人1人が覚悟して、おぼえていくので、覚えておきたいです。
5	WE CAN ⑤ ALTの夏休みの過ごし方について聞いてみよう。	It was (fun)	今日は、問題の回はおぼえて、おぼえておきたいです。おぼえておきたいです。
6	WE CAN ⑥ 夏休みの思い出を挿しながらいきましょう。(p.39)	It was delicious.	今日は、おぼえておきたいです。おぼえておきたいです。
7	ゴール WE CAN ① 自分の夏休みの思い出を発表しよう。(p.40)	I went to the sea.	英語で発表しよう。おぼえておきたいです。
8	ゴール WE CAN ② 夏休みの思い出を紹介する文を書いてみよう。(p.40)	I went to the sea.	英語の形に気をつけて書くことができた。おぼえておきたいです。

WE-CAN! シート		Unit 5 My Summer Vacation	Class (6 -) No. () Name ()
目標	夏休みの思い出について、書いてみよう。	ゴール We Can!	自分の夏休みの思い出アルバムを作ろう!
	語彙を覚悟して、自分の夏休みの思い出について書いてみよう。		夏休みの思い出について、思った場所や食べたものを聞いたり言ったりしよう。
各時間の WE CAN!	今日の We Can!		振り返り
1	WE CAN ① 夏休みに行った場所や食べたものを聞いたり言ったりしよう。(p.34,35)	Grandparents' house	今日は、夏休みにした、行った場所や食べたものを聞いて、おぼえておきたいです。
2	WE CAN ② 夏休みに行った場所やそこでしたこと、感想を聞き取ろう。(p.36)	I went to (Hokkaido)	今日は、夏休みにした、行った場所や食べたものを聞いて、おぼえておきたいです。
3	WE CAN ③ 語彙を覚悟して、夏休みの思い出を聞いたり書いたりしてみよう。(p.37)	I enjoyed (swimming)	今日は、夏休みの思い出を聞いたり書いたりすることができた。おぼえておきたいです。
4	WE CAN ④ 夏休みに行った場所についてクイズを出したり答えたりしよう。(p.38)	Late ()	今日は、夏休みの思い出を聞いたり書いたりすることができた。おぼえておきたいです。
5	WE CAN ⑤ ALTの夏休みの過ごし方について聞いてみよう。	It was (fun)	今日は、夏休みの思い出を聞いたり書いたりすることができた。おぼえておきたいです。
6	WE CAN ⑥ 夏休みの思い出を挿しながらいきましょう。(p.39)	I went to Hokkaido.	今日は、夏休みの思い出を聞いたり書いたりすることができた。おぼえておきたいです。
7	ゴール WE CAN ① 自分の夏休みの思い出を発表しよう。(p.40)	I enjoyed BBQ.	今日は、夏休みの思い出を聞いたり書いたりすることができた。おぼえておきたいです。
8	ゴール WE CAN ② 夏休みの思い出を紹介する文を書いてみよう。(p.40)	It was fun.	今日は、夏休みの思い出を聞いたり書いたりすることができた。おぼえておきたいです。

資料 11 実践 11 花巻市立太田小学校 6 学年（令和元年 6～7 月実施）について

1 単元名 単元 4 Turn Right. (Hi, friends! 2) ※花巻市のシラバスに沿って指導

2 題 材

本単元では、建物の表し方が英語と日本語とでは違うことに気付くとともに、道を尋ねたり、道案内したりすることに取り組む。

3 主な言語活動及び新言語材料

本単元では、目的地への行き方を尋ねたり、分かりやすく案内したりする言語活動に取り組む。その中で、道案内においてよく使われる表現である Go straight. や Turn right/left. といった表現に慣れ親しみ、最終的には使いこなせることを目指して取り組む。

4 指導者 学級担任

5 対象学級 第 6 学年 16 名

6 本実践において作成した「WE-CAN シート」

WE-CAN! シート		単元 4 Turn right.		Class () No. () Name ()
目 標	物の位置や建物の場所をたずねたり答えたりしよう。	ゴール We Can!	道案内をしよう。	
	日本語との表し方の違いを意識しながら分かりやすく道案内をしよう。		目的地までの道案内をしよう。	相手に伝わりやすいように工夫をして道案内をしよう。
時 間	各 時 間 の WE CAN!	“今日のWe Can!”		
1	WE CAN ① 物 身の回りの物を英語で表わしてみよう。	It's ()	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan	今日の感想
2	WE CAN ② 物 身の回りの物の位置を英語で表わしてみよう。	It's () the ()	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan	
3	WE CAN ③ 物 町中にある建物を英語で表わしてみよう。	It's ()	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan	
4	WE CAN ④ 物 町中にある建物への行き方をたずねたり答えたりしよう。	Where is the ()?	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan	
5	WE CAN ⑤ 物 目的地へ行き方を案内しよう。	Turn (). Go ()	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan	
6	WE CAN ⑥ 物 目的地への行き方を分かりやすく案内しよう。	Turn () at the ()	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間のWeCan	

7 単元の「目標」



目 標	<ul style="list-style-type: none"> 物の位置や建物の場所をたずねたり答えたりしよう。 日本語との表し方の違いを意識しながら分かりやすく道案内をしよう。 積極的に道をたずねたり道案内をしたりしよう。

知識及び技能



思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	道案内をしよう。
	 目的地までの道案内をしよう。  相手に伝わりやすいように工夫をして道案内をしよう。

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can!
1	WE CAN① 身の回りの物を英語で表わしてみよう。 
2	WE CAN② 身の回りの物の位置を英語で表わしてみよう。  
3	WE CAN③ 町中にある建物を英語で表わしてみよう。 
4	WE CAN④ 町中にある建物への行き方をたずねたり答えたりしよう。  
5	WE CAN⑤ 目的地へ行き方を案内しよう。   
6	ゴールWE CAN 目的地への行き方を分かりやすく案内しよう。  

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、この単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

①進んで活動			
②はっきりした声			
③アイコンタクト			
④各時間のWeCan			

資料 12 実践 12 金ヶ崎町立西小学校 6 学年（令和元年 7 月実施）について

- 1 単元名 Unit 3 He is famous. She is great. (We Can! 2)
- 2 主な言語活動及び新言語材料 (本資料 資料 9 p. 26 参照)
- 3 指導者 学級担任
- 4 対象学級 第 6 学年 11 名
- 5 本実践において作成した「WE-CAN シート」

WE-CAN! シート		Unit 3 He is famous. She is great		6 No. () Name ()	
目標	英語の語順が気づき、自分やある人について聞いたり言ったりしよう。	ゴール We Can!	英語の語順を意識しながら、Who's this? クイズをしよう!		
	表情や声の大きさに気をつけて、ある人について伝え合おうとしよう。		語順を意識しながら、ある人物について Who's this? クイズを出し合うことができる。	単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書くことができる。	
各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想		
WE CAN 1 好きなものやほしいものを伝え合おう	I like (calligraphy)	①	おもしろい人について自分の紹介ができたのでよかった。そして、好きなものを伝えることができた。		
WE CAN 2 日頃していることや趣味などの特徴を伝え合おう	I can (fly)	②	自分の得意なことを伝えることができた。友達と話を聞いてよかった。		
WE CAN 3 動作を表す語を使って文を作ろう	I want (cats)	③	動作を表す語の練習で、日本では猫を飼う人が多いから、私も飼いたいと思った。おもしろい。		
WE CAN 4 語順に気をつけて文を作ろう	I have (volleyball)	④	おもしろい人について、自分の持っているものについて話せた。		
WE CAN 5 Who's this? クイズを作ろう	I eat (milk everyday)	⑤	おもしろい人について、先生に紹介した。友達と話を聞いてよかった。		
ゴール WE CAN イト	Who's this?	⑥	おもしろい人について、先生に紹介した。友達と話を聞いてよかった。		

知識及び技能

6 単元の「目標」

目標	英語の語順に気づき、自分やある人について聞いたり言ったりしよう。
	英語の語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりしてみよう。

思考力、判断力、表現力等







学びに向かう力、人間性等

7 単元のゴールとなる言語活動「ゴール We Can!」

ゴール We Can!	英語の語順を意識しながら、Who's this? クイズをしよう!
	語順を意識しながら、ある人物について Who's this? Quiz を出し合うことができる。












単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書くことができる。

8 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can！」

時	各 時 間 の We Can !	
1	WE CAN① すきなものやほしいものを伝えあおう	
2	WE CAN② 日頃していることや趣味などの特徴を伝え合おう	
3	WE CAN③ 動作を表す語を使って文を作ろう	
4	WE CAN④ 語順に気をつけて文を作ろう	
5	WE CAN⑤ Who's this?クイズを作ろう	
6	ゴールWE CAN Who's this?クイズを出し合おう	

9 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、この単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

振り返り			
	1/2時	2/3時	3/4時
①進んで活動			
②よく聞く			
③がんばりポイント!			
④各時間のWe Can			

WE-CAN! シート

Unit 3 He is famous. She is great. 6 No.() Name()

目標	ゴール We Can!	英語の語順を意識しながら、Who's this? クイズをしよう!	英語と単語の間にスペースを置き、句読点を意識して、何を参考に紹介文を書くことができる。
英語の語順を意識して、自分やある人について書いて書くこと。また、自分の好きなものや好きな人について書いて書くこと。また、自分の好きなものや好きな人について書いて書くこと。	英語の語順を意識しながら、ある人について Who's this? クイズを出し合おう。	英語の語順を意識しながら、ある人について Who's this? クイズを出し合おう。	英語と単語の間にスペースを置き、句読点を意識して、何を参考に紹介文を書くことができる。
各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① 好きなものやほしいものを伝えあおう	I like (PE)	① I like (PE) ② I can (fly) ③ I want (a dog) ④ I have (a soccer ball) ⑤ I eat (rice everyday) ⑥ Who's this?	今日の感想 私は、好きなものやほしいものを伝えあおうことができてよかった。
WE CAN ② 日頃していることや趣味などの特徴を伝えあおう	I can (fly)		私は、日頃していることや趣味などの特徴を伝えあおうことができてよかった。
WE CAN ③ 動作を表す語を使って文を作ろう	I want (a dog)		私は、動作を表す語を使って文を作ろうことができてよかった。
WE CAN ④ 語順に気をつけて文を作ろう	I have (a soccer ball)		私は、語順に気をつけて文を作ろうことができてよかった。
WE CAN ⑤ Who's this? クイズを作ろう	I eat (rice everyday)		私は、Who's this? クイズを作ろうことができてよかった。
ゴール WE CAN ⑥ Who's this? クイズを出し合おう	Who's this?		私は、Who's this? クイズを出し合おうことができてよかった。

はい いいえ 不明

WE-CAN! シート

Unit 3 He is famous. She is great. 6 No.() Name()

目標	ゴール We Can!	英語の語順を意識しながら、Who's this? クイズをしよう!	英語と単語の間にスペースを置き、句読点を意識して、何を参考に紹介文を書くことができる。
英語の語順を意識して、自分やある人について書いて書くこと。また、自分の好きなものや好きな人について書いて書くこと。また、自分の好きなものや好きな人について書いて書くこと。	英語の語順を意識しながら、ある人について Who's this? クイズを出し合おう。	英語の語順を意識しながら、ある人について Who's this? クイズを出し合おう。	英語と単語の間にスペースを置き、句読点を意識して、何を参考に紹介文を書くことができる。
各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想
WE CAN ① 好きなものやほしいものを伝えあおう	I like (volleyball)	① I like (volleyball) ② I can (fly) ③ I want (books) ④ I have (volleyball) ⑤ I eat (noodle) ⑥ Who's this?	今日の感想 私が好きなものやほしい物を伝えあおうことができてよかった。
WE CAN ② 日頃していることや趣味などの特徴を伝えあおう	I can (fly)		私は、日頃していることや趣味などの特徴を伝えあおうことができてよかった。
WE CAN ③ 動作を表す語を使って文を作ろう	I want (books)		私は、動作を表す語を使って文を作ろうことができてよかった。
WE CAN ④ 語順に気をつけて文を作ろう	I have (volleyball)		私は、語順に気をつけて文を作ろうことができてよかった。
WE CAN ⑤ Who's this? クイズを作ろう	I eat (noodle)		私は、Who's this? クイズを作ろうことができてよかった。
ゴール WE CAN ⑥ Who's this? クイズを出し合おう	Who's this?		私は、Who's this? クイズを出し合おうことができてよかった。

はい いいえ 不明

資料 13 実践 13 金ヶ崎町立西小学校 6 学年（令和元年 9～10 月実施）について

- 1 単元名 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 (We Can! 2)
- 2 題材 (本資料 資料 10 p. 29 参照)
- 3 主な言語活動及び新言語材料 (本資料 資料 10 p. 29 参照)
- 4 指導者 学級担任
- 5 対象学級 第 6 学年 11 名
- 6 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Unit 5 My Summer Vacation		Class () No. () Name ()
目標	夏休みの思い出について、聞いたり言ったりしよう。	ゴール We Can!	夏休みの思い出について伝え合おう	
	自分の夏休みの思い出について例を参考に語順を意識しながら書いてみよう。 友達の思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝え合おう。		自分の思い出について、そのとき何をしたのかその感想を含めて伝え合おう。	
時	各時間の WE CAN!	“今日の We Can!”		振り返り
1	WE CAN① 夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしよう。	I went to the (swimming).	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	いままでとはちがって過去の“できごと”をいえてよかった。おもしろい。
2	WE CAN② 夏休みの思い出について行った場所や感想などを聞き取ろう。	It was (fun).	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	It was はアイをいらないようにしたいです。I と It アイと イット。県や町の名前の時は the がいらないところが分かった。いろいろな。
3	WE CAN③ 夏休みに行った場所とその感想を伝え合おう。		①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	I ate (ice cream). (It was nice).
4	WE CAN④ 夏休みに行った場所と食べた物の感想を言ったり聞いたりしよう。	I ate (ice cream). (It was nice).	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	I ate がうまい。時間があつたので食べたい。Sweet は甘い。分かった。おいしい。
5	WE CAN⑤ 夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりしよう。	I enjoyed (shopping).	①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	I enjoyed (shopping) をいって。おもしろい。マツダ。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
6	WE CAN⑥ 夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物の感想を伝え合おう。		①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	I went to (). (It was nice).
7	WE CAN⑦ 夏休みの思い出を推測しながら読もう。 ゴール WE CAN⑧ 友達の思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝え合おう。		①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	I went to (). (It was nice).
8	ゴール WE CAN⑨ 夏休みの思い出アルバムを作り、誰のアルバムか読んで当てよう。		①進んで活動 ②はっきりした声 ③アイコンタクト ④各時間の WeCan	前は行きたかったけど。今回は行ききた。おもしろい。



知識及び技能

7 単元の「目標」

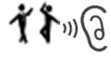

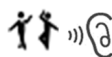




目標	夏休みの思い出について、聞いたり言ったりしよう。	思考力、判断力、表現力等
	自分の夏休みの思い出について例を参考に語順を意識しながらから書いてみよう。	
	友達の思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝え合おう。	

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」









ゴール We Can!	夏休みの思い出について伝え合おう
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>自分の思い出について、そのとき何をしたのかその感想を含めて伝え合おう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自分の考えや気持ちなどを付け加えながら伝え合おう。</p> </div> </div>

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can !
1	WE CAN① 夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしよう。 
2	WE CAN② 夏休みの思い出について行った場所や感想などを聞き取ろう。 
3	WE CAN③ 夏休みに行った場所とその感想を伝え合おう。 
4	WE CAN④ 夏休みに行った場所と食べた物の感想を言ったり聞いたりしよう。 
5	WE CAN⑤ 夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりしよう。 
6	WE CAN⑥ 夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物の感想を伝え合おう。 
7	WE CAN⑦ 夏休みの思い出を推測しながら読もう。  ゴールWE CAN① 友達の思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝え合おう。 
8	ゴールWE CAN② 夏休みの思い出アルバムを作り、誰のアルバムか読んで当てよう。  

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、この単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

振 り 返 り		
①進んで活動		
②はっきりした声		
③アイコンタクト		
④各時間のWeCan		

11 児童が記入した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート

Unit 5 My Summer Vacation Class () No. () Name ()

目標 夏休みの思い出について、聞いたり言ったりしよう。
自分の夏休みの思い出について例を参考に語彙を豊かにしながら書いてみよう。
友達との思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝えよう。

ゴール We Can! ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

夏休みの思い出について伝え合おう ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

自分の思い出について、そのとき何をしたのかその感想を含めて伝え合おう。

自分の考えや気持ちなどを付け加えながら伝え合おう。

時	各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想	
1	WE CAN ① 夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしよう。	I went to the (sea)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
2	WE CAN ② 夏休みの思い出について行った場所や感想などを聞き取ろう。	It was (beautiful)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
3	WE CAN ③ 夏休みに行った場所とその感想を伝え合おう。	I ate (noodle) (nice)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
4	WE CAN ④ 夏休みに行った場所と食べた物の感想を言ったり聞いたりしよう。	I enjoyed (volleyball)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
5	WE CAN ⑤ 夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりしよう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
6	WE CAN ⑥ 夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物の感想を伝え合おう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
7	WE CAN ⑦ 夏休みの思い出を推測しながら読もう。 ゴール WE CAN ① 友達との思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝え合おう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
8	ゴール WE CAN ② 夏休みの思い出アルバムを作り、誰のアルバムが読んでてよう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can

WE-CAN! シート

Unit 5 My Summer Vacation Class () No. () Name ()

目標 夏休みの思い出について、聞いたり言ったりしよう。
自分の夏休みの思い出について例を参考に語彙を豊かにしながら書いてみよう。
友達との思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝え合おう。

ゴール We Can! ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

夏休みの思い出について伝え合おう ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

自分の思い出について、そのとき何をしたのかその感想を含めて伝え合おう。

自分の考えや気持ちなどを付け加えながら伝え合おう。

時	各時間の WE CAN!	今日の We Can!	振り返り	今日の感想	
1	WE CAN ① 夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしよう。	I went to the (Forno)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
2	WE CAN ② 夏休みの思い出について行った場所や感想などを聞き取ろう。	It was (fun)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
3	WE CAN ③ 夏休みに行った場所とその感想を伝え合おう。	I ate (soft cream) (It was sweet)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
4	WE CAN ④ 夏休みに行った場所と食べた物の感想を言ったり聞いたりしよう。	I enjoyed (shopping)	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
5	WE CAN ⑤ 夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりしよう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
6	WE CAN ⑥ 夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物の感想を伝え合おう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
7	WE CAN ⑦ 夏休みの思い出を推測しながら読もう。 ゴール WE CAN ① 友達との思い出に反応しながら聞き、夏休みの思い出を伝え合おう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can
8	ゴール WE CAN ② 夏休みの思い出アルバムを作り、誰のアルバムが読んでてよう。		① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can	① 進んで活動 ② はっきりとした声 ③ アイコンタクト ④ 各時間の We Can

最後でしめり発表したいわ

資料 14 実践 14 一関市立萩荘小学校 6 学年（令和元年 6～7 月実施）について

1 単元名 Unit 2 Welcome to Japan (We Can! 2)

2 題 材

本単元では、季節と絡めながら日本の行事や食文化、遊び、芸能などを取り上げる。春にはお花見を、夏には花火大会を楽しむ。秋には紅葉の美しさを味わい、冬には正月に美味しいおせちを食することができる。このようなすばらしい日本だからこそ、そのよさを世界の人たちに伝えたいと思われる。また、これらの日本文化を、単なる知識としてではなく、「自分事」として捉えさせることが大切である。例えば、自分はどう思うか、外国人に伝えたい日本の行事は何か、自分はどんな日本の遊びを楽しみ、それをどう思っていたかなどについて考えたり想起させたりし、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動に取り組めるようにする。児童は日本文化について、社会科や総合的な学習の時間などである程度学習していると予想される。よって、本単元は、他教科等での学習内容を想起させるなど、他教科等と関連させながら活動に取り組みせやすい単元でもある。他教科等での学習内容や活動を本単元でも扱うことで、児童の興味・関心が高まり、より伝え合いたくなるであろう。

3 主な言語活動及び新言語材料

本単元で扱う主な言語材料は、既習表現の We have in ～. You can enjoy ～. It's ～. などである。これらを、前単元までとは異なる場面で繰り返し使うことで、より一層の定着を図ろうという意図がある。なお、行事や味覚を表す語量などについては初出のものがある。これらについては、十分に聞かせたうえで、ゲームなどで慣れ親しませ、対話活動において使うことにより、無理なく定着を図るよう単元が構成されている。

4 指導者 専科教員

5 対象学級 第 6 学年 34 名

6 本実践において作成した「WE-CAN シート」

WE-CAN! シート		Class () No. ()	Name ()
Unit 2 Welcome to Japan 日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりしよう。 自分が好きな日本文化について、例を参考に語順を覚直しながら書いてみよう。 友だちの紹介に反応しながら聞き、日本のよさを伝え合おう。		ゴール We Can!	自分が好きな日本の行事や文化を外国の人に伝えよう！ ★日本紹介ガイドブックを作ろう！
日	今日の We Can!	振り返り	今日の活動の感想を書きよう。
1	We Can ① 行事でどんなことが楽しめるか聞いたり言ったりしよう。	You can enjoy () in () .	① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can
2	We Can ② 季節と行事・祭りについて楽しめることを聞き取ろう。	We have	① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can
3	We Can ③ 食べ物と味などについて聞いたり言ったりしよう。	We have	① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can
4	We Can ④ 食べ物と味などについて聞いたり言ったりしよう。	It's	① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can
5	We Can ⑤ 好きな日本の遊びについて伝え合おう。	We have	① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can
6	We Can ⑥ 好きな日本の食べ物について伝え合おう。	We have	① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can
7	We Can ⑦ ポスターを作り、日本を紹介する準備をしよう。		① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can
8	ゴールの We Can ケビン先生に日本のよさを紹介しよう。		① 振り返り ② 初手を知らせる ③ 読み・音読 ④ 今日の We Can

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

7 単元の「目標」

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりしよう。 ・自分が好きな日本文化について、例を参考に語順を意識しながら書いてみよう。 ・友だちの紹介に反応しながら聞き、日本のよさを伝え合おう。
----------------	---

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	<p>自分が好きな日本の行事や文化を外国の人に伝えよう！</p> <p>★日本紹介ガイドブックを作ろう！</p>
------------------------	--

「Aの姿」「Bの姿」を示さずに、具体的な活動内容を示している

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

時	各 時 間 の We Can!	
1	WE CAN① 行事でどんなことが楽しめるか聞いたり言ったりしよう	
2	WE CAN② 季節と行事・祭りについて楽しめることを聞き取ろう。	
3	WE CAN③ 食べ物と味などについて聞いたり言ったりしよう。	
4	WE CAN④ 食べ物と味などについて聞いたり言ったりしよう。	
5	WE CAN⑤ 好きな日本の遊びについて伝え合おう。	
6	WE CAN⑥ 好きな日本の食べ物について伝え合おう。	
7	ゴールWE CAN ポスターを作り、日本を紹介する準備をしよう。	
8	ゴールWE CAN ケビン先生に日本のよさを紹介しよう。	

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

また、萩荘小学校の実践では、学習段階に合わせて、5年生と6年生の振り返りの視点をそれぞれに設定している。

(本資料 資料7・8 参照)

①自分を伝える			
②相手を知る			
③違いを理解			
④今日のWeCan			

資料 15 実践 15 一関市立萩荘小学校 6 学年（令和元年 10～11 月実施）について

1 単元名 Unit 7 My Best Memory 小学校生活・思い出 (We Can! 2)

2 題材

小学校の卒業を前に今までの学校生活を振り返る。この自然な行為に過去形が必要になってくる。学校生活の中でも小学校での 6 年間は最も長い。その生活を終えようとする節目に自らの生活を振り返ることはとても有意義であり、それを英語で表現することで子供たちの生活に自然に英語が入っていくことになる。さまざまな学校行事を英語で学習することで児童は自分たちが経験した行事を思い出すと考える。また、外国の学校行事との類似点や相違点を見つけながら、自分たちの学校生活をより深く振り返ることができると思う。

3 主な言語活動及び新言語材料

本単元は、およそ 12 月頃に実施される単元である。ちょうどその頃から 6 年生の学級では、卒業に向けて文集づくりを始めることが多い。そのような中、ここでは Unit 5 で導入された過去形の使い方を学習する。英語では生活を表す基本動詞の多くが、went, ate など不規則に変化する。動詞のあとに-edなどを付けて過去形にする、played, wanted, enjoyed, walkedなどは規則動詞と呼ばれるが、それと比べると、不規則動詞は一つずつその変化を覚えなくてはならないため、学習者を悩ますとも言われている。しかしながら、本単元でも Unit 5 と同様その不規則動詞を中心に扱う。教科とはいえ、小学校では音声中心であることに変わりはない。そこで、児童には音声で現在形と過去形の違いがより分かりやすい不規則動詞を中心に扱うこととしている。小学校では児童が言いたいこと、つまり「夏休みについて語りたい」「卒業を前に小学校での生活について語りたい」という思いを実現するために過去形を導入している。動詞の変化などについて説明することは適切ではない。

4 指導者 専科教員

5 対象学級 第 6 学年 34 名

6 本実践において作成した「WE-CANシート」

WE-CAN! シート		Class () No () Name ()	ゴール We Can!	小学校生活の思い出を相手に伝えるように伝え合おう!
Unit 7 My Best Memory 学校行事について、聞いてもらった可しよう、学校行事について、例を参考に順番を考慮しながら書いてみよう、友だちの発表に反応しながら聞き、思い出の学校行事を伝え合おう。				★小学校生活思い出アルバムを作ろう!
日	今日の We Can!	書	振り返り	今日の活動の感想を書きましょう。 *(活動の楽しかったところ、新しい発見等)
1	We Can! ① 学校行事について内容を聞き取ろう。	My best memory is ()	①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	
2	We Can! ② 思い出に残る学校行事についてたずねたり答えたりしよう。	I enjoyed ()	①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	
3	We Can! ③ 思い出の学校行事について聞いて、感想を伝え合おう。	Was it ()	①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	
4	We Can! ④ 運動会についてくわしく伝え合おう。	I enjoyed ()	①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	
5	We Can! ⑤ 校外学習についてくわしく伝え合おう。	We went to ()	①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	
6	We Can! ⑥ 宿泊学習についてくわしく伝え合おう。	We saw ()	①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	
7	We Can! ⑦ 英語を読んだり書いてみましょう。		①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	
8	ゴールの We Can! ⑧ 小学校生活思い出アルバムを相手にわかるように伝え合おう。		①聞いてもらう ②聞いてもらう ③聞いてもらう ④聞いてもらう	

知識及び技能

7 単元の「目標」

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事について、聞いたり言ったりしよう。 ・学校行事について、例を参考に語順を意識しながら書いてみよう。 ・友だちの発表に反応しながら聞き、思い出の学校行事を伝え合おう。 	思考力、判断力、表現力等
----------------	---	--------------

学びに向かう力、人間性等

8 単元のゴールとなる言語活動「ゴールWe Can!」

ゴール We Can!	<p>小学校生活の思い出を相手に伝えるように伝え合おう！</p> <p>★小学校生活思い出アルバムを作ろう！</p>
------------------------	--

「Aの姿」「Bの姿」を示さずに、具体的な活動内容を示している

9 単元のゴールに向けたスモールステップとしての「各時間のWe Can!」

10 選択式による「振り返り」の観点













時	各 時 間 の We Can!
1	WE CAN① 学校行事について内容を聞き取ろう。 
2	WE CAN② 思い出に残る学校行事についてたずねたり答えたりしよう。 
3	WE CAN③ 思い出の学校行事について聞いて、感想を伝え合おう。  
4	WE CAN④ 運動会についてくわしく伝え合おう。 
5	WE CAN⑤ 校外学習についてくわしく伝え合おう。 
6	WE CAN⑥ 宿泊学習についてくわしく伝え合おう。 
7	WE CAN⑦ 英語を読んだり書いたりしよう。  
8	ゴールWE CAN 小学校生活思い出アルバムを相手にわかるように伝え合おう。 

10 選択式による「振り返り」の観点

本実践においては、単元のすべての単位時間において同じ項目で振り返りを行わせた。

また、萩荘小学校の実践では、学習段階に合わせて、5年生と6年生の振り返りの視点をそれぞれに設定している。

(本資料 資料7・8 参照)

①自分を伝える			
②相手を知る			
③違いを理解			
④今日のWeCan			

※網掛けは筆者による

単元	単元目標		
	知識及び理解	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向う力, 人間性等
We Can! 1 Unit 1 Hello, everyone. アルファベッ ト・自己紹介	好きなもの, 欲しいものな どを聞いたり言ったりす ることができる。 また, 活字体の大文字を識 別し, 読む(発音する)こと ができる。	自己紹介を聞いて分かっ たり, 好きなものや欲しい ものなどを伝え合ったり する。	他者に配慮しながら, 簡単 な自己紹介をしようとす る。
We Can! 1 Unit 2 When is your birthday? 行事・誕生日	誕生日について聞いたり 言ったりすることができる。 また, 活字体の大文字を書 くことができる。	祭りや行事に関するまと まりのある話を聞いて分 かったり, 誕生日や欲しい もの, 好きなものなどを伝 え合ったりする。	他者に配慮しながら, 好み や欲しいもの, 誕生日につ いて伝え合おうとする。
We Can! 1 Unit 3 What do you have on Monday? 学校生 活・教科・職業	教科について聞いたり言 ったりすることができる。 また, 活字体の小文字を識 別し, 読むことができる。	学校生活に関するまとま りのある話を聞いておお よその内容を捉えたり, 時 間割について伝え合っ たりする。	他者に配慮しながら, 時間 割やそれについての自分 の考えなどを伝え合おう とする。
We Can! 1 Unit 4 What time do you get up? 一日の生活	一日の生活について聞い たり言ったりすることが できる。 また, 活字体の小文字を書 くことができる。	一日の生活に関するまと まりのある話を聞いてお およその内容を捉えたり, 一日の生活について伝え 合ったりする。	他者に配慮しながら, 自分 の一日の生活について伝 え合おうとする。
We Can! 1 Unit 5 She can run fast. He can jump high. できること	自分や第三者について, でき ることやできないこと を聞いたり言ったりする ことができる。 また, 文字には音があるこ とに気付く。	自分や第三者について, でき ることやできないこと を考えや気持ちも含めて 伝え合う。	他者に配慮しながら, 自分 や第三者についてできる ことやできないことなど を紹介し合おうとする。

<p>We Can!1 Unit 6</p> <p>I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域</p>	<p>国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>また、それらを書き写すことができる。</p>	<p>行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</p>	<p>他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。</p>
<p>We Can!1 Unit 7</p> <p>Where is the treasure? 位置と場所</p>	<p>物の位置を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>また、簡単な語句を書き写すことができる。</p>	<p>道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。</p>
<p>We Can!1 Unit 8</p> <p>What would you like? 料理・値段</p>	<p>家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>また、簡単な語句を書き写すことができる。</p>	<p>丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。</p>

単元	単元目標		
	知識及び理解	思考力、判断力、表現力等	学びに向う力、人間性等
<p>We Can!2 Unit 1</p> <p>This is ME! 自己紹介</p>	<p>自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。</p>	<p>他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。</p>
<p>We Can!2 Unit 2</p> <p>Welcome to Japan. 日本の文化</p>	<p>日本の行事や食べ物などについて聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。</p>
<p>We Can!2 Unit 3</p> <p>He is famous. She is great. 人物紹介</p>	<p>「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。</p>

<p>We Can!2 Unit 4</p> <p>I like my town. 自分たちの町・地域</p>	<p>地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさを聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、地域のよさなどについて伝え合おうとする。</p>
<p>We Can!2 Unit 5</p> <p>My Summer Vacation 夏休みの思い出</p>	<p>夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。</p>
<p>We Can!2 Unit 6</p> <p>What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック</p>	<p>国名や競技名等について聞いたり読んだりすることができる。</p>	<p>オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合う。</p>	<p>他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。</p>
<p>We Can!2 Unit 7</p> <p>My Best Memory 小学校生活・思い出</p>	<p>学校行事について聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。</p>
<p>We Can!2 Unit 8</p> <p>What do you want to be? 将来の夢・職業</p>	<p>将来就きたい職業などについて聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。</p>	<p>他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。</p>

単元名	単元目標	言語活動
<p>We Can! 1 Unit 1</p> <p>Hello, everyone. アルファベッ ト・自己紹介</p>	<p>◆好きなもの、欲しいものなどを聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を識別し、読む(発音する)ことができる。</p> <p>◆自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや欲しいものなどを伝え合ったりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、簡単な自己紹介をしようとする。</p>	<p>◆自己紹介を聞いてその内容が分かったり好きなものや欲しいものなどを伝え合ったりする。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員の前で自己紹介をする。 (名前、好きな色、食べ物など、持っているものやアルファベットの文字など) ・聞いている人は、良かった点や感想を発表できるように、しっかり聞く。
<p>We Can! 1 Unit 2</p> <p>When is your birthday? 行事・誕生日</p>	<p>◆誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を書くことができる。</p> <p>◆祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて分かったり、誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合ったりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について伝え合おうとする。</p>	<p>◆バースデーカードの相手を探し、他者に配慮しながらカードに書かれていることについてやり取りをする。お祝いの気持ちを込めてバースデーカードを渡す。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に完成したバースデーカードを集め、あらかじめ次のように分けておく。児童を、カードを届ける側①ともらう側②の2つのグループに分ける。誕生日カードを①の児童がもらうカード(①カード)と、②の児童がもらうカード(②カード)の2つに分ける。 ・①の児童に②カードを、②の児童に①カードを無作為に配る。その際、作った本人に作ったカードが渡らないようにする。 ・まず、①の児童が②カードを持って、②の児童の誰かとペアになってやり取りをしながら、自分の持つ②カードの誕生日の人を探す。うまく探し当てられたら、そのカードを開いて To の名前と一致しているかを確認、カードの内側に様々描かれている好きなもの欲しいものについて尋ねたり答えたりしてやり取りをしてから、カードを渡す。 ・①の児童全員がカードを配り終わったら、役割を交替して同様にやり取りをする。

<p>We Can!1 Unit 3</p> <p>What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業</p>	<p>◆教科について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。</p> <p>◆学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。</p>	<p>◆作成したオリジナル時間割をクイズ形式で紹介する。オリジナル教科についても紹介する。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の班のうち半分を、クイズを出す方の班、半分をクイズに答える方の班とする。 ・時間いっぱいまで回していく。 ・クイズを出す班をA、答える班をBとする。 ・A班は、各自の前に職業カードと、誰の時間割か分からないようにして時間割を置く。 ・B班が一人ずつ質問をしたことにA班は一人ずつ答える。班員全ての質問と答えが終わったら、質問をする方の班は、相談をして誰の時間割が誰のものか正しい場所に置く。答える側の班は、正解かどうかを教える。 ・その後、A班は一人ずつ順に自分のオリジナル教科を紹介する。B班は感想を伝える。
<p>We Can!1 Unit 4</p> <p>What time do you get up? 一日の生活</p>	<p>◆一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を書くことができる。</p> <p>◆一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、一日の生活について伝え合ったりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、自分の一日の生活について伝え合おうとする。</p>	<p>◆自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hello, my name is ～. とスピーチを始め、最後はThank you. と言う。 ・聞き取れた内容を分かる範囲でよいのでワークシートに記入する。 <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表前に各自練習の時間を与える。児童の実態に応じてグループ内や学級全体での発表とする。 ・聞き手に分かったことを聞き取れた部分だけでもよいのでワークシートに記入するよう促す。 ・中間評価をし、よいスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。
<p>We Can!1 Unit 5</p> <p>She can run fast. He can jump high. できること</p>	<p>◆自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。また、文字には音があることに気付く。</p> <p>◆自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う。</p>	<p>◆班でペアになり、インタビューをもとにその先生ができることできないことを、自分のことも含めて伝え合う。相手を替えて繰り返す。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで活動させる。 ・先生にインタビューしたことをもとにその先生ができることできないことを自分のことも含めてスピーチするため、既習表現についてどんな表現かが使えるか交流させたり、どんなスピーチがよいか、また悪いか、例を挙げさせて交流させたりしてから始

	<p>◆他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。</p>	<p>めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材のスピーチを聞く。また、互いのスピーチについて よかったところや分りにくかったところなどをアドバイスし合いジェスチャーを入れるなどアドバイスに沿って改善をして、次時のスピーチの準備をする。
<p>We Can!1 Unit 6</p> <p>I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域</p>	<p>◆国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、それらを書き写すことができる。</p> <p>◆行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</p> <p>◆他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。</p>	<p>◆お勧めの国を紹介し合う。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級全体でお勧めの国の紹介をし合わせる。 クラスを紹介する側それを聞く側の2グループに分け各児童が興味のある国のブースに行ってお勧めのポイントを聞けるようにする。 各ブースを回り得た情報や自身のお勧めの国も含めてもっとも行きたい国を選んで各児童が後で発表することも伝えておく。
<p>We Can!1 Unit 7</p> <p>Where is the treasure? 位置と場所</p>	<p>◆物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。</p> <p>◆道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。</p>	<p>◆宝物を探そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで協力して 教室に隠された暗号カードを見つける。1人が道案内もう1人がその指示に従ってカードを探す。役割を交代して進める。 <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペア No. 1 と No. 2 で活動する。No. 1 児童は、「宝の地図 No. 1 児童用」を見ることができるが、動くことができない。No. 2 児童は「宝の地図 No. 2 児童用」を見ることができないが、動くことができる。ペアで協力して、地図を見られる方は道案内をし、動ける方は道案内を聞いて暗号カードを見つける宝探しをする。地図は互いに見せ合ってはいけない。前半時間終了までは同じ役割で沢山の暗号カードを見つける。後半時間は役割を交代する。 地図を見て道案内をする方は、他方が実際に案内をした場所に行きついたか確認をし、自分が道案内をした以外の場所の暗号カードは見つけても取ってはいけないルールを守らせる役目も担う。

<p>We Can!1 Unit 8</p> <p>What would you like? 料理・値段</p>	<p>◆家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。</p> <p>◆丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。</p>	<p>◆自分の考えたスペシャルメニューについて発表する。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループになり、誰のためのどんなメニューなのか発表し合う。 ・どんな順で発表するのかなどについて、進め方を示す。 ・発表や感想、質問の際に大切にしたいことや、ルールについて共通理解してから始める。 ・グループの中から代表発表者を決める。代表発表者は全員の前で発表しほかの児童は感想を言ったり質問をしたりする。 ・学級の実態に応じた形式で実施するとよい。発表者に指導者自ら感想を言ったり質問をしたりする。また発表者の内容を受けて他の児童に質問をしたりする。
<p>We Can!1 Unit 9</p> <p>Who is your hero? あこがれの人</p>	<p>◆得意なことについて、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句や表現を書き写すことができる。</p> <p>◆あこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合う。</p> <p>◆他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。</p>	<p>◆自分のあこがれの人についてできることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝える。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方は 全員の前で1人ずつ発表する方法や、5～6名のグループ内で1人ずつ発表する方法など、クラスの実態に合わせて工夫をするよい。 ・評価の視点や、目指すべき姿を 事前に児童と共有しておく。 ・聞いている児童は、ワークシートに聞き取れたことをできるだけ 記入するよう促す。 ・途中で一旦活動を止めて、中間評価を行う。よいスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。

単元名	単元目標	言語活動
<p>We Can!2 Unit 1</p> <p>This is ME! 自己紹介</p>	<p>◆自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。</p> <p>◆他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。</p>	<p>◆聞き手が理解できるように相手に配慮しながら自己紹介をする。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの自己紹介文をもとに自己紹介の練習を個人で、次にペアで行わせる。 ・聞き手にとって理解しやすくするために、どのような点に気を付けたり工夫したりすればよいかを確認した上で、練習に取り組ませる。 ・5人1組で発表し合う。 ・聞き手は、分かったことをワークシートに書き込む。
<p>We Can!2 Unit 2</p> <p>Welcome to Japan. 日本の文化</p>	<p>◆日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。</p>	<p>◆作成したポスターを使い日本紹介を行う。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人でまたはペアで取り組ませる。 ・まずポスターを使いながら日本を紹介する練習をする。 ・やり取りを行うごとに必要に応じて以下の指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①伝えたい内容についてどのように言えばよいか分からないことはないかを尋ね日本の行事や食べ物、遊びなどについてより詳しく伝えるのに必要な英語表現を全体で確認する。 ②児童の分からなかったことが既習表現で言えそうな場合は指導者がすぐに教えるのではなく学級全体に問いかけ一旦児童同士で考えさせてから全体で確かめるなどして既習表現を想起させる場をつくる。 ③自分が紹介したものについて好きかどうかを相手に尋ねるだけでなく、さらに質問をするなど学級全体で共有したい発表のポイントについては指導者が全体の場でその児童に問いかけてやり取りしやり取りを聞かせることで気付かせる。 ④相手の話した内容を繰り返しているか一言感想を伝えているか相手の好みなどについてさらに詳しく尋ねる質問をしているかなどやり取りのポイントを確認する。

<p>We Can!2 Unit 3</p> <p>He is famous. She is great.</p> <p>人物紹介</p>	<p>◆「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。</p>	<p>◆「チャレンジ Who is this? Quiz」をする。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人が作成したクイズを出題し、ほかの児童がそれを聞いてそれが誰かを考えて答える。 ・Who is this? クイズをあえて音声ではなく読んだり書いたりすることで行うことで、語順への気付きをより確かなものにする。ただし、全文を読んだり書いたりするクイズにすることは児童が負担感を感じることも考えられるため、語順への気付きとして扱った文のみ紙に書いて表示するのみとする。児童の実態に応じて全文紙に書いて表示することも考えられる。 ・クイズの後、その人物をどう思うかについてやり取りをする。 ・代表児童数名に全員の前でクイズを出させる。
<p>We Can!2 Unit 4</p> <p>I like my town.</p> <p>自分たちの町・地域</p>	<p>◆地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。</p>	<p>◆他者に配慮しながら、自分たちが住む地域について、自分の意見を発表する。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したミニポスターを使いペアで発表内容を確認したり練習したりする。 ・2～3組のペアで互いに発表し合いアドバイスをし合う。他のペアから学び、ミニポスターに語句や絵を足してもよい。 ・聞き手のペアから感想を書いてもらう。 ・交流後、よい発表だと思うペアに投票する。
<p>We Can!2 Unit 5</p> <p>My Summer Vacation</p> <p>夏休みの思い出</p>	<p>◆夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの</p>	<p>◆夏休みの思い出について伝え合う。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで夏休みの思い出について伝え合う。相手を替えて繰り返す。 ・これまでにワークシートに書き写した文を参考にしながら、夏休みの思い出についてペアで伝え合うように言う。その際に自分の思い出を伝え、相手が来年一緒に夏休みを過ごしたいと思ってもらえるよう工夫して伝えるよう言う。

	<p>思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの思い出について、前時までに書き写した文を参考に、行った場所、食べた物、楽しんだこと、感想を清書して思い出アルバムにする。 文を書き終えたら、空いているスペースに絵やイラストを描き加えさせる。 書き終えたら全員分を回収し、『6年〇組夏休みの思い出アルバム』にして、全員に配布することもできる。また 教室掲示として使うこともできる。 児童が前活動で書いた思い出アルバム用シートから2つほど選んで、それを児童に見せながら読む。それが誰のものかを尋ねる。 ペアにそのペアの児童のものではない思い出アルバム用シートを配り、ペアで推測しながら読ませる。それが誰のものかを考えて発表させる。 支援が必要な場合は、児童のそばに行き一緒に読んだり絵やイラストを指さしたりしながら読んだりする。
<p>We Can!2 Unit 6</p> <p>What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック</p>	<p>◆国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。</p> <p>◆オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合う。</p> <p>◆他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。</p>	<p>◆何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合う。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 印を付けたテレビ欄をもとに、オリンピック・パラリンピックでどの競技が見たいか、その理由とともに伝え合い、一緒に競技を見る相手を見つける。 活動前に 理由を含めて発表することを伝えることで理由についてやり取りできるようにする。理由を言う際に多くの児童が使用しそうな英語表現（例えば It seems ～.）は 指導者がまず使用し、何人かの児童とやり取りする中で児童にも使用させるなどする。 児童用テキストを互いに見せず、口頭でのやり取りで活動に取り組むように指示する。
<p>We Can!2 Unit 7</p> <p>My Best Memory 小学校生活・思い出</p>	<p>◆学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p>	<p>◆人に伝えるという目的をもち、自分の思い出について発表する。また、人に伝えるという目的をもち、自分の思い出を清書する。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例文等を参考に思い出のアルバムを作成することを告げる。自分の思い出として伝えたい内容を考え、ワークシートに書くように言う。その際、Word Box 等にある語を参考にさせる。

	<p>◆他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた思い出アルバムを自分で読んでみる。 ・書いた思い出アルバムを見せながら、ペアで伝え合う。 ・書いた思い出アルバムを見せながら、グループで伝え合う。 ・最初のペアにもどり、相手の思い出アルバムに感想を書く。 ・思い出を清書用の用紙に書く。
<p>We Can!2 Unit 8</p> <p>What do you want to be? 将来の夢・職業</p>	<p>◆将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。</p>	<p>◆将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書きためた英文や誌面に掲載されている職業名を表す語などを参考にスピーチ原稿を書かせる。 ・書いた将来の夢を自分で読んでみる。 原稿はもってもよいが、話すときは聞き手の方を見るよう指導し、原稿を読む活動にならないようにする。 ・聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。 ・ワークシート（4線にスピーチ原稿を清書する。どの児童も共通して書く部分については、なぞり書きができるように、あらかじめ薄文字で書かれたものも準備するなど、児童の実態に応じて個別の支援をするとよい。 ・スピーチ内容と合う絵も描き入れる。 ・清書したスピーチ原稿を集め、本人の手元に自分の原稿が戻らないよう、児童の原稿を無作為に配布する。 ・配布した原稿を読み、その内容から誰のものかを予想させ、本人だと思える人に渡すように指示する。 ・最終的には、再度、全員の原稿を集め、クラスの仲間の夢がつまった「あこがれガイドブック」をつくり、後日児童全員に渡すとよい。また、教室掲示として使うこともできる。 ・本活動が終わったら 名前を書かせてから提出させる。

<p>We Can!2 Unit 9</p> <p>Junior High School Life 中学校生活・部活動</p>	<p>◆中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読み取りする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。</p>	<p>◆人に伝えるという目的をもち、中学校生活についての期待、入部したい部活動や楽しい学校行事とその理由を書き、他者に配慮しながら発表する。</p> <p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、スピーチ原稿を見せ合って、アドバイスし合いよりよい内容となるようにする。 ・アドバイスを取り入れながら、スピーチ原稿を完成させる。 ・スピーチを発表させる。 ・話し手は聞き手を見ながら話し、聞き手は発表者の内容について既習の表現を使って感想を言ったり質問をしたりすることを確認する。 ・4～6人で1グループとなり、そのグループ内で発表する。グループ全員の発表が終わったら新しいグループで同様の発表をする。学級の人数によっては、グループではなく学級全体で行うなど、形態を工夫する。
---	--	--

資料 18 学びの過程例（文部科学省 新学習指導要領対応 小学校外国語教材 We Can! 1・2 指導案より抜粋）

※「学びの過程（【気】=気付きを促す活動，【慣】=慣れ親しませる活動，【定】=定着を目指す活動，【コ】=コミュニケーション活動）」は筆者による

			単元目標	
			◆好きなもの、欲しいものなどを聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を識別し、読む(発音する)ことができる。	
			◆自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや欲しいものなどを伝え合ったりする。	
			◆他者に配慮しながら、簡単な自己紹介をしようとする。	
			単位時間毎の目標	学びの過程
We Can! 1 Unit 1 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介	1	◆好きなものを聞いたり言ったりすることができる。	【気】【慣】【定】	
	2	◆何が好きかを尋ねたり答えたりできる。	【気】【慣】【定】	
	3	◆何が好きかを尋ねたり答えたりできる。	【慣】【定】	
	4	◆何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。	【慣】【定】	
	5	◆何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。 ◆活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。	【慣】【定】	
	6	◆会話を聞いて、欲しいものや好きなものなどを聞き取ることができる。 ◆活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。	【慣】【定】【コ】	
	7	◆自己紹介を聞いてその内容が分かったり、好きなものや、欲しいものなどを伝え合ったりする。	【定】【コ】	
	8	◆他者に配慮しながら、自分の名前や好きなもの、持っているもの、欲しいものなどを含めて簡単な自己紹介をしようとする。	【コ】	
			単元目標	
			◆誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を書くことができる。	
			◆祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて分かったり、誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合ったりする。	
			◆他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について伝え合おうとする。	
			単位時間毎の目標	学びの過程
We Can! 1 Unit 2 When is your birthday? 行事・誕生日	1	◆月の言い方が分かる。	【気】【慣】	
	2	◆月名を聞いたり言ったりすることができるとともに、日付の言い方を知る。	【気】【慣】【定】	
	3	◆誕生日や好きなものなどを聞き取る。	【慣】	
	4	◆誕生日や、欲しいもの、好きなものを尋ねたり答えたりできる。	【慣】【定】	
	5	◆誕生日や、好きなもの、欲しいものを伝え合う。 ◆活字体の大文字を書くことができる。	【慣】【定】【コ】	
	6	◆誕生日や、好きなもの、欲しいものを伝え合う。 ◆活字体の大文字を書くことができる。	【慣】【定】【コ】	
	7	◆他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日を尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。	【コ】	

We Can!1 Unit 3 What do you have on Monday? 学校生活・ 教科・職業	単元目標	
	◆教科について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。 ◆学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりする。 ◆他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。	
	単位時間毎の目標	
	1	◆曜日や教科について尋ねたり答えたりできる。
	2	◆学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、おおよその内容を捉えるとともに、教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。
	3	◆教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。
	4	◆学校生活についてまとまった話を聞いてそのおおよその内容を捉えたり、教科について尋ねたり答えたりして伝え合う。
	5	◆時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉える。 ◆活字体の小文字を識別し、読むことができる。
6	◆時間割について伝え合う。 ◆活字体の小文字を識別し、読むことができる。	
7	◆他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。	
We Can!1 Unit 4 What time do you get up? 一日の生活	単元目標	
	◆一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を書くことができる。 ◆一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、一日の生活について伝え合ったりする。 ◆他者に配慮しながら、自分の一日の生活について伝え合おうとする。	
	単位時間毎の目標	
	1	◆動作の言い方を知るとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。
	2	◆頻度や日課を聞いたり言ったりできるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。
	3	◆1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。
	4	◆1日の生活について頻度を含めて伝え合うとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。
	5	◆1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かる。 ◆小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

	6	◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。	【慣】【定】
	7	◆他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。	【慣】【定】【コ】
	8	◆他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。	【コ】
We Can!1 Unit 5 She can run fast. He can jump high. できること	単元目標		
	◆自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。また、文字には音があることに気付く。 ◆自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う。 ◆他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。	【気】【慣】
	2	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりできる。	【気】【慣】【定】
	3	◆できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうかを尋ねたり答えたりすることができる。	【慣】【定】【コ】
	4	◆できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに、短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。	【コ】
	5	◆第三者についてできることやできないことを聞いて分かる。	【気】【慣】
	6	◆第三者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりできる。	【慣】【定】
	7	◆ある人物について、できることやできないことを含めて紹介する。	【定】
8	◆他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを自分の考えも含めて紹介しようとする。 ◆アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。	【コ】	

<p>We Can!1 Unit 6</p> <p>I want to go to Italy. 行ってみたい国 や地域</p>	単元目標		
	<p>◆国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、それらを書き写すことができる。</p> <p>◆行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</p> <p>◆他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。</p>		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆世界遺産や地域の特色についてまとまった話を聞いて、具体的な情報を聞き取るとともに、4線に国名を書き写すことができる。	【気】【慣】
	2	◆行きたい国を聞いたり言ったりすることができる。国名を選んで4線に書き写すことができる。	【慣】【定】
	3	◆どこの国に行きたいかを尋ねたり答えたりできる。	【気】【慣】
	4	◆お勧めの国について伝え合う。	【慣】【定】【可】
	5	◆お勧めの国について紹介することを整理し伝え合うとともに、文字の音を推測しながら音声で慣れ親しんだ簡単な語を読む。	【慣】【定】
	6	◆お勧めの国について紹介することを整理し文字の音を推測しながら他者に伝える目的を持って書き写し意味が分かる。	【定】
7	◆他者に配慮しながら自分のお勧めの国について内容を整理し伝えようとする。	【可】	
8	◆他者に配慮しながら自分のお勧めの国について内容を整理し伝え合おうとする。	【可】	
<p>We Can!1 Unit 7</p> <p>Where is the treasure? 位置と場所</p>	単元目標		
	<p>◆物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。</p> <p>◆道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。</p>		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。	【気】【慣】
	2	◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。	【慣】
	3	◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現を、聞いたり言ったりすることができる。	【慣】
4	◆建物の言い方や、道案内の表現を知り、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。	【慣】	
5	◆道案内の表現を聞いたり言ったり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。	【慣】【定】	

	6	◆ある物の場所を尋ねたり答えたり音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに推測しながら読む。	【慣】【定】
	7	◆ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合うとともに他者に配慮しながらある物やそれがあある場所について説明しようとする。	【可】
	8	◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができる。	
We Can!1 Unit 8 What would you like? 料理・値段	単元目標		
	◆家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。		
	◆丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。		
	◆他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆家族の呼称や、丁寧に注文を尋ねたり答えたりする表現が分かる。	【気】【慣】
	2	◆丁寧に注文を尋ねたり答えたりすることができる。	【慣】【定】
	3	◆値段を尋ねたり答えたりすることができる。	【気】【慣】【定】
	4	◆丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりできる。	【慣】【定】
	5	◆丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりする。 ◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、書き写すことができる。	【慣】【定】
6	◆他者に配慮しながら、丁寧に注文したり受けたりしようとする。	【可】	
7	◆他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしようとする。 ◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測して読み、書き写すことができる。	【可】	
8	◆他者に配慮しながら、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。	【可】	
We Can!1 Unit 9 Who is your hero? あこがれの人	単元目標		
	◆得意なことについて、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句や表現を書き写すことができる。		
	◆あこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合う。		
	◆他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
1	◆得意なことの表現の仕方が分かる。	【気】【慣】	
2	◆第三者のできることを含めた話を聞いて分かるとともに、できることを尋ねたり答えたりすることができる。	【慣】	

	3	◆第3者のできることや得意なことを聞いたり言ったりできる。	【慣】【定】
	4	◆自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。	【気】【慣】【定】
	5	◆自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。	【定】
	6	◆あこがれの人の話を聞き、その人のできることや得意なことなどが分かる。 ◆自分のあこがれの人ができることや得意なことについて、語順に注意しながら今まで書いたものを書き写す。	【定】
	7	◆自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて自分の意見を含めて伝える。	【定】
	8	◆他者に配慮しながら自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えようとする。	【可】

単元目標			
We Can!2 Unit 1 This is ME! 自己紹介	◆自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。		
	◆自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。		
	◆他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆好きな動物などについて、聞いたり言ったりできる。	【気】【慣】【定】
	2	◆自己紹介を聞いてその概要を捉えるとともに好きなスポーツについて聞いたり言ったりして自己紹介し合う。	【気】【慣】【定】
	3	◆自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに好きな教科について聞いたり言ったりして自己紹介し合う。	【気】【慣】【定】
	4	◆自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに誕生日について聞いたり言ったりして自己紹介し合う。	【気】【慣】【定】
	5	◆好きなスポーツ、教科、動物、食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合う。	【慣】【定】
	6	◆自分のできることを伝え合う。	【気】【慣】【定】
7	◆自己紹介の例文を読み、それらを参考に自己紹介文を書く。 ◆作成した文をもとに自己紹介する。	【慣】【定】	
8	◆他者に配慮しながら、自己紹介をしようとする。 ◆短い話を聞いて内容を理解するとともに、英語の音を意識し文字の読み方が分かる。	【慣】【定】【可】	

<p>We Can!2 Unit 2</p> <p>Welcome to Japan. 日本の文化</p>	単元目標		
	<p>◆日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。</p>		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆それぞれの行事でどんなことが楽しめるかを聞いたり言ったりすることができる。	【気】【慣】
	2	◆日本の行事についてまとまりのある話を聞き、それらが行われる季節や楽しめることなどが分かる。 ◆日本の行事について、行われる季節とそれがどのような季節かについて言うことができる。	【気】【慣】
	3	◆食べ物とその味覚などについて話を聞いて、その内容が分かったり、言ったりすることができる。	【気】【慣】
	4	◆日本の食べ物について、その味覚やその食べ物に関してできることを話す。	【慣】
	5	◆日本の遊びについて話を聞いて内容が分かる。 ◆好きな日本の遊びについて伝え合う。	【気】【慣】【定】
	6	◆好きな日本の食べ物について伝え合う。	【慣】【定】
	7	◆紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を例を参考に書く。	【定】
8	◆日本の行事、食べ物、遊びなどを紹介したり、例を参考に紹介文を書いたりする。 ◆日本の行事、食べ物、遊びなどを紹介したり例を参考に紹介文を書いたりしようとする。	【可】	
<p>We Can!2 Unit 3</p> <p>He is famous. She is great. 人物紹介</p>	単元目標		
	<p>◆「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>◆語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。</p> <p>◆他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。</p>		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆自分や友達について、好きなものやこと、欲しいもの、できることなどの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。	【気】【慣】【定】
	2	◆自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。	【慣】【定】
3	◆動作を表す語を読んで分かり、好きなもの、欲しいもの、日頃することの表現について、「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付く。	【慣】	

	4	◆好きなものやこと、欲しいもの、日頃することの表現について、語順が分かり、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写すことができる。	【慣】
	5	◆ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取るとともに、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写すことができる。	【慣】
	6	◆ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取ることができるとともに、ある人物になりきってその人物を説明したり、説明を聞いて理解したりする。	【慣】【定】
	7	◆ある人物について伝え合い、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書く。	【慣】【定】
	8	◆他者に配慮しながら、ある人物になりきって、第三者について伝え合おうとする。	【可】
We Can!2 Unit 4 I like my town. 自分たちの町・地域	単元目標		
	◆地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。		
	◆地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。		
	◆他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆地域にある施設、ない施設、また欲しい施設について聞いて分かる。	【慣】【慣】
	2	◆地域にはどのような施設があるか、ないかについてやり取りすることができる。	【慣】【定】
	3	◆自分が住んでいる地域のよさについて理由を付けて言ったり聞いたりできる。	【慣】【慣】
	4	◆地域にあって欲しい施設とその理由について聞いたり言ったりできるとともに、地域に施設があるかないかについて伝え合う。	【慣】【定】
	5	◆地域について話される英語を聞いて、その内容とそれについての意見が分かる。 ◆地域について書かれている英文を推測しながら読む。	【定】
6	◆自分たちが住む地域について話したことを、目的意識をもって書く。	【定】	
7	◆他者に配慮しながら自分たちが住む地域について、自分の考えを話す。	【定】【可】	
8	◆音声で十分に慣れ親しんだ語を推測しながら読む。 ◆短い話を聞いて内容を理解し、英文を繰り返して言い、英語の音を意識し、文字の読み方が分かる。	【定】【可】	

We Can!2 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出	単元目標		
	◆夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。 ◆夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 ◆他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆夏休みに行った場所を言ったり聞いたりできる。	【気】【慣】
	2	◆夏休みの思い出についての話を聞いて、行った場所や感想などが分かる。 ◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりできる。	【慣】【定】
	3	◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりできる。	【慣】
	4	◆夏休みに行った場所と食べた物、その感想を聞いたり言ったりできる。	【気】【慣】【定】
	5	◆夏休みに楽しんだこととその感想を聞いたり言ったりできる。	【気】【慣】【定】
	6	◆夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所、楽しんだこと、食べた物、感想が分かる。 ◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物、その感想について伝え合う。	【慣】【定】
	7	◆夏休みの思い出について書かれた文を推測して読むとともに、他者に配慮しながら夏休みの思い出について伝え合おうとする。	【定】【こ】
8	◆自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書く。 ◆自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書こうとする。	【こ】	
We Can!2 Unit 6 What do you want to watch? オリンピック・ パラリンピック	単元目標		
	◆国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。 ◆オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合う。 ◆他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆互いの得意なスポーツなどを聞いたり言ったりできる。	【気】【慣】
	2	◆国名を言ったり読んだりすることができる。	【気】【慣】
3	◆見たい競技について尋ねたり答えたりできるとともに、見たい競技と理由についてまとまった話を聞いて分かる。	【気】【慣】	

	4	◆オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合う。	【慣】
	5	◆競技名を読むことができるとともに、何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合ったりする。	【定】
	6	◆他者に配慮しながら、見たい競技名を表す語を例を参考に書いたり、見たい競技とその理由などについて伝え合おうとしたりする。	【可】
We Can!2 Unit 7 My Best Memory 小学校生活・思い出	単元目標		
	◆学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。 ◆学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 ◆他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆学校行事についての話を聞いて内容が分かる。	【気】【慣】
	2	◆思い出に残る学校行事とその理由を理解したり、思い出の行事について尋ねたり、答えたりできる。	【気】【慣】【定】
	3	◆学校行事についての話を聞いて内容が分かり、感想を伝え合う。	【気】【慣】【定】
	4	◆外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解するとともに、運動会について感想などを伝え合う。	【気】【慣】【定】
	5	◆外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解し、野外学習について感想などを伝え合う。	【気】【慣】【定】
	6	◆外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解し、宿泊研修について感想などを伝え合う。	【気】【慣】【定】
	7	◆小学校の思い出について、今まで写してきた英語を推測して読んだり、例文を参考に書いたりする。	【定】
8	◆小学校6年間の学校生活で1番心に残っている思い出を、理由も含めて他者に配慮しながら伝えようとする。 ◆短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。	【可】	
We Can!2 Unit 8 What do you want to be? 将来の夢・職業	単元目標		
	◆将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。 ◆将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。 ◆他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆職業を表す語を聞いて分かる。	【気】【慣】
	2	◆職業についてまとまった話を聞いて理解したり、就きたい職業を言ったりすることができる。	【気】【慣】
3	◆将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。 ◆就きたい職業とその理由について伝え合う。	【慣】【定】	

	4	◆得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合う。	【慣】【定】
	5	◆就きたい職業について、理由を含め伝え合う。 ◆就きたい職業について、理由を含め伝え合おうとする。	【定】【可】
	6	◆例を参考にして、自分の夢について書く。	【慣】【定】
	7	◆例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書く。 ◆例文などをもとに、自分の将来の夢について、理由を含めて書こうとする。	【定】
	8	◆将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。	【可】
We Can!2 Unit 9 Junior High School Life 中学校生活・部活動	単元目標		
	◆中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。 ◆中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。 ◆他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。		
	単位時間毎の目標		学びの過程
	1	◆中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	【慣】【慣】
	2	◆中学校生活の学校行事についての話を聞いておおよその内容が分かり入りたい部活動を言うことができる。	【慣】【慣】
	3	◆中学校の先生たちについてのスピーチを聞いて、内容が分かるとともに、楽しい学校行事を言うことができる。	【慣】【定】
	4	◆中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりする。	【慣】【定】
	5	◆中学生のスピーチを聞いて小学校との違いが分かる。 ◆中学校での部活動や学校行事などについて伝え合う。	【定】
	6	◆中学校生活の部活動や学校行事について、スピーチ原稿を読んだり、自分のスピーチ原稿を書いたりする。	【定】
	7	◆中学校生活について入部したい部活動や楽しい学校行事について読み、自分のスピーチを書く。	【定】
8	◆他者に配慮しながら、中学校生活について、自分が入部したい部活動や楽しい学校行事とその理由をスピーチしようとする。 ◆短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。	【可】	

資料 19 質問紙調査の内容・結果

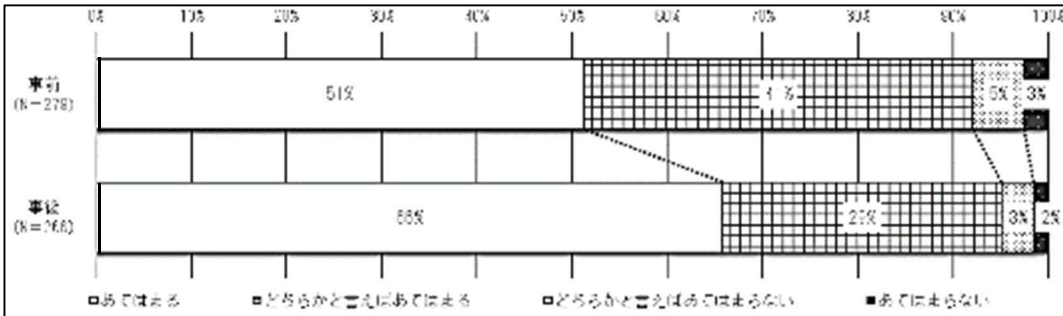
(1) 「WE-CANシート」を活用した実践の前後の変容

「WE-CANシート」を活用した実践、それぞれの直前と直後に、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」「授業指導面」に対する質問紙調査を行った。

	質問項目	関連する 資質・能力等
1	授業では、やる気をもって活動することができた	「主体的に学習に取り組む態度」
2	授業で、友だちの話を最後まで聞くことができた。	「主体的に学習に取り組む態度」
3	授業で、自分の考えを発表するときは、うまく伝わるように工夫することができた。	「思考・判断・表現」
4	友だちの前で、英語で話すことは得意だ	「知識・技能」
5	英語を書くことは難しいと思う	「知識・技能」
6	英語を読むことは難しいと思う	「知識・技能」
7	授業で、友だちの話を聞いて、「なるほどな」と思ったことがある	「主体的に学習に取り組む態度」
8	英語の勉強は大切だと思う	「主体的に学習に取り組む態度」
9	英語の授業で学んだことを、これからの生活にいかしていきたいと考えている	「主体的に学習に取り組む態度」
10	英語で話をしているとき、友だちが話そうとしていることを理解しようとしながら、話を聞いている	「思考・判断・表現」
11	英語で話をしているとき、友だちがわかりやすいように話そうとしている	「思考・判断・表現」
12	授業の内容はよくわかる	「授業指導面」
13	習った英語を積極的に使おうとしている	「思考・判断・表現」
14	英語を聞いたとき、だいたいのはわかる	「知識・技能」
15	自分の考え、気持ちなどを、簡単な英語で話すことができる	「思考・判断・表現」
16	身の回りのものについて、簡単な英語で話すことができる	「思考・判断・表現」
17	英語で話すとき、友だちにわかりやすく伝えようと意識している	「主体的に学習に取り組む態度」
18	授業では、友だちと話をする時間がたくさんあったと思う	「授業指導面」
19	授業のめあてがはっきりわかった	「授業指導面」
20	授業の最後に授業のふりかえりをしっかりやった	「授業指導面」

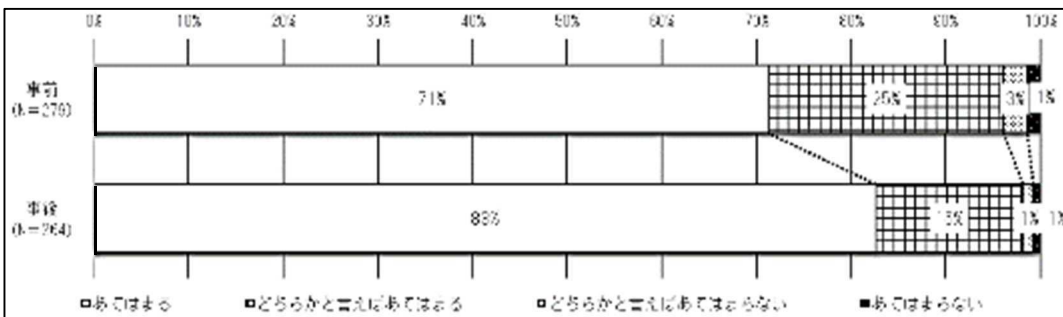
グラフ中の数字は割合を示しているが、小数点第1位を四捨五入しているため合計が100%にならないこともある。なお、有意差は「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」「どちらかと言えばあてはまらない」「あてはまらない」という4項目で、 χ^2 検定で求めた。

** $p < .01$ で有意差あり * $p < .05$ で有意差あり † $p < .10$ で有意傾向あり



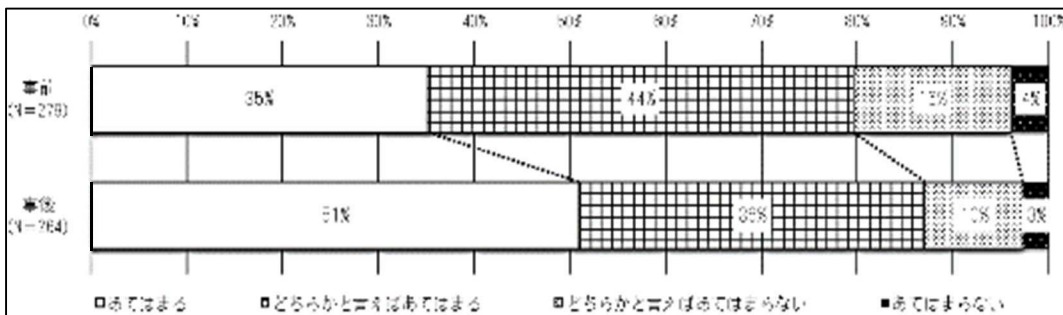
($\chi^2(3) = 11.985$)

授業では、やる気をもって活動することができた (質問項目 1) **



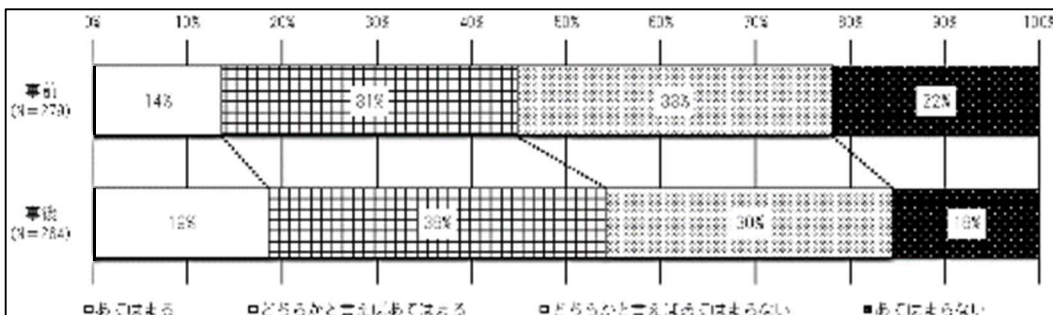
($\chi^2(3) = 9.853$)

授業で、友だちの話を最後まで聞くことができた (質問項目 2) *



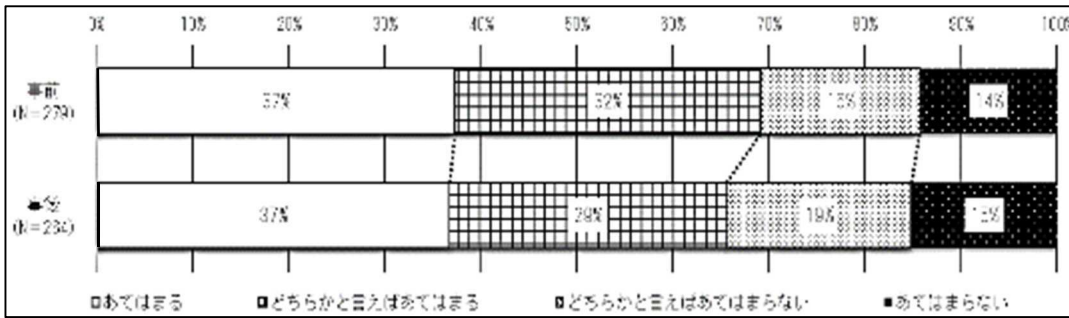
($\chi^2(3) = 14.801$)

授業で、自分の考えを発表しようとするときは、うまく伝わるように工夫することができた (質問項目 3) **



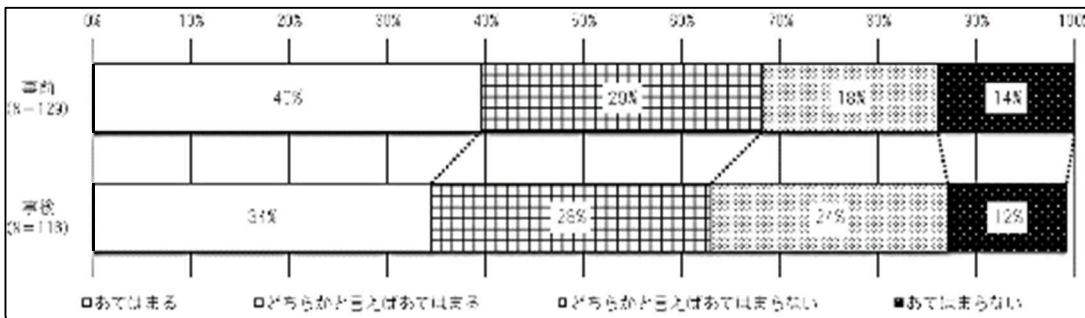
($\chi^2(3) = 6.150$)

友だちの前で、英語で話すことは得意だ (質問項目 4)



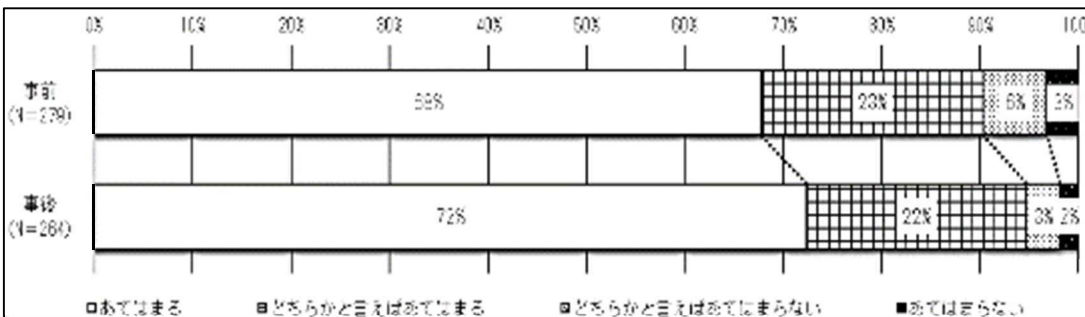
($\chi^2(3) = 1.112$)

英語を書くことは難しいと思う (質問項目 5)



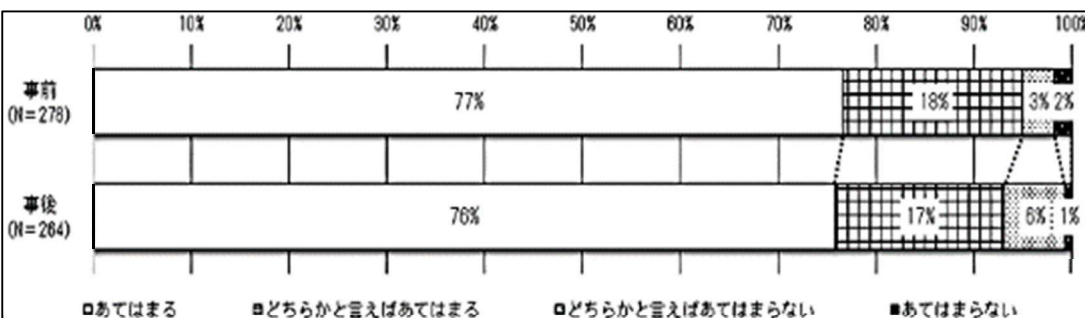
($\chi^2(3) = 1.751$)

英語を読むことは難しいと思う [6年生のみ] (質問項目 6)



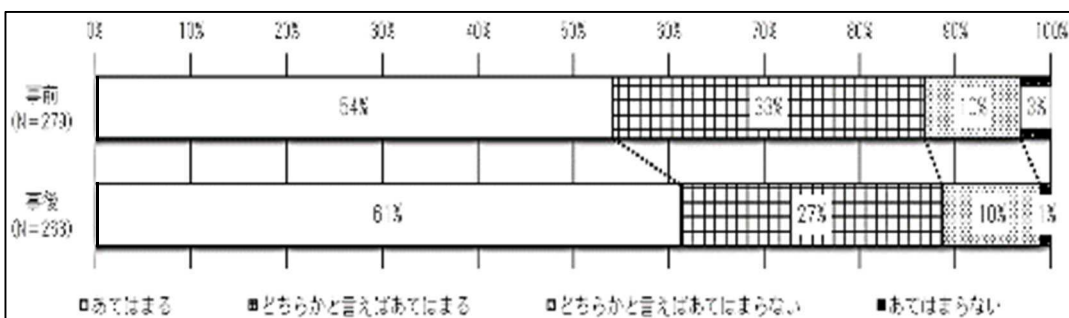
($\chi^2(3) = 3.873$)

授業で、友だちの話を聞いて、「なるほどな」と思ったことがある (質問項目 7)



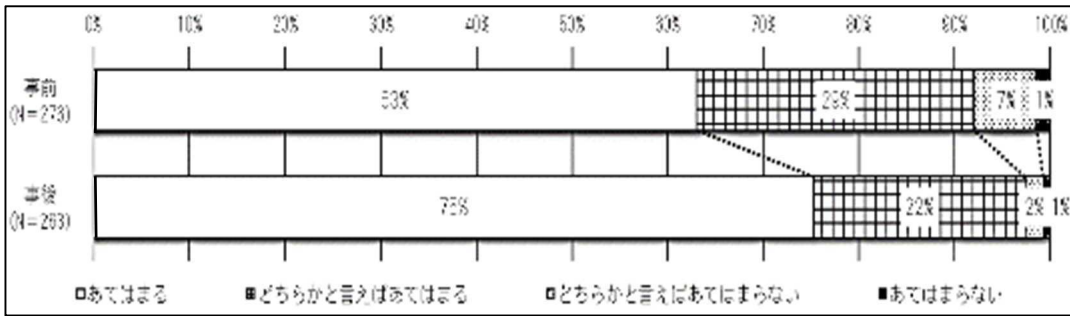
($\chi^2(3) = 3.553$)

英語の勉強は大切だと思う (質問項目 8)



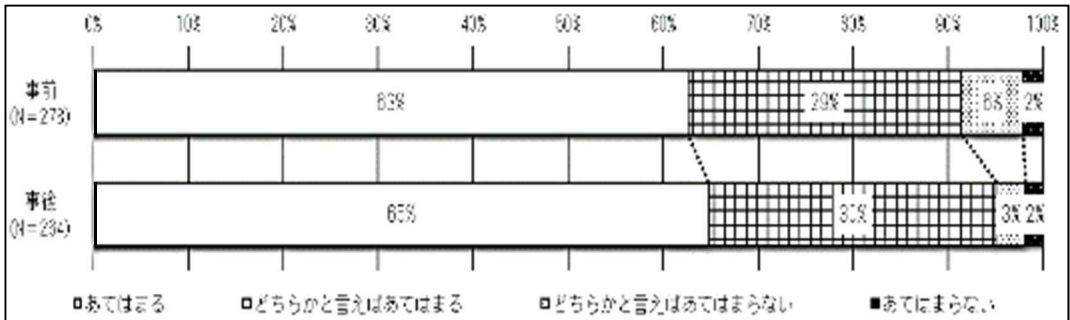
($\chi^2(3) = 5.086$)

英語で学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと考えている (質問項目 9)



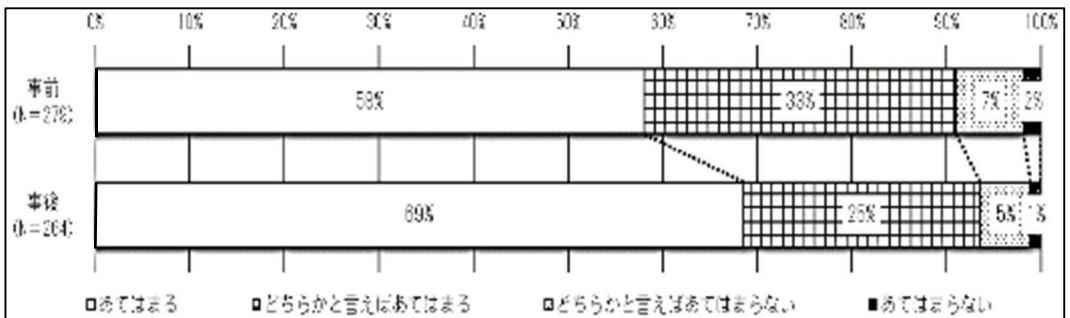
($\chi^2(3) = 15.486$)

英語で話をしているとき、友だちが話そうとしていることを理解しようとしながら、話を聞いている (質問項目 10) **



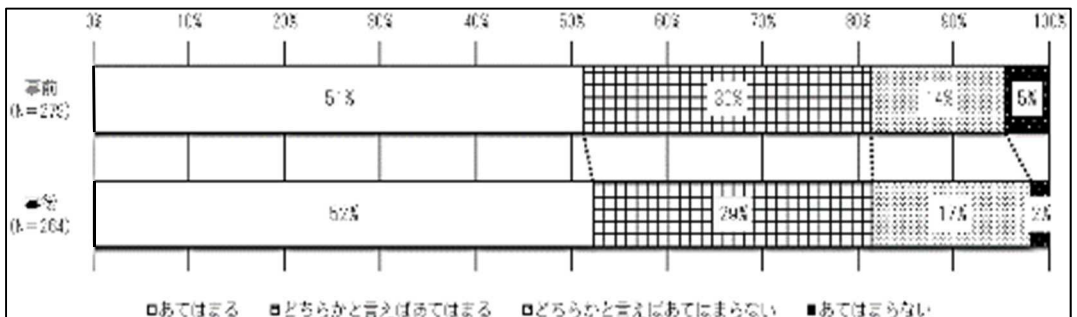
($\chi^2(3) = 3.604$)

英語で話しているとき、友だちがわかりやすいように話そうとしている (質問項目 11)



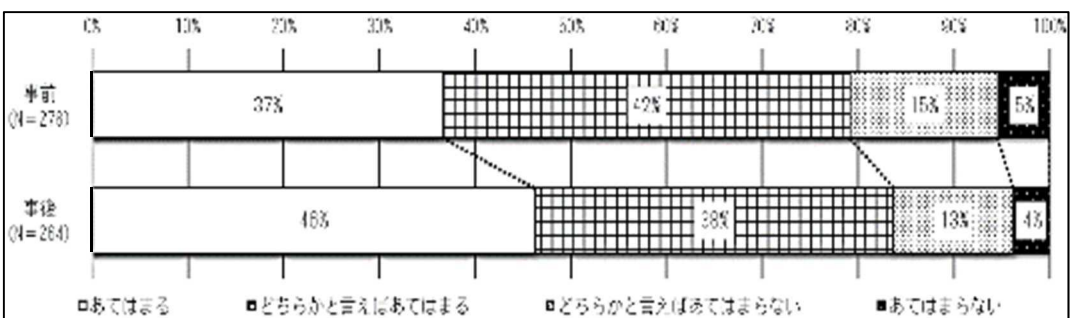
($\chi^2(3) = 6.480$)

授業の内容はよくわかる (質問項目 12) *



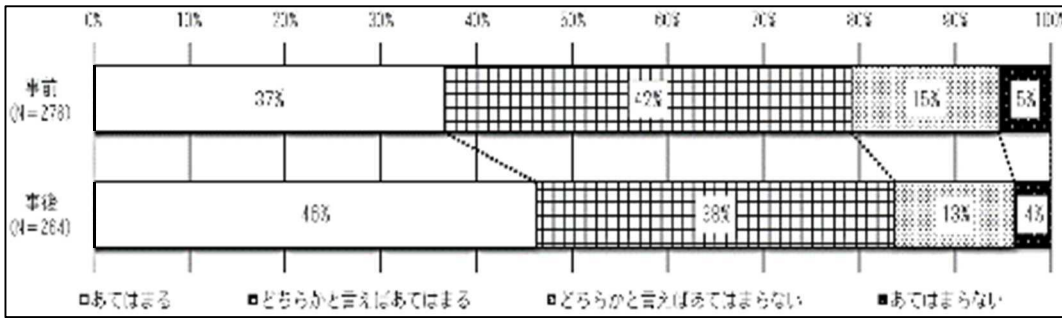
($\chi^2(3) = 3.839$)

習った英語を積極的に使おうとしている (質問項目 13)



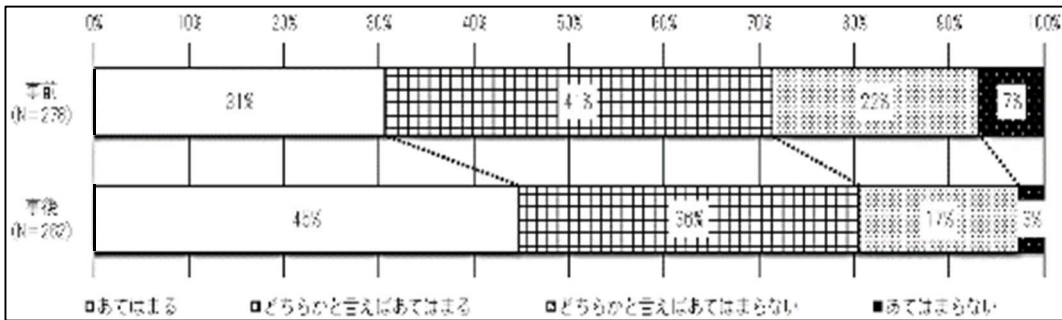
($\chi^2(3) = 3.839$)

英語を聞いたとき、だいたいのはわかる (質問項目 14)



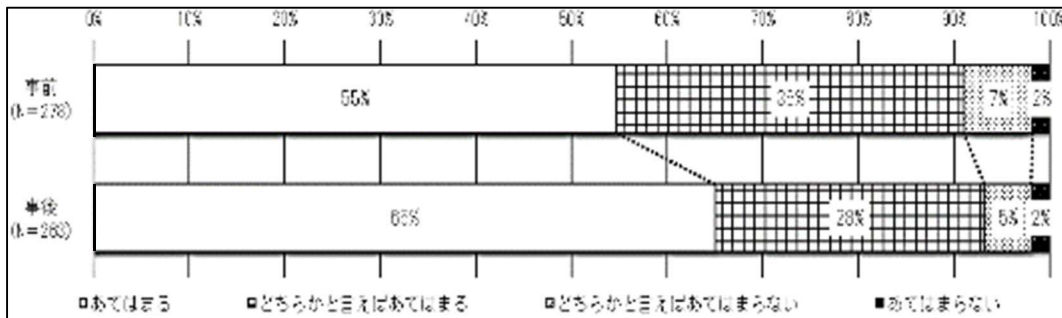
($\chi^2(3) = 16.839$)

自分の考え、気持ちなどを、簡単な英語で話すことができる (質問項目 15) **



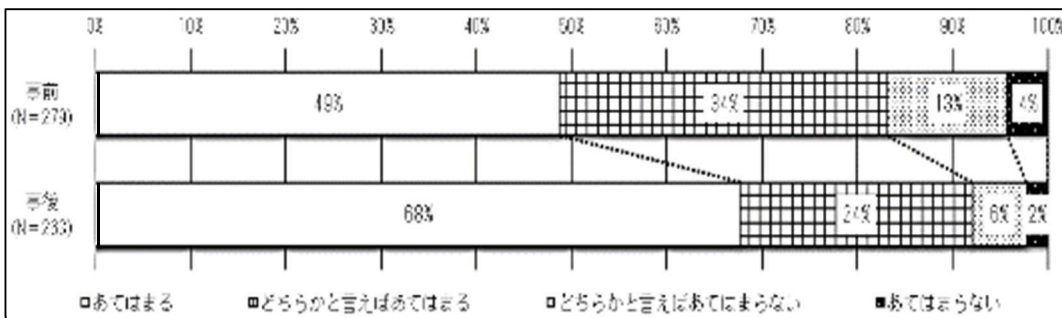
($\chi^2(3) = 14.643$)

身の回りのものについて、簡単な英語で話すことができる (質問項目 16) **



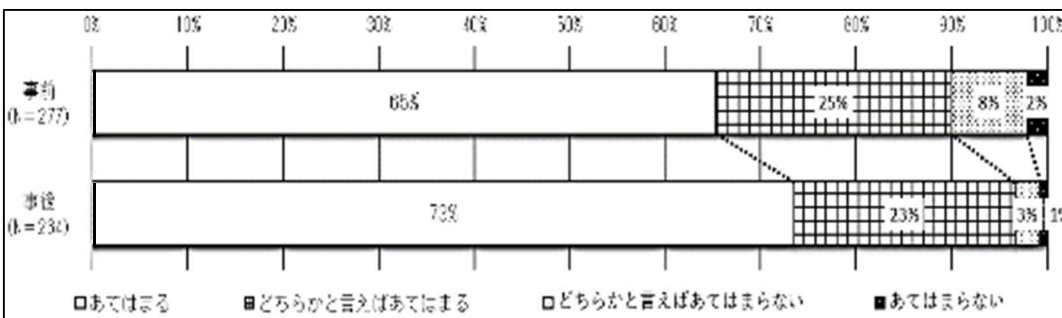
($\chi^2(3) = 6.357$)

英語で話すとき、友だちにわかりやすく伝えよう意識している (質問項目 17) *



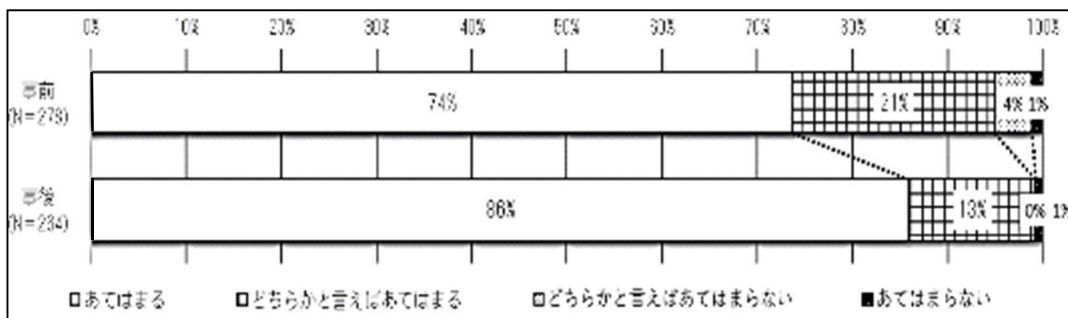
($\chi^2(3) = 21.564$)

授業では、友だちと話す時間がたくさんあったと思う (質問項目 18) **



($\chi^2(3) = 18.098$)

授業のめあてがはっきりわかった (質問項目 19) **



($\chi^2(3) = 18.098$)

授業の最後に授業の振り返りをしっかりやった (質問項目 20) **

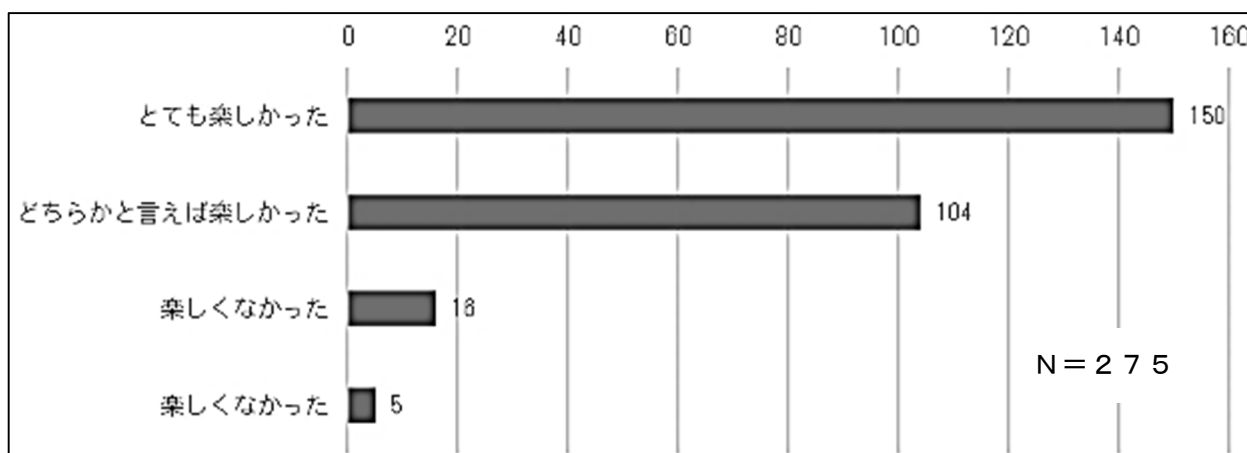
(2) 外国語の学習や「WE-CANシート」に対する意識調査

全実践を始める前と、終えた後に、「外国語の学習への意識」や「WE-CANシート」に対する意識」に関する質問紙調査を行った。

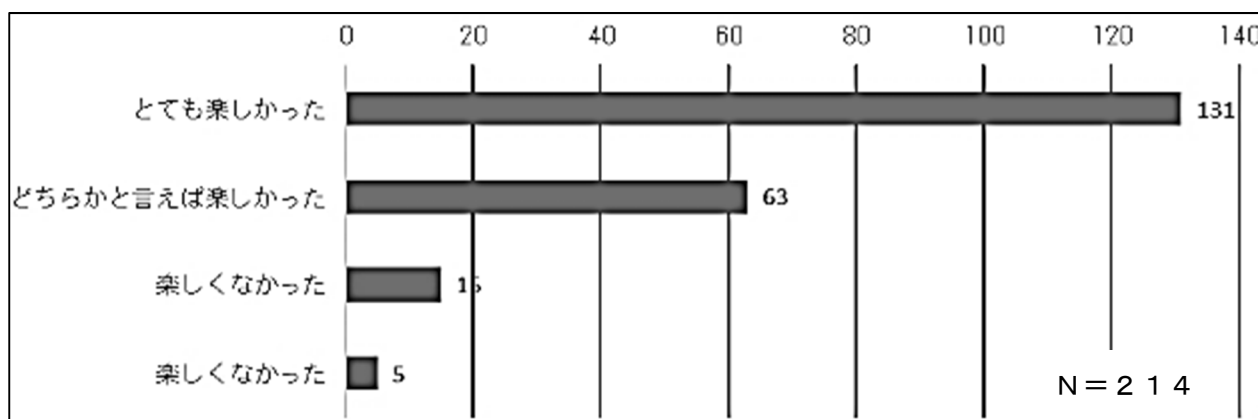
	質問項目
1	「外国語活動」は、楽しいですか。
2	それは、どうしてですか。思いつくことを書いてください。 (自由に書きましょう)
3	「外国語活動」は、ためになっていますか。(1つに○をつけましょう)
4	それは、どのようなことですか。思いつくことを書いてください。(自由に書きましょう)
5	英語で友だちと話をするとき、どんなことに気をつけていますか。(自由に書きましょう)
6	「外国語活動」で、こまっていることはありますか。(1つに○をつけましょう)
7	それは、どのようなことですか。思いつくことを書いてください。(自由に書きましょう)
8	今年度の残りの「外国語活動」での目標を書いてみましょう。
9	「WE-CANシート」を使ってみてどうでしたか。(1つに○をつけましょう)
10	「WE-CANシート」が「(どちらかと言えば)よかった」のは、どうしてですか。当てはまることを選んで、記号を○で囲んでください。(○はいくつ付けてもいいです)
11	「WE-CANシート」が「(どちらかと言えば)よくなかった」のは、どうしてですか。思いつくことを書いてください。(自由に書きましょう)
12	「WE-CANシート」がこうだったらもっといいなと感じることを書いてください。(自由に書きましょう)

1 「外国語活動」は、楽しいですか。

【実践前】



【実践後】

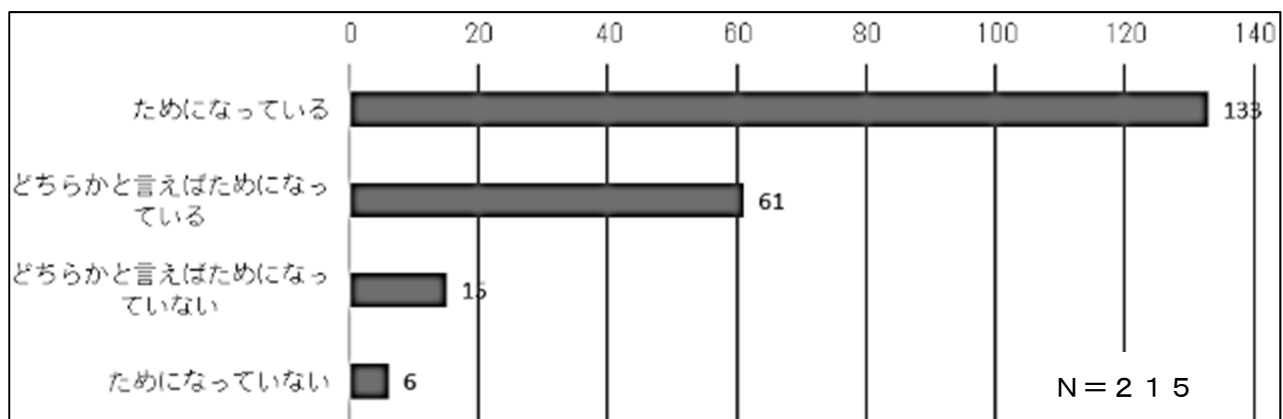


2 それは、どうしてですか。思いつくことを書いてください。(自由に書きましょう)

児童の記述 ※筆者による抜粋		
	実践前	実践後
「(どちらかと言えば) 楽しい理由	<ul style="list-style-type: none"> 英語でおもしろい歌ができたから。 先生も優しくおもしろく教えてくれたし、みんなといっしょに英語をしゃべったりしたから みんなとゲームをしたり、ふれあえた気がしたから。 日本人じゃない人と話すし、わくわくして楽しいなあと感じることがあるから。 知っている単語が出てくるのが、たのしかった。 家の人と、英語の会話ができたから。 友達と英語での会話などをして仲が深め合えたし、チャンツでも楽しく歌うことができた。 わからなかったことが練習して、できるようになっておぼえるととてもたのしいから。 外国語で友達と交流したり、ならった英語で友達とTシャツをつくったり、友達をたずねられるようになったりできるようになってうれしくなって楽しかったから。 友達が反応してくれるから。できるようになると、どんどん楽しくなるから。 日本語しかしゃべっていなかったけど、外国の言葉でしゃべってみたら、とても楽しくてしゃべることが好きになったから。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの単元で、具体的にするにはどうしたらよいかを考える時、自分の知っていることを使えるから。 自分が英語を前より言えるようになったと自分に成長が感じられて、楽しくなっていくから。 英語はあまり好きではありません。英語の方が他国と関わりやすいし、将来使うかもしれないが、どうしても日本語でいいのではないかと、他国の人たちも、日本語を使えるよう意識すればいいのではないかと思うからです。でも、先生や友達と少しずつ授業を受けていると面白いし、どうしても日常で英語が出た時に使うからです。 今やっている学習でも、これまでの学習でもみんなの前で発表する時に分からないことがあったら、小声で友達が教えてくれていて楽しいです。 前まではあまり上手に英語を話すことはできなかったけど、友達や先生などに教えてもらい、英語を話したり言ったりすることができるようになったからです。

		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを友達に伝えると「良かったよ」「もう少し付け足した方がいいんじゃない」など、言葉をかけてもらおうとやる気がでるし、工夫しなければならぬところは、友達の考えや工夫を取り入れたりするのが楽しいからです。 ・友達と英語で会話すると、普段は話さない人もたくさん話せるし、英語力、会話力がつくから。 ・自分の考えを伝える機会がある。 ・ゲームや、ALTの先生との交流があるので楽しいです。 ・ほかの授業とちがってたくさん友達としゃべれるから。 ・発表や英語の読み書きが楽しい ・知らない外国のことをして日本と違うところを比べたり言ったりしているからです。 ・もしも海外に行っても、簡単な英語は、だいたい話せるからだし、自分のためになるから。 ・外国の人とあってもすぐはなせるし、嫌なことを忘れられるから。 ・立ち歩いて友達と話したりできて、他の人の考えも聞けるから。 ・相手にどう伝わるかを自分で工夫することができるから。 ・人が言っていることを読み取ることができて何か書くときに自分の予想ではずれていてもそう言っていたんだなと思うことができるから。 ・先生が笑顔で教えてくれたから。 ・ウォッチアンドシングで何の事か分かったときがうれしくておもしろいから。
<p>「どちらかと言えば」 楽しい理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表がそんなにできなかったから。 ・難しい単語がいっぱいあったから。 ・自己紹介や紹介をやるときにかならずみんながやらないといけないのがすこしやだなと思うけどほかはとても楽しかったです。 ・英語が上手に聞き取れなくてあまり楽しくないと思うことがあった。 ・外国語を勉強してもあんまり意味がないと思うから。 ・先生が言っていることがあまり分からない。 ・ビンゴなどは楽しかったけど英語で話しているのを聞きとることができないこともあったから。 ・発音がわかりづらかったから。 ・みんなの前で言ったりするのは、少しはずかしがっていたから、少しいやだった。 ・本当に必要なの？と思ったから。 ・難しく、英語でしゃべっているのがあまりよく分からなかった。 ・あまり英語が詳しく覚えられなかった。 ・聞き取りのときは楽しいけど、英語を言うことがあまり好きではなかったから。 ・英語を読むことができない。 ・日本人なのに外国語を習うことに疑問があったからだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の前で発表する時に、「こういう言い方でいいんだっけ」という不安ができてきて自信をなくしてしまうから。しかし、人と英語で接する事は好きだ。 ・英語を話すことや読むことが苦手だし、自分の気持ちを伝えるのがあまり上手にできないから。 ・先生は「まちがってもいいから」と言ってくれるけど、自分の中で間違えたくないし、そして、自分がいつあたるかわからないから何でかわからないけど少しプレッシャーをかかえてしまうから。 ・英語がたまに分らなくなるから。 ・英語を書いたり聞いたりするのは好きだけど、言うのはあまり好きではないから ・アルファベットを読んだり書いたりできないから。 ・日本語なしっていうときに、まだ習っていない英語があるから話が進まない。 ・外国語が少し難しく、嫌な時が少しあった。 ・たまに、どうしていいかわからなくなるから。難しいなと思ったから。

3 「外国語活動」は、ためになっていますか。



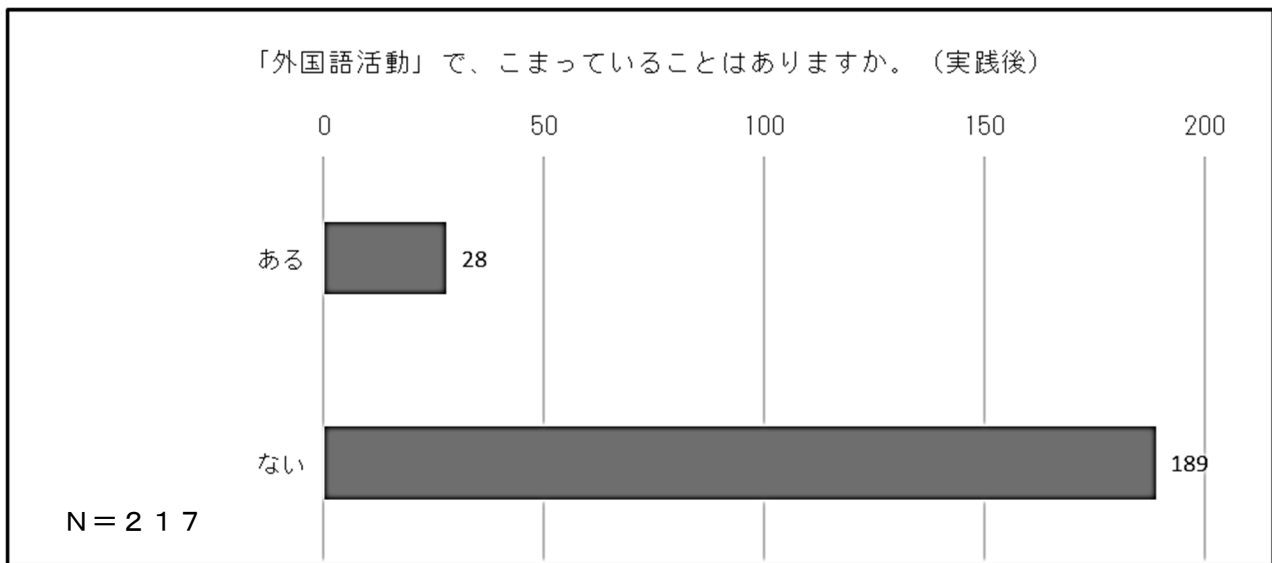
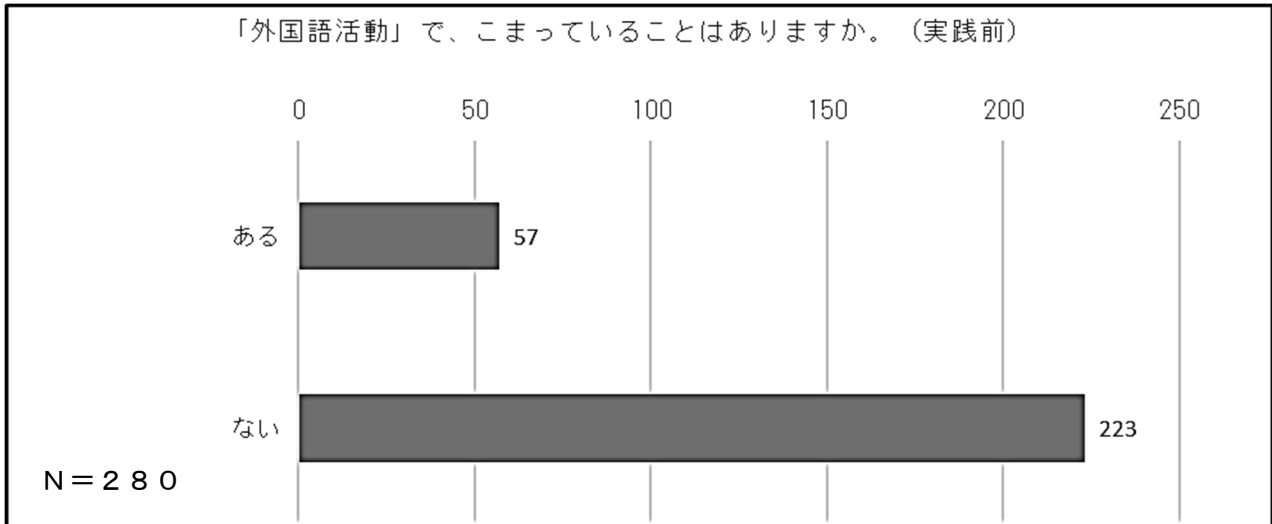
4 それは、どのようなことですか。思いつくことを書いてください。（自由に書きましょう）

児童の記述 ※筆者による抜粋	
<p>「(どちらかと言えば) ためになっている」理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくが中学生、高校生、大人になった時、町で突然外国人に話しかけられた時に、英語を話せる方が相手も助かるし、自分も詳しく伝えられるから。 ・日本にも外国人が来て、たまに会ったりした時に、ちょっとした会話をして、外国の人がまだ小学生でもしゃべれていると思ってくれて「日本」をほめてくれるからです。 ・英語を言えたり書いたりすることは、これからの社会に役立てると思ったからです。 ・中学校の英語につなげられるから。 ・次の単元にいかせる。 ・将来の夢はパティシエでいろいろな国に行ってたくさん英語を話すと思うから。 ・日本語で「いちご」は、外国語にすると「ストロベリー」になるんだな、など、日本語と外国語の違いを自分で調べることができる。 ・東京オリンピックなど、外国の人との関わりが多くなっていく際に、道ばたで会った人に場所を聞かれた時、観光スポットを聞かれた時など、自分の考えを交えて相手に伝えることが大切だと思うからです。 ・テレビのインタビューをみていると、英語で書いてあるとき読めたり意味がわかったりするとき。 ・雑誌や、テレビなどで習った英語が出ると分かるから。 ・大人になったら英語を使うと思う。突然英語を話す機会がきてもすぐ対応できるから。 ・しょうらいしごとで使えると思います。 ・自己しょうかいなどの店の名前が英語で書いてあるとき、それが読めるから。ときに使えるから。 ・家族で、問題を出して遊んでいる。 ・家でも、家族とたまに英語で話しているから。 ・家で習った英語を家族に伝えると「なるほど」と言ってくれるから。 ・歌 ・ニュースで、アメリカの人が話していることが見ないでも分かるし、映画の音声も聞きとれるから。 ・みんなの前で発表して自信がついた。 ・文房具や、動物など、身の回りのものの言い方が分かるから。 ・生活のなかでためになっている。 ・交流するときに会話が上手くなる。 ・自分の今の気持ちなどを簡単な言葉で表すことができるから。 ・あんまり英語は使わないけど屋台を出しているから外国人が来たとき対応ちょっとはできるから。 ・周りの人が困っている時、少しでも教えてあげられるからです。 ・兄弟やいとこなどに教えたり、自分もいつか使ったりすると思うから。 ・自然的にたくさんの人たちをほめる時に使えたりできるからです。例えば「ナイス」や「センキュー」と言うことに使えるからです。 ・6年生で習う英語は、中学生になった時も使えるし、外国人と話す機会がある時に、6年生などで習った英語は使えると思うから。 ・今までの思い出や出来事を言い、どんなことがあったかなど普段はあまり考えないことも考えられることができるからです。 ・最初は英語が難しくって言えないことが多かったけど、できるような物ができて嬉しかったから。
<p>「(どちらかと言えば) ためになっていない」理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・覚えきれてないから。 ・英語が言えないから。 ・一切使わない。 ・英語はふだんの生活であまりつかっていない。 ・家で使わないから。 ・毎日英語を使っていないから。 ・あまり、使う機会がないから（日常的に）しかし、もっと使う機会があったら、とてもためになると思う。 ・頭に入ってこないから。 ・英語の時間に習うことは、本当に日常会話で使いそうなものと違うから。

5 英語で友だちと話をするとき、どんなことに気をつけていますか。(自由に書きましょう)

児童の記述 ※筆者による抜粋	
実践前	実践後
<ul style="list-style-type: none"> • できるだけ、分かりやすくするためジェスチャーをしながら話した。 • みんなが分かるように気をつけていた。 • 相手の目を見て、はきはき言うことを気をつけている。 • 間違えないで、しっかりと友達に伝わるように。 • アイコンタクトとクリアボイスとスマイルに気をつけていました。 • あまり言葉を切らないように気をつけました。 • 友達に聞こえる声で話す。友達が何を言えば困っていたら教えてあげる。 • 相手が困らないように気をつけたことです。 • 似ている言葉があった時に、同じ発音にならないように気を付けていました。 • 完ぺきじゃなくていいから、少しでも言うようにすること。 • 発音に気をつけていました。 • アメリカ人になった気持ちで言った。 • 人の目をみて、話をしっかり聞くことです。 • 友だちに質問したりするのが楽しかった。 • 笑わない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 傷つけないようにすること • 相手の気持ちが嫌になる言葉を言わない。 • 笑顔でゆっくり話すこと • 一つ一つの英語をはっきり言う事や今、自分が言っている写真や絵を見せながら発表することを意識しています。 • 聞き取りやすいようにする。具体性を持たせる。大きな声で。 • 習ったことを使い、そこから話をふくらませようとすることに気をつけている • ジェスチャーやアイコンタクト、気持ちを込めてダッツサンズナイスなどと英語で会話をする事です。 • 日本語発音にならないように気をつけています。 • ジェスチャーを付けたり、「ナイス」などの反応をすること。分からない言葉があったら、教え合うこと。 • 話している時にしっかり聞いて自分か言う時の手本にしたり、自分が言う時は相手が聞き取りやすいよう言ったりしている。 • 先生たちが言う発表をまねしています。 • ひっかかったりまちがえたりしても良いから、大きな声で話すようにしています。 • 相手が伝えたいことを理解すること。相手の目を見て話すこと。反応を意識すること。 • 自分の気持ちになるべく分かりやすいように話すことができるようにする。習った単語などは積極的に使う。 • 自分の伝えたいことを明確にすることを意識していること。 • 相手と自分との違いを理解し、「自分だったら～っていうな」と自分だったらと考えることです。相手に自分の考えが明確に伝わるように工夫することです。 • アイコンタクトをとる。なるべく黒板を見ない。習った英語を少しでもいいから使う。 • くわしく言うこと。分からないところは教えてもらう。くわしく言うのは、それにより相手に伝わりやすいから。教えてもらうのは、分からないままです。最初でも覚えることができないからです • 最初にあいさつをする。(ハローなど) • 最後まで聞いて意見を考えている。

6 「外国語活動」で、こまっていることはありますか。(1つに○をつけましょう)



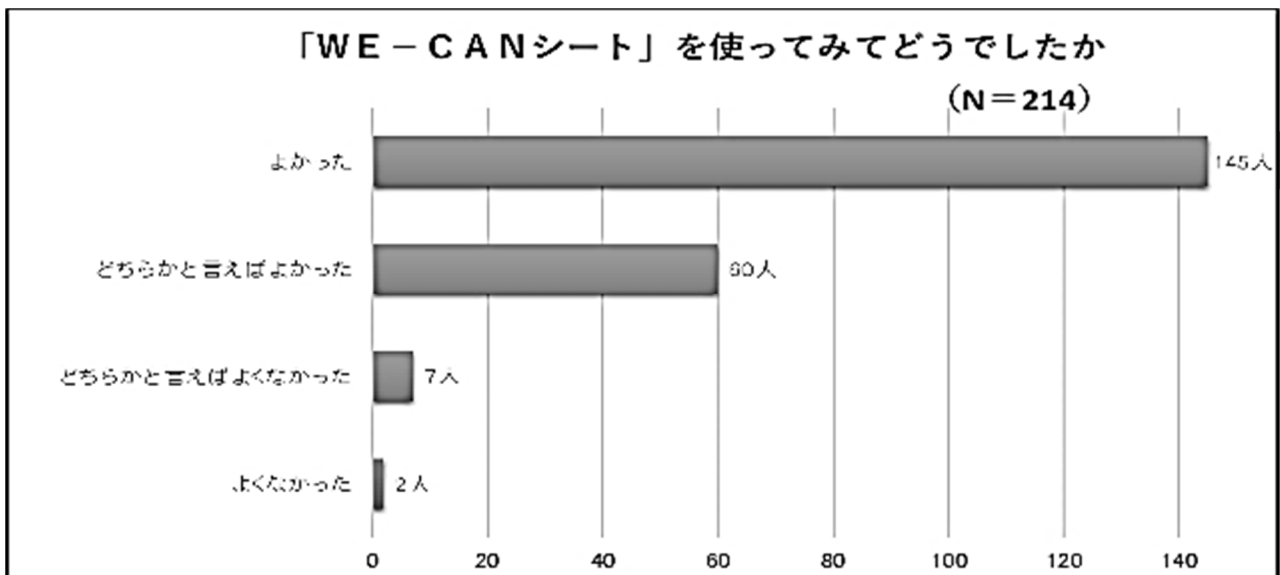
7 それは、どのようなことですか。思いつくことを書いてください。(自由に書きましょう)

児童の記述 ※筆者による抜粋	
実践前	実践後
<ul style="list-style-type: none"> • ときどき英語をドわすれしてしまうこと。 • 何を言っているか分からなかった。 • とりの席の人が困っているときにあまり助けられなかった。 • 話している人が何を言っているか伝わらないときがあるからです。 • 会話の途中でわすれて、とぎれてしまったことです。 • みんなとうまくしゃべれないからこまっていた。 • 自分だけ発音がまちがっていないか少し不安になった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 英語の言葉と文字と意味が結びつかなくて、自分の書いた英文がほとんど続かないし、自分の言っている英語の意味が分からない時もあるから。 • 英語は普段使わず、あまり分からないから発表する時につまづいたことがあります。 • すぐに忘れてしまうこと。 • 英語がよく分からないこと。 • みんなの前では、発表することに自信がもてない。 • 英語が難しい。 • 英語の文が読めないこと。 • 他の国の言葉も習ってみたい。

8 今年度の残りの「外国語活動」での目標を書いてみましょう。

児童の記述 ※筆者による抜粋
<ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表の工夫点や上手なところを取り入れる。 ・習ったことを積極的に使い、少し長い文章を自分で書けるようにする。 ・英語をみんなの前で自信を持って大きな声で発表することです。 ・その日のめあてを達成できるように、習ったことを活用して隣の人と話したり発表したりする。 ・中学に向けて、苦手を残さないようにすること。 ・家などで、練習したり親と少し話したりして家でも外国語を勉強してもっと言えるようにしたい。 ・今まで習ったことを授業以外でも使い、外国語が好きなようにしよう。 ・もっとすらすらと言葉が出てくるようにしたいです。 ・外国語をすらすら話せるようになって、将来のために生かせるような勉強をしたい。 ・相手の意見への感想を持ち「話す」ではなく、「伝える」ことを意識することです。 ・相手に対して、大声で言ってしっかり伝わるようにしたい。また、前にならったことを生かし、ふくらませたい。 ・です。また、その時に習った単語も使いたいです。分からないところは先生に聞きたいです。 ・英文は言えなくても、相手に伝えようとしている気持ちが伝わるように言う。 ・今までの授業のまとめとして、今までのことが生かせるような学習をしたい。 ・外国のことをもっと知り、友達と交流する。 ・お母さんと英語でしゃべれるようになる。

9 「WE-CANシート」を使ってみてどうでしたか。(1つに○をつけましょう)

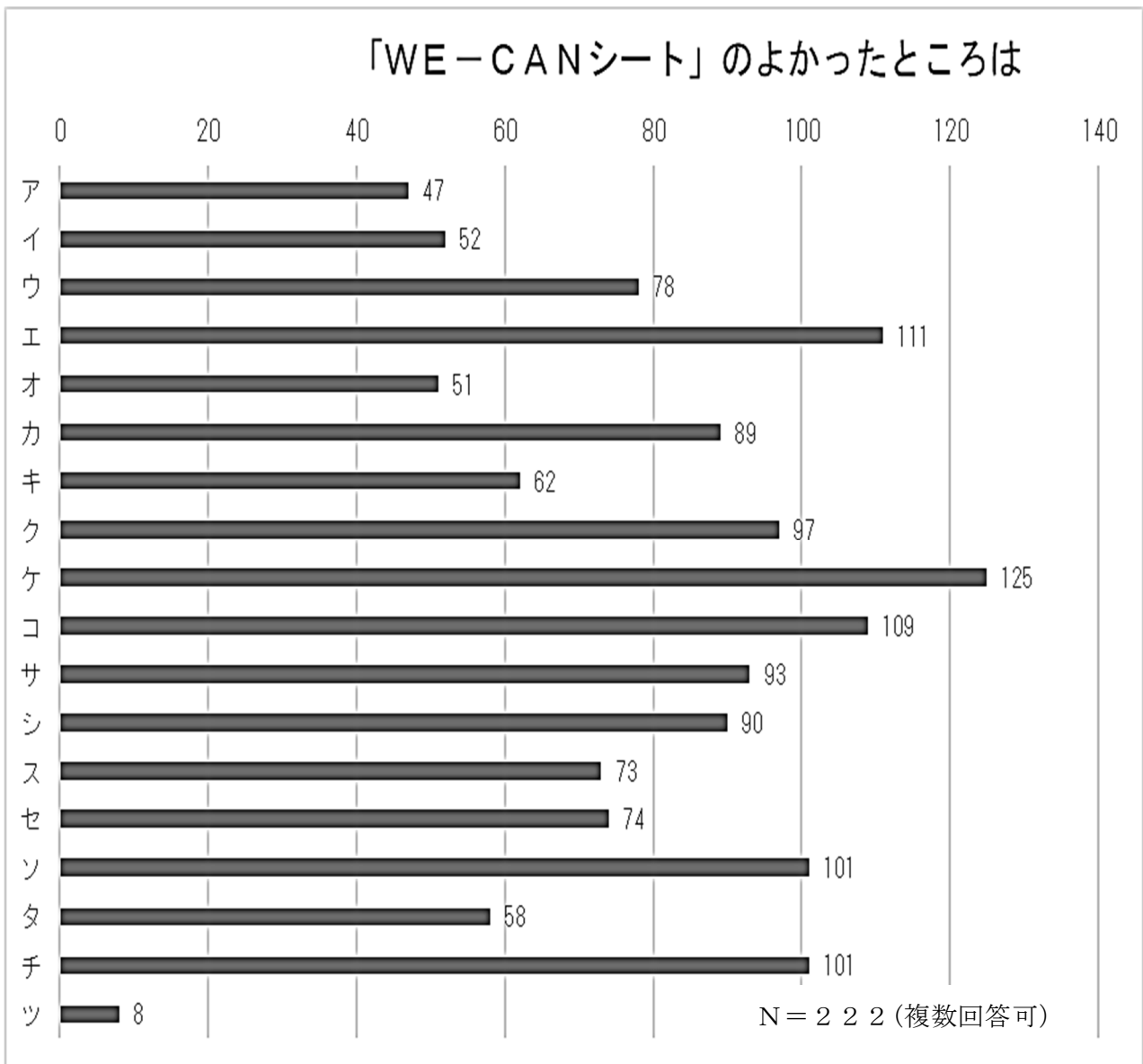


10 「WE-CANシート」が「(どちらかと言えば)よかった」のは、どうしてですか。当てはまることを選んで、記号を○で囲んでください。(○はいくつ付けてもいいです)

【選択肢】

- ア Unitの目標が勉強を始める前に分かると、やる気が出るから
- イ Unitの目標が勉強を始める前に分かると、がんばれるから
- ウ Unitの目標が勉強を始める前に分かると、分かりやすいから
- エ Unitの目標を意識して、1時間1時間の授業ができるから
- オ 最後にやる活動(「ゴールWe Can!」)が勉強を始める前に分かると、やる気が出るから
- カ 最後にやる活動(「ゴールWe Can!」)が勉強を始める前に分かると、がんばれるから
- キ 授業ごとの目標(「各時間のWe Can!」)がはっきりわかると、やる気が出るから
- ク 授業ごとの目標(「各時間のWe Can!」)がはっきりわかると、がんばれるから
- ケ 英語を書くところ(「今日のWe Can!」)に、その授業で学んだ英語を書けるから
- コ 英語を書いたところ(「今日のWe Can!」)で、それまで学んだ英語を確かめることができる

- サ 英語を書いたところ（「今日のWe Can!」）を、そのあとの活動にいかせるから
- シ 振り返り（ ）で振り返ることで、次に何をがんばるか目標をもつことができるから
- ス 「今日の活動の感想」に、会話の楽しさを振り返りながら書けるから
- セ 「今日の活動の感想」に、友達のよいところを振り返りながら書けるから
- ソ 「今日の活動の感想」に、新しい発見を振り返りながら書けるから
- タ 「WE-CANシート」を通して、先生とやりとりができるから
- チ 1枚に学習したことがまとめられていくから
- ツ そのほか



- 11 「WE-CANシート」が「(どちらかと言えば)よくなかった」のは、どうしてですか。
 思いつくことを書いてください。(自由に書きましょう)

児童の記述 ※筆者による抜粋
<ul style="list-style-type: none"> ・感想を書くらんが大きく、書くことがあまりないときは余ってしまう。 ・ちょっと英語をかくところがむずかしい。 ・感想を書いても先生に見せるだけだから。 ・書く欄が少なすぎる。

- 12 「WE-CANシート」がこうだったらもっといいなと感じることを書いてください。(自由に書いていい)

児童の記述 ※筆者による抜粋
<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 ・今のままがいいと思います。 ・特にありません。復習する時に十分に見やすいです。 ・これからも「WE-CANシート」がつづいていけばいいと思います。 ・もっと感想を書くスペースがほしい。 ・感想のらんをもっと小さくしてほしい。 ・ふり返りのヒントがあれば分かりやすい(書き方の例)。 ・各時間の英語のポイントを書いたらいいと思う。(発音のコツなど) ・自分たちが後で見た時に分かりやすいように、英語を書くらんの下に解説を書けるらんがほしいなと思います ・もっとコンパクトになるといいです。ふり返りに行をつけてほしいです。ふり返りの所をふやしてほしいです。 ・もっとみやすいように小さくする。 ・もうちょっと、英語が書けるスペースが広がったらよと思う。 ・ふり返りの項目をもっと多くした方がいいと思う。 ・ふり返りの丸の所が分かりやすければいい。 ・ちょっとした絵(食べ物、物など・・・)やキャラクターを登場させる。 ・先生のコメントをもっとほしい。(アドバイスなどをもらいたい。) ・先生方の感想も書ける所があれば、返事も楽しみにできるかなと思います。 ・色がついていたらいいと思う。 ・となりの人にもふり返りを書いてあげてよかったこと、もうちょっとだったことを書く。 ・良かった友達を書くらんがあったらいいなと思います。 ・ますをかいてほしい。 ・日付のらんを大きくしてほしい。 ・今日の学習がどのくらいわかったか、クイズなどがあるといいと思う。 ・質問コーナー(授業でで聞いたかったこと)を聞けるところや、良いと思った友達を紹介できるところ。

第 6 学年 外国語科学習指導案

日 時 令和元年 11 月 15 日 (金)

児 童 6 年生 16 名

指導者 主任研修指導主事 正 木 啓 一

1 単元名

Unit 6 What do you want to watch? (We Can! 2)

2 単元について

(1) 児童について

本学級の児童は、「外国語活動の授業においてやる気をもって活動している」「英語の学習は大切だ」とアンケートで答えた児童が 100% (N : 19) であることからわかるように、興味・関心をもちながら外国語の学習に取り組んでおり、クイズやゲーム等に積極的に参加する姿が多く見られる。また、これまでの学習において、ペア学習やグループ学習を多く取り入れてきたため、小グループで話し合うことに抵抗を感じる児童は少なく、多くの児童が相手の意見に反応しながら話を聞くことができている。その一方、「自分の考え、気持ちなどを簡単な英語で話すことができる」とアンケートで答えた児童が 6 月には 87% (N : 19) だったが、7 月になると 76% (N : 19) と 11 ポイント減少していることからわかるように、学習が進むにつれて難しさを感じ自信をもって活動に取り組めていない児童が見受けられる。単元のゴールでは児童全員が自信をもって活動に取り組めるよう、その過程において難しいと感じながらも英語を使って話そうとする姿勢や相手にしっかりと伝えようとする姿勢を学級全体で認め合い、スモールステップを踏みながら自信をもって話す姿を広めていきたい。

本単元の題材であるオリンピック・パラリンピックについては、マスコット決定に際して、どのマスコットキャラクターがよいか学級で話し合い投票するという活動を行ったことや開催が間近になってきていることから関心が高まっている。また、普段からスポーツニュースを見ている児童もおり、有名なスポーツ選手の話題を出したり、一流選手を自分の目標にしたりしている児童も見られる。その一方で、スポーツの種目によっては関心が薄い児童もいるため、本単元の学習を通して、オリンピックの歴史について知るなど、児童がオリンピック・パラリンピックに興味をもち、自分の見たい競技とその理由を積極的に交流しながら活動できるよう工夫に努めたい。

(2) 教材について

本単元では、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを題材に取り上げている。オリンピック・パラリンピックは、人種、言語、宗教等の違いを超え、また、障害の有無に関わらず、世界平和への発展や個の尊厳を願って行われるスポーツの祭典である。このような世界的なイベントに児童が興味をもち、東京オリンピック・パラリンピックを通して世界に目を向けることができるようになることは、大変意味があることであると考え。また、“Let's Watch and Think”を通して、オリンピックの歴史について知るなど、児童がオリンピック・パラリンピックに興味をもてるような活動を設定している。

単元を通じた「話すこと[やり取り]」の言語活動では、見たい競技とその理由について伝え合うことに取り組んでいく。その中で、言語材料としては、“What ~ do you ... ?” “I want to ~.” という表現を使ったり、自分の考えや気持ちを理由を加えながら表現したりしていくが、これまでの学習でも取り組んできており、本単元においても繰り返すことで、それらの表現を定着させていきたいと考える。

(3) 指導観

本単元のゴールとして、テレビ欄を見て、オリンピック・パラリンピックでどの競技が見たいかを決め観戦計画を作った上で、話し相手に配慮しながら見たい競技とその理由などについて伝え合うという「話すこと[やり取り]」の言語活動を設定する。

オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合うことができるようになるために、「知識及び技能」の到達目標として「国名や競技名について、言ったり読んだりすることができること」を設定する。まず、世界的なイベントであるオリンピック・パラリンピックという本単元の題材を通して世界に目を向けることができるように、国名を扱う。国名については、「We Can! 1」(5年生)のUnit6「I want to go to Italy.」において学習しているため、本単元においては、第2時において国名を言う活動に加えて、読む活動を扱う。競技名については、「We Can! 1」(5年生)のUnit1「Hello, everyone.」やUnit9「Who is your hero?」などにおいてスポーツを扱っている。本単元では、競技名としてスポーツを扱うが、第1時では互いの得意なスポーツを聞いたり言ったりする活動の中で競技名を想起させ、様々な活動で競技名に慣れ親しんだ後の第5時において競技名を読む活動に取り組みせる。

また、「思考力、判断力、表現力等」としては「オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合うこと」を到達目標として取り組む。第3、4時では、“Do you want to watch (tennis)? – Yes, I am. / No, I’m not.”という表現を使いながら見たい競技について尋ねたり答えたりすることに取り組ませる。この段階では、相手の質問に“Yes”か“No”で答えるやり取りである。そして、その活動を受けて、第5、6時では、オリンピック・パラリンピックでどの競技が見たいかを決め一緒に観戦できる友達を見つけるという目的のもと、“What do you want to watch? – I want to watch (tennis).” “Why? – It’s exciting.”という表現を使いながら、何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合うことに取り組ませていく。その際の「他者に配慮する」点として、“Eye Contact” “Clear Voice” “Smile”といった要素に加え、「自分と違う考えを受け入れる」姿勢・態度を大切にすることの学びの機会としたい。

また、単元を通して、毎時間単元のゴールを児童とともに確認しながら授業を進めていきたい。そのため単元のゴールを明記した「WE-CANシート」を用いる。単元の導入時、そして各時間で「WE-CANシート」を使い、単元全体の学習として何をを目指すのか、各時間の重点的な言語活動は何なのかということをはっきりさせながら学習を進めていきたい。また、書く活動も毎時間取り入れ、このシートの中に書き溜めながら学習を進めることで、単元のゴールへ向けて言語面、意欲面を積み重ねていくようにしたい。

(4) 研究との関わり (省略)

3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

- ① 国名や競技名について、言ったり読んだりすることができる。(知識及び技能)
- ② オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ③ 他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合うとする。(学び向かう力、人間性等)

(2) 評価規準

知識・技能	① 国名や競技名について、言ったり読んだりしている。
思考・判断・表現	② オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由について伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	③ 他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとしている。

4 言語材料

○ 表現

What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball).

Are you good at (basketball)? Yes, I am. / No, I'm not.

○ 語彙

Olympic Games, Paralympic Games,

スポーツ・競技(wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics,

gymnastics, football など), 国(Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam), evening, window

[既出] スポーツ, 国, 曜日, morning, afternoon

5 関連する学習指導要領における領域別目標

領域	学習指導要領における領域別目標
聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

6 単元の指導計画および評価計画（6時間）

時間	学習目標（○）と主な学習活動（・）【 】＝「We Can!」に設定されている活動	評価＜方法＞
1	○互いの得意なスポーツなどを聞いたり言ったりしよう。 ・授業者の自己紹介 ・オーラルイントロダクション（話題：スポーツ選手） ・【Let's Watch and Think 1】 p.42, p.43 ・様々なスポーツの絵，マークを見ながら，それがどんなスポーツか考える。 ・【Let's Play 1】 p.42, p.43 ・得意なスポーツについて，聞いたり言ったりする。 ・単元のゴールの提示 ・「WE-CANシート」	[知・技] 互いの得意なスポーツを聞いたり言ったりしている。 〈行動観察・「WE-CANシート」点検〉
2	○国名を言ったり読んだりしよう。 ・Review ・Sounds and Letters (T/t) → 「WE-CANシート」 ・【Let's Watch and Think 2】 p.44 映像を見て，オリンピック・パラリンピックについてわかったことを記入する。 ・ 国旗クイズ ・「WE-CANシート」	[知・技] 国名を言ったり読んだりしている。 〈行動観察・「WE-CANシート」点検〉

3	<p>○オリンピック・パラリンピックで見たい競技について聞いたり、たずねたり答えたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk：好きなスポーツとその理由 ・ 【Let's Watch and Think 3】 p.45 ・ 映像を見て、登場人物が自分したいことについて対話しているのを聞いて、誰が何をしたいのかを考えて、記入する。 ・ 【Let's Chant】 Do you want to watch baseball? ・ 【Let's Talk】 p.45 ・ 友達の見たい競技を予想して尋ね合い、名前を記入する。 ・ 「WE-CANシート」 	<p>【思・判・表】 オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・「WE-CANシート」点検〉</p>
4 本時	<p>○オリンピック・パラリンピックで見たい競技についてたずねたり答えたりして、伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sounds and Letters (V/v) → 「WE-CANシート」 ・ 【Let's Watch and Think 4】 p.46 ・ 映像を見て、当てはまる競技の絵に○を付ける。 ・ カルタ取り ・ 【Let's Play 2】 p.46 ・ インタビューをしてクラスで人気の競技調べをする。 ・ 「WE-CANシート」 	<p>【思・判・表】 オリンピック・パラリンピックで見たい競技委について尋ねたり答えたりして伝え合っている。 〈行動観察・「WE-CANシート」点検〉</p>
5	<p>○競技名を読んだり、何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合ったりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk：オリンピック・パラリンピックで見たいスポーツとその理由 ・ 【Let's Read and Write 1】 p.47 ・ 番組表で何曜日にもどの競技があるのかを読み、それぞれの曜日に自分が見たい競技に印を付ける。 ・ 【Activity 1】 p.47 ・ オリンピック・パラリンピックでどの競技を観戦したいか、その理由とともに話す。 ・ 「WE-CANシート」 	<p>【知・技】 競技を表す語を読んで、見たい競技に○を付けている。 〈行動観察・記述観察・「WE-CANシート」点検〉</p> <p>【思・判・表】 何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合っている。 〈行動観察・「WE-CANシート」点検〉</p>
6	<p>○オリンピック・パラリンピック観戦計画を作って、伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【Let's Watch and Think 5】 p.48 ・ 映像を見て、登場人物の見たい競技とその理由を聞き取り、表に記入する。 ・ Let's Read ・ 前時まで書いた文を読んだりペアで読み合わせをしたりする。 ・ 【Activity 2】 p.48 ・ オリンピック・パラリンピック観戦計画を作成し、伝え合う。 ・ 「WE-CANシート」 	<p>【思・判・表】 見たい競技とその理由を伝え合っている。〈行動観察・「WE-CANシート」点検〉</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 他者に配慮しながら、見たい競技とその理由を伝え合おうとしている。〈行動観察・記述観察・「WE-CANシート」点検〉</p>

7 本時の指導

(1) 目標 オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合う。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準	努力を要する児童への支援
「思考・判断・表現」	オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現に十分慣れ親しませた上で取り組ませる。 ・ 伝え合う際、聞き取り側に反応を意識させ児童同士でサポートさせる。

(3) 本時の展開 (4 / 6 時間)

段階	児童の活動	指導者の活動・支援	◎評価 ●教材・教具
導入 7分	<p>1 あいさつ</p> <p>2 Sounds and Letters (v) ・ジングルを歌う。 ・/v/で始まる単語を発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>3 【Let's Watch and Think 4】 p.46 ・映像を見て、当てはまる競技の絵に○を付ける。</p> <p>4 本時のめあて ・本時のめあてを確認する。</p>	<p>・明るくあいさつをし、個別に数名の児童にあいさつする。</p> <p>・最初及び活動後において、全体でどのような単語がでたか共有させる。</p> <p>・文字指導につなげる。</p> <p>・映像を見せる前に、誌面にある競技とその英語での言い方を確認する。</p> <p>・昔オリンピックで行われていた競技を予想させた上で見せる。</p> <p>・単元のゴールを意識させながら、本時のめあてを確認させる。</p>	<p>◎評価 ●教材・教具</p> <p>●デジタル教材 ●「WE-CANシート」</p> <p>●デジタル教材</p> <p>●「WE-CANシート」</p>
オリンピック・パラリンピックで見たい競技についてたずねたり答えたりして伝え合おう。			
展開	<p>5 カルタ取り ・グループでカルタ取りを行う。 ・指導者が言ったスポーツ名に当てはまるカードを取る。</p>	<p>・単語や表現を繰り返し言わせることでその単語や表現に慣れ親しませ定着させる。</p> <p>1 度目は競技名のみ児童に繰り返させ、2 度目は、“Do you want to watch” のフレーズを児童に繰り返させることにより、表現の定着を図る。</p>	<p>●教師用カード 児童用カード</p>
33分	<p>6 【Let's Play 2】 p.46 ・学級で人気の競技調べをする。 ・各グループで指定された2つのスポーツについて、そのスポーツが見たいかどうかインタビューする。 ・誰にインタビューするかグループ内で分担を決めて、インタビューを行う。 ・班で集計し、結果を発表する。</p>	<p>・人気がある競技を予想させた上で活動させる。</p> <p>S1: “Hello.” S2: “Hi.” S1: “Do you want to watch judo?” S2: “Um, yes, I do.” (ワークシートに記録する) S1・2: “Thank you.”</p>	<p>◎オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合っている。 〈行動観察・「WE-CANシート」点検〉</p>
5分	<p>7 今日の We Can! ・「WE-CANシート」に、“I want to watch (見たい競技名)”を書く。</p>	<p>・“I want to watch” の後は、自分の見たい競技名をひとつ入れることを伝える。</p>	<p>●「WE-CANシート」</p>
終末 5分	<p>8 振り返り ・「WE-CANシート」に振り返りと感想を記入する。 ・感想を共有する。</p> <p>9 あいさつ</p>	<p>・本時のめあてを再確認し、振り返りの視点を与える。</p> <p>・次時の見通しをもたせる。</p> <p>・終わりのあいさつをする。</p>	<p>●「WE-CANシート」</p>

●小学校 「CAN-DORIST」形式の学習到達目標（例）

外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の動きなどについて、日本語と外国語との違いに気付く。これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くこと、話すこと、聴くこと、書くこと、書くこと、書くこと、書くことにおいて活用できる児童 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いた/話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み取り、語彙を認識しながら書き下し、自分の考えや気持ちなどを伝え合えることのできる児童 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童	
年間	<p>Listening 聞くこと</p> <p>(1) ゆつくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることもできる。(4~5文レベル)</p> <p>(2) ゆつくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い文の概要を捉えることができる。(4~6文レベル)</p> <p>(3) 自己紹介を聞いて、具体的な情報を捉えることができる。(4~5文レベル)</p> <p>(4) 日本のよざについて、まよざりのある話を聴くことができる。</p> <p>(5) 映像を参考にしながら話を聞いて、オリピックで使いたい競技とその理由を聞き取ることができる。</p> <p>(6) 映像を聞きながら中学生のスピーチを聞き、おおよその内容を聞き取ることができる。(4~5文レベル)</p>
1学期	<p>(7) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p> <p>(8) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p>
2学期	<p>(9) 活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読むことができる。</p>
3学期	<p>(10) 映像を聞きながら中学生のスピーチを聞き、おおよその内容を聞き取ることができる。(4~5文レベル)</p>
6 年生	
年間	<p>Speaking 話すこと [や取り]</p> <p>(1) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な表現を用いて伝え合えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(2) 自分や相手のこと及び身の回りに関する事柄について、簡単な表現を用いて伝え合えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(3) 自己紹介を聞いて、具体的な情報を捉えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(4) ある人物になりきって、その特徴や得意なことなどを話し、その人物について伝え合えることができる。</p> <p>(5) 学校行事について、その感想も含めて伝え合うことができる。(10~15文程度)</p> <p>(6) 将来どんな職業に就きたいか、理由とともに尋ね合うことができる。(10~15文程度)</p>
1学期	<p>(7) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p> <p>(8) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p>
2学期	<p>(9) 活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読むことができる。</p>
3学期	<p>(10) 映像を聞きながら中学生のスピーチを聞き、おおよその内容を聞き取ることができる。(4~5文レベル)</p>
5 年生	
年間	<p>Speaking 話すこと [やり取り]</p> <p>(1) 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。</p> <p>(2) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な表現を用いて伝え合えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(3) 自分や相手のこと及び身の回りに関する事柄について、簡単な表現を用いて伝え合えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(4) 自己紹介を聞いて、具体的な情報を捉えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(5) ある人物になりきって、その特徴や得意なことなどを話し、その人物について伝え合えることができる。</p> <p>(6) 学校行事について、その感想も含めて伝え合うことができる。(10~15文程度)</p> <p>(7) 将来どんな職業に就きたいか、理由とともに尋ね合うことができる。(10~15文程度)</p>
1学期	<p>(7) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p> <p>(8) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p>
2学期	<p>(9) 活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読むことができる。</p>
3学期	<p>(10) 映像を聞きながら中学生のスピーチを聞き、おおよその内容を聞き取ることができる。(4~5文レベル)</p>
年間	<p>Reading 読むこと</p> <p>(1) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p> <p>(2) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p>
1学期	<p>(7) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p> <p>(8) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p>
2学期	<p>(9) 活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読むことができる。</p>
3学期	<p>(10) 映像を聞きながら中学生のスピーチを聞き、おおよその内容を聞き取ることができる。(4~5文レベル)</p>
年間	<p>Writing 書くこと</p> <p>(1) 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語彙を認識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。</p> <p>(2) 自分や相手のこと及び身の回りに関する事柄について、簡単な表現を用いて書き下すことができるようにする。(6文程度)</p> <p>(3) 自己紹介を聞いて、具体的な情報を捉えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(4) ある人物になりきって、その特徴や得意なことなどを話し、その人物について伝え合えることができる。</p> <p>(5) 学校行事について、その感想も含めて伝え合えることができる。(10~15文程度)</p> <p>(6) 将来どんな職業に就きたいか、理由とともに尋ね合うことができる。(10~15文程度)</p>
1学期	<p>(7) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p> <p>(8) 活字体で書かれた小文字を識別し、その読み方を発音することができる。</p>
2学期	<p>(9) 活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読むことができる。</p>
3学期	<p>(10) 映像を聞きながら中学生のスピーチを聞き、おおよその内容を聞き取ることができる。(4~5文レベル)</p>

●●小学校 外国語科 第6学年「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標(例:コンパクト版)

外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる児童

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる児童

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童

	年間の領域別学習到達目標	学期毎の領域別学習到達目標	
聞くこと	【イ】 ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。 【ウ】 ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。	1学期	<input type="checkbox"/> 自己紹介を聞いて、具体的な情報を捉えることができる。(4～5文レベル)【イ】 <input type="checkbox"/> 日本のよさについて、まとまりのある話を映像を参考にしながら聞き、大まかな内容を捉えることができる。【ウ】
		2学期	<input type="checkbox"/> 映像を参考にしながら話を聞いて、オリンピックで見た競技とその理由を聞き取ることができる。【ウ】
		3学期	<input type="checkbox"/> 映像を見ながら中学生のスピーチを聞き、おおよその内容を聞き取ることができる。(4～5文レベル) 【ウ】
読むこと	【ア】 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。	1学期	<input type="checkbox"/> 活字体で書かれた小文字を識別することで、パスポートや名札の持ち主が誰かを見つけることができる。【ア】
		2学期	<input type="checkbox"/> 活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読むことができる。【ア】
		3学期	
話すこと「やり取り」	【イ】 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。 【ウ】 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。	1学期	<input type="checkbox"/> ある人物になりきって、その特徴やできることなどを話し、その人物について伝え合うことができる。【イ】
		2学期	<input type="checkbox"/> 学校行事について、その感想も含めて伝え合うことができる。(10ターン程度)【イ】
		3学期	<input type="checkbox"/> 将来どんな職業に就きたいか、理由とともに尋ね合うことができる。(10ターン程度)【ウ】
話すこと「発表」	【イ】 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 【ウ】 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。	1学期	<input type="checkbox"/> 好きなものやできること、自分の誕生日について伝えることができる。【イ】 <input type="checkbox"/> 自分たちが住む地域について自分の考えを発表することができる。【ウ】
		2学期	<input type="checkbox"/> 自分の思い出について発表することができる。【イ】
		3学期	<input type="checkbox"/> 中学校生活について、入部したい部活動や楽しい学校行事とその理由を発表することができる。【ウ】
書くこと	【ア】 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。 【イ】 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。	1学期	<input type="checkbox"/> 単語と単語の間にスペースを適切において例文を参照しながら書き写すことができる。【イ】 <input type="checkbox"/> 活字体の小文字の書き方が分かり、小文字を何も見ないで書くことができる。【ア】
		2学期	<input type="checkbox"/> 自分の思い出について例文を参照して、語句リストから使用したい単語を選び、例文の一部を言い換えて書き写すことができる。【イ】
		3学期	<input type="checkbox"/> 語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて下書きや例文を参照して、書くことができる。【イ】

●小学校 外国語科 第5学年 「話すこと[発表]」ルーブリック				
学習到達目標	評価規準	言語活動	ルーブリック	
			知識・技能	思考・判断・表現
<p>□ 自己紹介することができる。</p> <p>【A】日常生活に身近な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。</p>	<p><知識> My name is ~. I like ~. I want ~. I have ~. It's ~について理解している。 <技能> 知識を使って、名前、好きなものや食べ物、持っているものや欲しいものなど自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話している。</p>	<p>・全員あるいは同じグループの人の前で自己紹介をする。(名前、好きな色、食べ物など、持っているものなど) ・自己紹介に必要な美辞や写真などを準備する。 ・聞いている人は、良かった点や感想を発表できるように、しっかりと聞く。</p> <p>Hello! My name is Tanaka Yumi. I like tennis. I like curry and rice. It's yummy. I like dogs. I have a dog. Koro. I want a new blue tennis racket. Thank you.</p> <p>Unit 1</p>	<p>誤りのない正しい英文で話すことができる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む意欲</p> <p>「B」に加えて、好きなものの理由などを付け加えたり、聞いている人に質問を投げかけたりしている。</p>
			<p>誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。</p>	<p>自己紹介をする中で、①自分の名前を伝えたり、②実物や写真などを使いながら、③自分の好きなものや持っているもの、欲しいものなどについて伝える。</p>
			<p>「B」を満たしていない</p>	<p>「B」を満たしていない</p>
<p>□ 自己紹介する際に、自分の日常生活について、自分の好きなものや食べ物、持っているものや欲しいものなど自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。</p> <p>【B】自分の日常生活について、自分の好きなものや食べ物、持っているものや欲しいものなど自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。</p>	<p><知識> Hello, my name is ~. I get up / eat breakfast / go to school / take a bus / go home / watch TV / do my homework / go to bed. ~など日常生活に於いての言い方、at ~時刻の言い方、alwaysなど頻度の言い方について理解している。 <技能> 知識を使って、起きる時間や家ですることなど自分の日常生活について、Hello my name is ~. I get up / eat breakfast. ~. at ~, alwaysなどを用いて、伝えようとする内容を整理した上で、自分のことを話すために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>・Hello, my name is ~. とスピーチを始め、最後はThank you.と言う。 ・発表前に各自練習の時間を与える。児童の実態に応じて、グループ内や学校全体での発表とする。 ・聞き手に、分かったことを聞き取れた部分だけでもよいので、ワークシートに記入するよう促す。</p> <p>Hello, my name is Kana. I get up at 6:30. I always wash the dishes. Thank you.</p> <p>Unit 4</p>	<p>誤りのない正しい英文で話すことができる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む意欲</p> <p>「B」に加えて、時刻や頻度などを付け加えたり、聞いている人に質問を投げかけたりしようとしている。</p>
			<p>誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。</p>	<p>自分の日常生活について、①Hello, my name is ~. とスピーチを始めたり、②普段することを伝えたり、③最後はThank you.と云ったりしながら伝える。</p>
			<p>「B」を満たしていない</p>	<p>「B」を満たしていない</p>
<p>□ 自己紹介する際に、自分の日常生活について、自分の好きなものや食べ物、持っているものや欲しいものなど自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。</p> <p>【C】自分の日常生活について、自分の好きなものや食べ物、持っているものや欲しいものなど自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。</p>	<p><知識> 自分のことをよく知ってもらうために、名前、好きなものや食べ物、持っているものや欲しいものなど自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話している。</p> <p>自分のことをよく知ってもらうために、名前、好きなものや食べ物、持っているものや欲しいものなど自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話している。</p>	<p>・Hello, my name is ~. とスピーチを始め、最後はThank you.と言う。 ・発表前に各自練習の時間を与える。児童の実態に応じて、グループ内や学校全体での発表とする。 ・聞き手に、分かったことを聞き取れた部分だけでもよいので、ワークシートに記入するよう促す。</p> <p>Hello, my name is Kana. I get up at 6:30. I always wash the dishes. Thank you.</p> <p>Unit 4</p>	<p>誤りのない正しい英文で話すことができる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む意欲</p> <p>「B」に加えて、時刻や頻度などを付け加えたり、聞いている人に質問を投げかけたりしようとしている。</p>
			<p>誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。</p>	<p>自分の日常生活について、①Hello, my name is ~. とスピーチを始めたり、②普段することを伝えたり、③最後はThank you.と云ったりしながら伝える。</p>
			<p>「B」を満たしていない</p>	<p>「B」を満たしていない</p>